

## 九十九里地域水道企業団公告

### 一般競争入札（事後審査型）の実施について

地方自治法施行令第167条の6の規定により一般競争入札を次のとおり実施します。

令和7年3月7日

九十九里地域水道企業団  
企業長 鹿間 陸郎

#### 1 一般競争に付する事項

- (1) 工 事 名 長生郡市広域市町村圏組合最終処分場築造に伴う  
真名配水場系φ700耗送水管移設工事
- (2) 工 事 場 所 長生郡長柄町船木454番地先から  
長生郡長柄町船木512番地先まで
- (3) 一般競争入札 郵便入札・事後審査方式
- (4) 工 事 期 限 令和8年8月31日限り
- (5) 工 事 の 概 要

##### ア 目的

本工事は、長生郡市広域市町村圏組合の最終処分場築造に伴い、長柄浄水場から真名配水場間φ700耗送水管の一部を移設するものである。

##### イ 概要

- (ア) 送水管布設工 1式
- (イ) 既設管撤去工 1式

※本工事は、週休2日制適用工事とする。

- (6) 予 定 価 格 落札決定後公表
- (7) 最低制限価格 最低制限価格制度実施要領を適用し設定する。
- (8) 入 札 保 証 金 免除
- (9) 契 約 保 証 金 請負代金の1/10以上
- (10) 工事費内訳書 提出（本工事内訳書及び第1号～第5号内訳書）
- (11) 前・中間支払金 対象とする
- (12) 出来高支払金 対象とする（債務負担行為に係る契約となることから、各年度における請負代金の出来高予定額を定め、年度末及び工期末に既済部分を検査後、支払とする。）

※最低制限価格の算出方法については、企業団ホームページ内「最低制限価格制度実施要領」に掲載しています。

## 2 入札参加者に必要な資格に関する事項

本工事の入札に参加する者に必要な資格は、次のとおりです。

- (1) 本工事の公告日前に効力を有する令和6・7・8年度九十九里地域水道企業団建設工事等資格者名簿「建設工事用」に登載されているもののうち、【土木一式工事】について、建設業法に定める一般又は特定建設業の許可を受けている者。
- (2) 本工事の公告日から本工事の開札の日までの間に、九十九里地域水道企業団建設工事請負業者等指名停止措置要領に基づく指名停止を受けていない者。
- (3) 本工事の公告日前に千葉県に本店又は建設業法に基づく許可を得た支店等がある者。
- (4) 【土木一式工事】の工種に係る格付けがA等級である者。
- (5) 公告日から起算して過去10年間において、上水道施設における口径300mm以上の配管工事施工実績を元請として有する者。
- (6) 本工事において、【土木一式工事】の主任技術者又は監理技術者（開札日現在3か月以上の雇用関係にある者）を関係法令に基づき配置できる者。
- (7) 地方自治法施行令第167条の4の規定のほか、次の各号に該当しない者。
  - ア 手形交換所による取引停止処分を受けてから2年間を経過しない者又は本工事の開札日前6か月以内に手形・小切手を不渡りした者。
  - イ 会社更生法の適用を申請した者で、同法に基づく裁判所からの更生手続開始決定が本工事の公告日までにされていない者。
  - ウ 民事再生法の適用を申請した者で、同法に基づく裁判所からの再生手続開始決定が本工事の公告日までにされていない者。

## 3 開札の場所及び日時

- (1) 場 所 九十九里地域水道企業団第2会議室  
東金市東金769番地2
- (2) 日 時 令和7年4月7日（月）午前・~~午後~~ 10時00分

## 4 設計図書の閲覧方法

原則として、企業団ホームページからのダウンロード又は、企業団窓口での閲覧となります。

## 5 入札書の郵送方法

- (1) 郵送方法 一般書留又は簡易書留
- (2) 到着期限 令和7年4月4日(金)午後5時必着
- (3) 送付先 〒283-0802

東金市東金769番地2

九十九里地域水道企業団 総務課 管財班行

ア 郵送は外封筒(角形2号程度)及び中封筒(長形3号程度)の2重封筒としてください。

外封筒には入札書を同封した中封筒、誓約書、入札参加資格確認申請書、工事費内訳書(指定された場合)を入れて封かん(同封されていない場合は入札無効となります。)し、封筒の表面に次の事項を必ず記載してください。

(ア) 指定した郵送先

(イ) 入札書、誓約書、入札参加資格確認申請書、工事費内訳書(指定された場合) 在中の旨

(ウ) 公告した工事名

(エ) 公告した工事場所

(オ) 開札日

(カ) 入札者の商号又は名称

イ 中封筒には入札書を入れて封かん及び代表者印により3箇所封印し、封筒の表面に次の事項を必ず記載してください。

(ア) 入札書在中の旨

(イ) 公告した工事名

(ウ) 公告した工事場所

(エ) 開札日

(オ) 入札者の商号又は名称

ウ 入札書、誓約書、入札参加資格確認申請書の各々の様式については、企業団ホームページ掲載の入札情報・入札様式よりダウンロードし作成してください。

エ 入札書、誓約書、入札参加資格確認申請書、工事費内訳書(指定された場合)等の書類の日付については、開札日の記入をお願いします。

オ 開札日が同日であっても、外封筒及び入札書は公告ごとに作成してください。封筒の封は糊付けをお願いします。

## 6 工事費内訳書の提出

(1) 入札参加者は、工事費内訳書の提出を求められている場合は、工事費内訳書が同封されていない入札書は無効となります。また、次の各号に該当する場合も、入札が無効となるので留意してください。

ア 入札書の記載金額と工事費内訳書の積算金額が相違する場合。

イ 工事費内訳書に工事名、工事場所の記載がない場合。

ウ 工事費内訳書に入札者の商号又は名称がなく、押印が欠けている場合。

エ 入札公告で示した設計書（金抜設計書）のうち本工事内訳書及び内訳書に記載された項目が欠けている場合。

(2) 工事費内訳書は次のどちらかの様式により作成してください。

ア 入札公告で示した設計書（金抜設計書）のうち、本工事内訳書及び内訳書に金額を記載したもの。

イ アと同一の項目が含まれた任意の様式により作成したもの。

## 7 入札回数

入札の回数は3回とする。

## 8 設計図書等に関する質問

設計図書等に関する質問がある場合は、書面でFAX等により提出してください。

(1) 提出期限 令和7年3月12日（水）午後5時まで

(2) 提出先 九十九里地域水道企業団 総務課 管財班

TEL 0475-54-0631

FAX 0475-54-2068

(3) 回答 質問に対する回答は令和7年3月17日（月）にホームページに掲載します。

## 9 入札の執行

到着期限までに到着した入札書が1通の場合でも、当該入札は執行します。

## 10 開札の立会

開札の立会については任意ですので、必ず参加しなければならないものではありません。

ただし、参加しなかった場合は再度入札を行うことはできません。

代理人をもって参加する場合は委任状の提出をお願いします。

## 11 落札者の決定

- (1) 予定価格の制限の範囲内（最低制限価格を設定した場合は、予定価格と最低制限価格の範囲内）で最低の価格をもって入札した者を落札候補者とする。  
以下低い価格で入札した者から順次落札候補者として資格審査を行い、後日落札者を決定し、連絡いたします。
- (2) 予定価格の制限の範囲内の入札がない場合は、再度入札を行うものとする。  
ただし、初回の入札で無効となった者は、再度入札には参加できない。
- (3) 再度入札においては、入札書を封筒に入れずに提出することができるものとする。
- (4) 落札候補者となるべき同価格の入札者が2者以上あるときは、くじ引きにより落札候補者としての順位を決定する。  
なお、くじを引かない者があるときは、これに代わり入札事務に関係のない職員にくじを引かせるものとする。
- (5) 再度入札において落札候補者がいない場合は、当企業団建設工事等契約事務取扱要綱第14条第1項の規定によるものとする。

## 12 落札候補者となった場合提出する書類

落札候補者は速やかに次の書類を提出するものとする。

- (1) 施工実績の確認書類として、工事名・発注機関名・契約金額及び工事概要等が確認できるもの。
- (2) 【土木一式工事】の主任技術者又は監理技術者の資格を証明するもの。（開札日現在3か月以上の雇用関係の証明含む）

## 13 その他

- (1) 上記のほか、入札公告及び入札の概要を熟知し、入札書を郵送してください。
- (2) 入札書を投函する前に、再度必ず確認してください。
- (3) 開札日には、再度の入札に備え予備の入札書を持参してください。
- (4) 入札書到達の有無等の問い合わせには、一切対応しません。
- (5) 入札参加者は、ホームページ掲載の入札情報の入札約款を熟読し、遵守してください。

## 入札条件

### 1 中間前金払と部分払の選択について

(1) 本工事については、中間前金払を請求できるので、この場合は、中間前金払・部分払・不要のいずれかを選択するものとする。ただし、前金払を必要としない場合は、対象としない。

なお、この選択については、落札決定後に届け出るものとし、その後において変更することができない。

(2) 債務負担行為に係る契約にあつては、いずれかの会計年度において出来高予定額が100万円以上であることにより、契約締結にあたり中間前金払を請求する旨の届出を行っている工事であっても、当該基準を満たさない会計年度については、中間前金払は行わないものとする。

### 2 中間前金払の請求

(1) 中間前金払に係る認定の請求は、当該契約に係る工期の2分の1（債務負担行為に係る契約にあつては、当該会計年度の工事実施期間の2分の1）を経過し、かつ、工程表により工期の2分の1（債務負担行為に係る契約にあつては、当該会計年度の工事実施期間の2分の1）を経過するまでに実施すべきものとされている当該工事に係る作業が行われ、既に行われた当該工事の係る作業に要する経費が請負代金の額の2分の1（債務負担行為に係る契約にあつては、当該会計年度の出来高予定額の2分の1）以上の額に相当するものである場合に行うものとする。

(2) 契約締結にあたり、部分払を請求する旨の届出を行っている場合には、中間前払金の支払を請求することはできない。

### 3 部分払の請求

契約締結にあたり、中間前金払を請求する旨の届出を行っている場合には、部分払（債務負担行為に係る契約にあつては、各会計年度末における部分払を除く。）を請求することはできない。

令和 7 年度

長生郡市広域市町村圏組合最終処分場築造に伴う真名配水場系φ700  
送水管移設工事

設 計 書

総括表

九十九里地域水道企業団		工事番号	九水企改令6第6号		提出年月日	
課長		副課長		班長	審査	設計
年度 科目	令和 7 年度	款 資本的支出	項 建設改良費	目 改良施設費	節 工事請負費	
工事名	長生郡市広域市町村圏組合最終処分場築造に伴う真名配水場系φ700耗送水管移設工事					
工事場所	長生郡長柄町船木454番地先から長生郡長柄町船木512番地先まで			工事施行方法	請 負	
				工事期限	令和8年8月31日限り	
設計金額		円				
工事価格		円				
消費税相当額		円				



設

本工事は、長生郡市広域市町村圏組合の最終処分場築造に伴い、長柄浄水場から真名配水場間φ700送水管の一部を移設するもので、その概要は下記のとおりである。

計

- |    |        |    |
|----|--------|----|
|    | 記      |    |
| 1. | 送水管布設工 | 1式 |
| 2. | 既設管撤去工 | 1式 |

—以上—

説

明

## 本 工 事 内 訳 書

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
本工事費								
	直接工事費							
		送水管布設工		式	1			第 1 号内訳書参照
		既設管撤去工		式	1			第 2 号内訳書参照
		交通誘導警備員		式	1			第 3 号内訳書参照
	直接工事費計			式	1			
		共通仮設費		式	1			
		運搬費（積上）		式	1			第 4 号内訳書参照
		技術管理費		式	1			第 5 号内訳書参照
		共通仮設費計		式	1			
	純工事費			式	1			

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
		現場管理費		式	1			
	工事原価			式	1			
		一般管理費等		式	1			
	工事価格			式	1			
		消費税相当額		式	1			
工事費計				式	1			

第 1 号内訳書 送水管布設工

1式

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
1. 材料費 (φ700)						
直管	S種管 N S φ700×6000 内面エポキシ粉体塗装	本	33			
45° 曲管	N S φ700 内面エポキシ樹脂粉体塗装	個	5			
22° 1/2曲管	N S φ700 内面エポキシ樹脂粉体塗装	個	5			
5° 5/8曲管	N S φ700 内面エポキシ樹脂粉体塗装	個	4			
45° 両受曲管	N S φ700 内面エポキシ樹脂粉体塗装	個	2			
二受T字管	N S φ700×φ700 内面エポキシ樹脂粉体塗装	個	2			
排水T字管	N S φ700×φ300 内面エポキシ樹脂粉体塗装	個	1			
フッ素付T字管	N S φ700×φ75 10K 内面エポキシ樹脂粉体塗装	個	1			
短管1号	N S φ700 10K 型式2 内面エポキシ樹脂粉体塗装	個	1			
継輪	N S φ700 内面エポキシ樹脂粉体塗装 接合部品含む	個	1			

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
栓	N S φ 700 内面エポキシ樹脂粉体塗装 接合部品含まず	個	2			
ラケ	N S φ 700 内面エポキシ樹脂粉体塗装	個	17			
挿し口リング	N S φ 700 リベットタイプ 内面エポキシ樹脂粉体塗装	個	14			
管帽（離脱防止押輪付）	K φ 700	組	2			
押輪	N S φ 700	個	6			
バクタライ弁	N S φ 700 両受口 10K 充水弁体 内外面粉体塗装	基	3			
不断水切換弁	N S 挿し口 φ 700 × φ 700 10K	基	1			
不断水仕切弁	φ 700 10K 鋳鉄用	基	1			
不断水割 T 字管弁体離脱式	弁体離脱型バクタライ弁付 φ 700 10K	基	1			
明示テープ	30巾	m	219.7			
明示シート	400W	m	217.5			

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
急速空気弁	φ75 10K 内外面粉体塗装	基	1			
ボール式補修弁	φ75×H150 10K キャップ式 内外面粉体塗装	基	1			
フランジ短管	φ75×H150 10K 型式2	本	1			
フランジ短管	φ75×H200 10K 型式2	本	1			
フランジ接合部品	φ700 GF型カスケット 10K M30ボルト・ナットSUS304	組	1			
フランジ接合部品	φ75 GF型カスケット 10K M16ボルト・ナットSUS304	組	4			
フランジ補強金具	φ75 10K	組	2			
フランジ補強金具	φ75 10K 補修弁用	組	1			
二つ割離脱防止金具	φ700 K形管用	組	7			
T頭ボルト・ナット	M24 SUS304 接合部1口当り1組	組	6			
ゴム輪	NS φ700	個	6			

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
ロックリング	N S φ 700	個	4			
バックアップリング	N S φ 700	個	4			
ゴム板	t =10mm	m <sup>2</sup>	2			
鉄棒・鉄蓋	φ 600 T-25	組	6			
鉄棒・鉄蓋（親子蓋）	φ 900 × φ 600 T-25	組	1			
弁筐	内ねじ式 A1号 台座含む	個	1			
無収縮モルタル		m <sup>3</sup>	0.04			
調整リング	φ 600 × H100	個	4			
調整リング	φ 900 × H100	個	1			
1号マンホール斜壁	φ 600 × φ 900 × H300	個	4			
1号マンホール直壁	φ 900 × H300	個	5			

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
側塊直壁	900B 90×90×60	個	1			
レジコンボックス底版	φ 600×H40	個	2			
1号マンホール底版	有効高130	個	3			
コンクリート平板	□300×300×60	個	3			
レジコンボックス上部壁	φ 600×H200	個	2			
レジコンボックス中間壁	φ 600×H300	個	1			
レジコンボックス中間壁	φ 600×H200	個	1			
レジコンボックス下部壁	φ 600×H300	個	1			
硬質塩化ビニル管	VP φ 250	m	0.4			
硬質塩化ビニル管	VU φ 600	m	2			
小計						



名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
2. 布設労務費 (φ700)						
鋳鉄管吊込み据付工 (機械力)	呼び径700mm トラックレン・油圧伸縮シブ型 4.9t吊	m	218.2			第 1 号単価表参照
N S形継手接合工	呼び径700mm ライナを含む継手の接合	口	17			直管 第 2 号単価表参照
N S形継手接合工	呼び径700mm	口	15			直管 第 3 号単価表参照
N S形継手接合工	呼び径700mm	口	34			異形管 第 3 号単価表参照
フランジ継手工	鋳鉄管 JWWA10K 呼び径700mm	口	1			第 4 号単価表参照
メカニカル継手工	K形 呼び径700mm 特殊押輪	口	7			第 5 号単価表参照
鋳鉄管切断・溝切り 2 工程	呼び径700mm N S形ノブイブ切削切断機使用	口	14			第 6 号単価表参照
N S形継手挿口加工工	呼び径700mm リベット式固定	口	14			第 7 号単価表参照
ポリエチレンスリーブ被覆工	呼び径700mm	m	219.7			第 8 号単価表参照
管明示テープ工	呼び径φ700×6000 天端明示 有	m	219.7			第 9 号単価表参照

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
管明示シート工		m	217.5			第 10 号単価表参照
バタフライ弁設置工（機械力）	縦型 呼び径700mm 鋳鉄製及び鋼板製 トラックレール・油圧伸縮シブ型 4.9t吊	基	3			第 11 号単価表参照
仕切弁・空気弁ボックス設置工	鉄蓋 円形 4号	個	3			第 12 号単価表参照
仕切弁・空気弁ボックス設置工	リゾノCo製ボックス 円形 6号	個	3			第 13 号単価表参照
不断水切換弁設置工	φ700×φ700 10K 平日・昼間	基	1			
仕切弁・空気弁ボックス設置工	鉄蓋 円形 4号	個	1			第 12 号単価表参照
仕切弁・空気弁ボックス設置工	リゾノCo製ボックス 円形 6号	個	1			第 14 号単価表参照
仕切弁・空気弁ボックス設置工	ねじ式弁筐 A・B形 1号 底版を使用	箇所	1			第 15 号単価表参照
不断水仕切弁設置工	φ700 10K 平日・昼間	基	1			
仕切弁・空気弁ボックス設置工	鉄蓋 円形 4号	個	1			第 12 号単価表参照
仕切弁・空気弁ボックス設置工	リゾノCo製ボックス 円形 4号	個	1			第 16 号単価表参照

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
仕切弁・空気弁ボックス設置工 (人力)	レジンコンクリート製分割底版型ボックス 円形 4 号	個	1			第 17 号単価表参照
不断水割 T 字管設置工	弁体離脱型バタフライ弁付き φ 700 10K 平日・昼間	基	1			
仕切弁・空気弁ボックス設置工	鉄蓋 円形 4 号	個	1			第 12 号単価表参照
仕切弁・空気弁ボックス設置工	レジンCo製ボックス 円形 4 号	個	1			第 16 号単価表参照
仕切弁・空気弁ボックス設置工 (人力)	レジンコンクリート製分割底版型ボックス 円形 4 号	個	1			第 17 号単価表参照
空気弁設置工	機械施工 呼び径75mm	基	1			第 18 号単価表参照
仕切弁・バタフライ弁設置工 (人力)	縦・横型 呼び径75mm	基	1			第 19 号単価表参照
鋳鉄管吊込み据付工 (人力)	呼び径75mm以下	m	0.4			第 20 号単価表参照
フランジ継手工	鋳鉄管 JWWA10K 呼び径75mm	口	3			第 21 号単価表参照
仕切弁・空気弁ボックス設置工	鉄蓋 円形 6 号	個	1			第 22 号単価表参照
仕切弁・空気弁ボックス設置工	レジンCo製ボックス 円形 6 号	個	1			第 23 号単価表参照

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
下層路盤工（施工幅1.8m未満）	全仕上り厚20cm 転圧回数1層 RC-40	m <sup>2</sup>	1			第 24 号単価表参照
下層路盤工（施工幅1.8m未満）	全仕上り厚15cm 転圧回数1層 RC-40	m <sup>2</sup>	7			第 25 号単価表参照
下層路盤工（施工幅1.8m未満）	全仕上り厚5cm 転圧回数1層 RC-40	m <sup>2</sup>	0.4			第 26 号単価表参照
現場発出品及び支給品運搬	片道運搬距離6.1km 平均積載質量4t クレーン装置付 へびトラック4～4.5t積吊能力2.9t	回	1			第 27 号単価表参照
スクラップ	へびH1	t	-1			
小計						
3. 土工（φ700）						
舗装版切断		m	58			第 28 号単価表参照
バックホによる舗装版直接掘削・積込工	舗装厚0cmを超え10cm以下 山積0.45m <sup>3</sup> （平積0.35m <sup>3</sup> ）	m <sup>2</sup>	34			第 29 号単価表参照
バックホウ掘削積込	山積0.45m <sup>3</sup> （平積0.35m <sup>3</sup> ）	m <sup>3</sup>	520			第 30 号単価表参照
掘削工	土砂 現場制約あり	m <sup>3</sup>	10			第 31 号単価表参照

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
管路埋戻費(機械埋戻・バックホウ)	山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> )	m <sup>3</sup>	250			第 32 号単価表参照
管路埋戻費(機械埋戻・バックホウ)	発生土 山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> )	m <sup>3</sup>	190			第 33 号単価表参照
下層路盤工(施工幅1.8m未満)	全仕上り厚14cm 転圧回数1層 RC-40	m <sup>2</sup>	17			第 34 号単価表参照
上層路盤工(施工幅1.8m未満)	全仕上り厚10cm 転圧回数1層 RM-30	m <sup>2</sup>	17			第 35 号単価表参照
舗装工(人力施工)	車道及び路肩 仕上り厚50mm 大型車 再生密粒度アスコン(13)	m <sup>2</sup>	17			第 36 号単価表参照
As塊運搬費	D I D 区間無し 運搬距離5.9km 良好 ダンプトラック4 t 積 バックホウ山積0.45m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	2			第 37 号単価表参照
発生土運搬費	D I D 区間無し 運搬距離0.2km 良好 ダンプトラック4 t 積 バックホウ山積0.45m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	8			路盤廃材 第 38 号単価表参照
発生土運搬費	D I D 区間無し 運搬距離0.2km 良好 ダンプトラック4 t 積 バックホウ山積0.45m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	400			発生土 第 38 号単価表参照
カッター廃水運搬費		式	1			
A S 廃材処分費	長生	t	4			
カッター廃水処分費		kg	118			

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
小計						
4. 仮設工 (φ700)						
土留工 (軽量鋼矢板たて込み)	機械施工 掘削深2.0m以下 支保工 軽量金属製	m	11.5			第 39 号単価表参照
土留工 (軽量鋼矢板たて込み)	機械施工 掘削深2.5m以下 支保工 軽量金属製	m	24			第 40 号単価表参照
土留工 (軽量鋼矢板たて込み)	機械施工 掘削深3.0m以下 支保工 軽量金属製	m	9.1			第 41 号単価表参照
土留工 (軽量鋼矢板たて込み)	機械施工 掘削深3.5m以下 支保工 軽量金属製	m	7.4			第 42 号単価表参照
軽量鋼矢板・支保材賃料	H=2.0m	式	1			布設工 L=1.450m
軽量鋼矢板・支保材賃料	H=2.0m	式	1			布設工 L=4.870m
軽量鋼矢板・支保材賃料	H=2.5m	式	1			布設工
軽量鋼矢板・支保材賃料	H=3.0m	式	1			布設工
軽量鋼矢板・支保材賃料	H=4.0m	式	1			布設工

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
軽量鋼矢板・支保材賃料	H=2.5m	式	1			離脱防止金具
軽量鋼矢板・支保材賃料	H=4.0m	式	1			離脱防止金具
軽量鋼矢板・支保材賃料	H=2.0m	式	1			試掘
軽量鋼矢板・支保材賃料	H=3.0m	式	1			試掘
小計						
5. 材料費 (φ300)						
直管	1種管 N S φ 300×6000 内面エポキシ樹脂粉体塗装	本	2			
90° 曲管	N S φ 300 内面エポキシ樹脂粉体塗装	個	3			
45° 曲管	N S φ 300 内面エポキシ樹脂粉体塗装	個	1			
45° 両受曲管	N S φ 300 内面エポキシ樹脂粉体塗装	個	1			
ラケ	N S φ 300 内面エポキシ樹脂粉体塗装	個	1			

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
挿しロリング	N S φ 300 リベットタイプ 内面エポキシ樹脂粉体塗装	個	5			
ソトシール仕切弁	N S 両受用 φ 300 10K 内外面粉体塗装	基	1			
ソトシール仕切弁	N S 受挿用 内外面粉体塗装 φ 300 10K	基	1			
明示テープ	30巾	m	13.2			
明示シート	400W	m	13.1			
弁筐	内ねじ式 A2号 台座含む	個	2			
6. 布設労務費 (φ 300)						
鋳鉄管吊込み据付工 (機械力)	呼び径300mm クレーン装置付 へーストラック4~4.5t積吊能力2.9t	m	12			第 43 号単価表参照
N S 形継手接合工	直管 呼び径300mm	口	1			第 44 号単価表参照
メカニカル継手工	N S 形 異形管 (継ぎ輪以外) 呼び径300mm 離脱防止継手	口	10			第 45 号単価表参照
鋳鉄管切断工 (パイプ切削切断機使用)	呼び径300mm	口	1			第 46 号単価表参照



名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
鋳鉄管切断・溝切り加工	呼び径300mm N S 形 / パイプ切削切断機使用	口	5			第 47 号単価表参照
N S 形継手挿口加工工	呼び径300mm リベット式固定	口	5			第 48 号単価表参照
ポリエチレンスリーブ被覆工	呼び径300mm	m	13.2			第 49 号単価表参照
管明示テープ工	呼び径 $\phi$ 300×6000 天端明示 無	m	13.2			第 50 号単価表参照
管明示シート工		m	13.1			第 10 号単価表参照
鋳鉄製仕切弁設置工 (機械力)	縦型 呼び径300mm クレーン装置付 ベーストラック4~4.5t積吊能力2.9t	基	2			第 51 号単価表参照
仕切弁・空気弁ボックス設置工	ねじ式弁筐 A・B形1号 底版を使用	箇所	2			第 15 号単価表参照
下層路盤工 (施工幅1.8m未満)	全仕上り厚15cm 転圧回数1層 RC-40	m <sup>2</sup>	1			第 25 号単価表参照
削孔代	$\phi$ 350	箇所	1			
小計						
7. 土工 ( $\phi$ 300)						

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
バックホウ掘削積込	山積0.45m3(平積0.35m3)	m3	12			第 30 号単価表参照
管路埋戻費(機械埋戻・バックホウ)	山積0.45m3(平積0.35m3)	m3	6			第 32 号単価表参照
管路埋戻費(機械埋戻・バックホウ)	発生土 山積0.45m3(平積0.35m3)	m3	5			第 33 号単価表参照
発生土運搬費	D I D 区間無し 運搬距離0.2km 良好 ダンプトラック4 t 積 バックホウ山積0.45m3	m3	8			発生土 第 38 号単価表参照
小計						
8. 不断水土工(上流側)						
舗装版切断		m	21			第 28 号単価表参照
バックホウによる舗装版直接掘削・積込工	舗装厚0cmを超え10cm以下 山積0.45m3(平積0.35m3)	m2	25			第 29 号単価表参照
バックホウ掘削積込	山積0.45m3(平積0.35m3)	m3	60			第 30 号単価表参照
掘削工	土砂 現場制約あり	m3	50			第 31 号単価表参照
管路埋戻費(機械埋戻・バックホウ)	山積0.45m3(平積0.35m3)	m3	50			第 32 号単価表参照

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
管路埋戻費(機械埋戻・バックホウ)	発生土 山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> )	m <sup>3</sup>	40			第 33 号単価表参照
下層路盤工(施工幅1.8m未満)	全仕上り厚15cm 転圧回数1層 RC-40	m <sup>2</sup>	22			第 25 号単価表参照
コンクリート		m <sup>3</sup>	12			第 52 号単価表参照
一般型枠工	鉄筋・無筋構造物	m <sup>2</sup>	15			第 53 号単価表参照
鉄筋工	SD295 D16 10t未満 一般構造物	t	0.03			第 54 号単価表参照
As塊運搬費	D I D 区間無し 運搬距離5.9km 良好 ダンプトラック4t積 バックホウ山積0.45m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	1			第 37 号単価表参照
発生土運搬費	D I D 区間無し 運搬距離0.2km 良好 ダンプトラック4t積 バックホウ山積0.45m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	6			路盤廃材 第 38 号単価表参照
発生土運搬費	D I D 区間無し 運搬距離0.2km 良好 ダンプトラック4t積 バックホウ山積0.45m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	70			発生土 第 38 号単価表参照
カッター廃水運搬費		式	1			下流側共
AS廃材処分費	長生	t	3			
カッター廃水処分費		kg	42			

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
9. 立坑工（上流側）						
バイプロハンマ施工による鋼矢板打込み工	陸上 油圧式 Ⅲ型	枚	42			第 55 号単価表参照
バイプロハンマ施工による鋼矢板引抜き工	陸上 油圧式・可変超高周波型 242kW 引抜き長9m	枚	42			第 56 号単価表参照
切梁・腹起し設置工	火打ブロック使用しない	t	4.3			第 57 号単価表参照
切梁・腹起し撤去工	火打ブロック使用しない	t	4.3			第 58 号単価表参照
バイプロハンマ施工によるH型鋼打込み工	陸上 油圧式 打込み長7.5m 陸上 H300	本	4			第 59 号単価表参照
バイプロハンマ施工によるH型鋼引抜き工	陸上 油圧式・可変超高周波型 242kW 引抜き長7.5m	本	4			第 60 号単価表参照
敷鉄板設置・撤去工	標準型・クレーン機能付 山0.8/平0.6m3 吊2.9t	m2	7			第 61 号単価表参照
横矢板設置工		m2	11			第 62 号単価表参照
横矢板撤去工		m2	11			第 63 号単価表参照
雑矢板	松・カラ松 1.5×6×15上	m3	1			

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼矢板賃料	Ⅲ型	式	1			
山留鋼材賃料	H400	式	1			
H鋼材賃料	H300	式	1			
敷鉄板賃料	22×914×1829	式	1			立坑工（上流側）
小計						
10. 不断水土工（下流側）						
舗装版切断		m	9			第 28 号単価表参照
バックホウによる舗装版直接掘削・積込工	舗装厚0cmを超え10cm以下 山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> )	m <sup>2</sup>	25			第 29 号単価表参照
バックホウ掘削積込	山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> )	m <sup>3</sup>	60			第 30 号単価表参照
掘削工	土砂 現場制約あり	m <sup>3</sup>	40			第 31 号単価表参照
管路埋戻費(機械埋戻・バックホウ)	山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> )	m <sup>3</sup>	30			第 32 号単価表参照

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
管路埋戻費(機械埋戻・バックホウ)	発生土 山積0.45m3(平積0.35m3)	m3	50			第 33 号単価表参照
下層路盤工(施工幅1.8m未満)	全仕上り厚15cm 転圧回数1層 RC-40	m2	22			第 25 号単価表参照
コンクリート		m3	11			第 52 号単価表参照
一般型枠工	鉄筋・無筋構造物	m2	15			第 53 号単価表参照
鉄筋工	SD295 D16 10t未満 一般構造物	t	0.02			第 54 号単価表参照
As塊運搬費	DID区間無し 運搬距離5.9km 良好 ダンプトラック4t積 バックホウ山積0.45m3	m3	1			第 37 号単価表参照
発生土運搬費	DID区間無し 運搬距離0.2km 良好 ダンプトラック4t積 バックホウ山積0.45m3	m3	6			路盤廃材 第 38 号単価表参照
発生土運搬費	DID区間無し 運搬距離0.2km 良好 ダンプトラック4t積 バックホウ山積0.45m3	m3	50			発生土 第 38 号単価表参照
AS廃材処分費	長生	t	3			
カッター廃水処分費		kg	19			
小計						

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
1 1 . 立坑工 (下流側)						
バイプロハンマ施工による鋼矢板打込み工	陸上 油圧式 Ⅲ型	枚	50			第 64 号単価表参照
バイプロハンマ施工による鋼矢板引抜き工	陸上 油圧式・可変超高周波型 242kW 引抜き長13m	枚	50			第 65 号単価表参照
切梁・腹起し設置工	火打ブロック使用しない	t	5			第 57 号単価表参照
切梁・腹起し撤去工	火打ブロック使用しない	t	5			第 58 号単価表参照
バイプロハンマ施工によるH型鋼打込み工	陸上 油圧式 打込み長14.5m 陸上 H300	本	4			第 66 号単価表参照
バイプロハンマ施工によるH型鋼引抜き工	陸上 油圧式・可変超高周波型 242kW 引抜き長14.5m	本	4			第 67 号単価表参照
敷鉄板設置・撤去工	標準型・クレーン機能付 山0.8/平0.6m3 吊2.9t	m2	7			第 61 号単価表参照
横矢板設置工		m2	6			第 62 号単価表参照
横矢板撤去工		m2	6			第 63 号単価表参照
雑矢板	松・カラ松 1.5×6×15上	m3	1			

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼矢板賃料	Ⅲ型	式	1			
山留鋼材賃料	H400	式	1			
H鋼材賃料	H300	式	1			
敷鉄板賃料	22×914×1829	式	1			立坑工（下流側）
小計						
計						



第 2 号内訳書 既設管撤去工

1式

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
1. 既設管撤去工						
ダクタイル鋳鉄管（FCD）撤去切断工	呼び径700mm パイプ切削切断機 φ600～φ900	口	30			第 68 号単価表参照
撤去鋳鉄管吊上げ積込み工（機械力）	呼び径700mm トラッククレーン・油圧伸縮ジブ型 4.9t吊	m	176.3			第 69 号単価表参照
メカニカル継手工	K形 呼び径700mm 特殊押輪	口	2			第 5 号単価表参照
仕切弁・空気弁ボックス撤去工	鉄蓋 円形 4号	個	1			第 70 号単価表参照
仕切弁・空気弁ボックス撤去工	レジンCo製ボックス 円形 6号	個	1			第 71 号単価表参照
仕切弁・空気弁ボックス撤去工	ねじ式弁筐 A・B形 1号 底版を使用	箇所	1			第 72 号単価表参照
仕切弁・空気弁ボックス撤去工	鉄蓋 円形 4号	個	1			第 70 号単価表参照
仕切弁・空気弁ボックス撤去工	レジンCo製ボックス 円形 4号	個	1			第 73 号単価表参照
仕切弁・空気弁ボックス撤去工（人力）	レジンコンクリート製分割底版型ボックス 円形 4号	個	1			第 74 号単価表参照
小計						

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
2. 土工						
舗装版切断		m	353			第 28 号単価表参照
バックホウによる舗装版直接掘削・積込工	舗装厚0cmを超え10cm以下 山積0.45m3(平積0.35m3)	m2	273			第 29 号単価表参照
バックホウ掘削積込	山積0.45m3(平積0.35m3)	m3	540			第 30 号単価表参照
管路埋戻費(機械埋戻・バックホウ)	発生土 山積0.45m3(平積0.35m3)	m3	630			第 33 号単価表参照
積込工(ルース)	土砂 小規模(標準)	m3	100			第 75 号単価表参照
発生土運搬費	D I D 区間無し 運搬距離0.2km 良好 ダンプトラック4 t 積 バックホウ山積0.45m3	m3	100			第 38 号単価表参照
As塊運搬費	D I D 区間無し 運搬距離5.9km 良好 ダンプトラック4 t 積 バックホウ山積0.45m3	m3	14			第 37 号単価表参照
Co塊(鉄筋)運搬費	D I D 区間無し 運搬距離5.9km 良好 ダンプトラック4 t 積 バックホウ山積0.45m3	m3	0.3			第 76 号単価表参照
発生土運搬費	D I D 区間無し 運搬距離0.2km 良好 ダンプトラック4 t 積 バックホウ山積0.45m3	m3	66			路盤廃材 第 38 号単価表参照
カッター廃水運搬費		式	1			

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
現場発生品及び支給品運搬	片道運搬距離6.1km 平均積載質量4t クレーン装置付 ヘビートラック4～4.5t積吊能力2.9t	回	8			第 27 号単価表参照
現場発生品及び支給品運搬	片道運搬距離25.7km 平均積載質量0.1t クレーン装置付 ヘビートラック2t積吊能力2.0t	回	1			第 77 号単価表参照
A S 廃材処分費	長生	t	14			
鉄筋CO処分費	長生	t	1			
カッター廃水処分費		kg	719			
スクラップ	ヘビーH1	t	-35			
廃プラスチック類処理費		m <sup>3</sup>	0.3			
小計						
3. 仮設工						
土留工（軽量鋼矢板たて込み）	機械施工 掘削深2.5m以下 支保工 軽量金属製	m	170.1			第 40 号単価表参照
土留工（軽量鋼矢板たて込み）	機械施工 掘削深3.5m以下 支保工 軽量金属製	m	6.2			第 42 号単価表参照

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
軽量鋼矢板・支保材賃料	H=2.5m	式	1			撤去工
軽量鋼矢板・支保材賃料	H=3.5m	式	1			撤去工
小計						
計						

第 3 号 内訳書 交通誘導警備員

1式

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員B		人				
計						

第 4 号内訳書 運搬費 (積上)

1式

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
仮設材等の運搬	(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)	t	67.9			第 78 号単価表参照
仮設材等の積込み取卸し費		t	67.9			第 79 号単価表参照
仮設材等の運搬	(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)	t	67.9			第 78 号単価表参照
仮設材等の運搬	(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)	t	44.4			第 80 号単価表参照
仮設材等の積込み取卸し費		t	44.4			第 79 号単価表参照
仮設材等の運搬	(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)	t	44.4			第 80 号単価表参照
重建設機械分解組立輸送		回	1			第 81 号単価表参照
計						

第 5 号 内訳書 技術管理費

1式

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
通水試験工	口径φ800以下 既設管と連絡して給水車が不要	日				第 82 号単価表参照
計						

第 1 号 単価表

鑄鉄管吊込み据付工（機械力）

呼び径700mm

トラッククレーン・油圧伸縮ジャブ型 4.9t吊

10 m 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
配管工		人				
普通作業員		人				
トラッククレーン賃料	トラッククレーン・油圧伸縮ジャブ型 4.9t吊	日				
計	10 m 当り					
	1 m 当り					



第 2 号 単価表

NS形継手接合工

呼び径700mm  
ライナを含む継手の接合

1 口 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
配管工		人				
普通作業員		人				
諸雑費		式	1			
計	1 口 当り					

第 3 号 単価表

NS形継手接合工

呼び径700mm

1 口 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
配管工		人				
普通作業員		人				
諸雑費		式	1			
計	1 口 当り					

第 4 号 単価表

フランジ継手工

铸铁管 JWWA10K 呼び径700mm

1 口 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
配管工		人				
普通作業員		人				
諸雑費		式	1			
計	1 口 当り					

第 5 号 単価表

メカニカル継手工

K形 呼び径700mm  
特殊押輪

1 口 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
配管工		人				
普通作業員		人				
諸雑費		式	1			
計	1 口 当り					

第 6 号 単価表

鑄鉄管切断・溝切り 2 工程

呼び径700mm

NS形/パイ°切削切断機使用

1 口 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
パイ°切断機損料	φ 600～φ 900	日				
諸雑費		式	1			
計	1 口 当り					

第 7 号 単価表

NS形継手挿口加工工

呼び径700mm リベット式固定

1 口 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
配管工		人				
普通作業員		人				
諸雑費		式	1			
計	1口 当り					

第 8 号 単価表

ポリエチレンスリーブ被覆工

呼び径700mm

100 m 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
配管工		人				
普通作業員		人				
ポリエチレンスリーブ	φ 700	m	125			
固定用ゴムバンド	φ 700	組	150			
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

ポリエチレンスリーブ使用量 (100m当り)

$$A=L2*(1+\alpha)/L1*100.0$$

$$=7.5*(1+0)/6*100.0=125$$

$$L1:直管長(m/本) = 6$$

$$L2:管1本当りスリーブ長(m) = 7.5$$

$$\alpha:ポリエチレンスリーブ割増係数 = 0$$

固定バンド使用量 (100m当り)

$$B=(4*(1+\beta)+(L1-1.0))/L1*100.0$$

$$=(4*(1+0)+(6-1.0))/6*100.0=150$$

$$\beta:固定バンド割増係数 = 0$$

$$L1:直管長(m/本) = 6$$

第 9 号 単価表

管明示テープ工

呼び径φ700×6000 天端明示 有

100 m 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員		人				
計	100 m 当り					
	1 m 当り					



第 10 号 単価表

管明示シート工

100 m 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員		人				
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

第 11 号 単価表

バタフライ弁設置工（機械力）

縦型 呼び径700mm 鋳鉄製及び鋼板製  
トラッククレーン・油圧伸縮ジャブ型 4.9t吊

1 基 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
配管工		人				
普通作業員		人				
トラッククレーン賃料	トラッククレーン・油圧伸縮ジャブ型 4.9t吊	日				
計	1 基 当り					

第 12 号 単価表

仕切弁・空気弁ボックス設置工

鉄蓋 円形 4号

1 個 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員		人				
計	1個 当り					

第 13 号 単価表

仕切弁・空気弁ボックス設置工

ワジンCo製ボックス 円形 6号

1 個 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員		人				
計	1個 当り					

第 14 号 単価表

仕切弁・空気弁ボックス設置工

ワジンCo製ボックス 円形6号

1 個 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員		人				
計	1個 当り					

第 15 号 単価表

仕切弁・空気弁ボックス設置工

ねじ式弁筐 A・B形1号  
底版を使用

1 箇所 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員		人				
計	1箇所 当り					

第 16 号 単価表

仕切弁・空気弁ボックス設置工

レジンCo製ボックス 円形4号

1 個 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員		人				
計	1個 当り					

第 17 号 単価表

仕切弁・空気弁ボックス設置工(人力)

レジンコンクリート製分割底版型ボックス  
円形4号

1 個 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員		人				
計	1個 当り					



第 18 号 単価表

空気弁設置工

機械施工 呼び径75mm

1 基 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
配管工		人				
普通作業員		人				
トラック運転	クレーン装置付 トラック4～4.5t積吊能力2.9t	h				第 83 号単価表参照
諸雑費		式	1			
計	1 基 当り					

第 19 号 単価表

仕切弁・バタフライ弁設置工 (人力)

縦・横型 呼び径75mm

1 基 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
配管工		人				
普通作業員		人				
計	1基 当り					

第 20 号 単価表

鑄鉄管吊込み据付工 (人力)

呼び径75mm以下

10 m 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
配管工		人				
普通作業員		人				
計	10 m 当り					
	1 m 当り					

第 21 号 単価表

フランジ継手工

鋳鉄管 JWWA10K 呼び径75mm

1 口 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
配管工		人				
普通作業員		人				
諸雑費		式	1			
計	1 口 当り					

第 22 号 単価表

仕切弁・空気弁ボックス設置工

鉄蓋 円形 6 号

1 個 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員		人				
計	1 個 当り					

第 23 号 単価表

仕切弁・空気弁ボックス設置工

ワジンCo製ボックス 円形 6号

1 個 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員		人				
計	1個 当り					

第 24 号 単価表

下層路盤工 (施工幅1.8m未満)

全仕上り厚20cm 転圧回数1層  
RC-40

100 m2 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員		人				
再生クラッシャーラン	RC-40	m <sup>3</sup>	25.4			100*0.2*(1+0.27)
タンパ運転	質量60~80kg	日				第 84 号単価表参照
計	100m2 当り					
	1m2 当り					

第 25 号 単価表

下層路盤工 (施工幅1.8m未満)

全仕上り厚15cm 転圧回数1層  
RC-40

100 m2 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員		人				
再生クラッシャーラン	RC-40	m <sup>3</sup>	19.05			100*0.15*(1+0.27)
タンパ運転	質量60~80kg	日				第 84 号単価表参照
計	100m2 当り					
	1m2 当り					



第 26 号 単価表

下層路盤工 (施工幅1.8m未満)

全仕上り厚5cm 転圧回数1層  
RC-40

100 m2 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員		人				
再生クラッシャーラン	RC-40	m <sup>3</sup>	6.35			100*0.05*(1+0.27)
タンパ運転	質量60~80kg	日				第 84 号単価表参照
計	100m2 当り					
	1m2 当り					

第 27 号 単価表

現場発生品及び支給品運搬

片道運搬距離6.1km 平均積載質量4t

クレーン装置付 ベーストラック4～4.5t積吊能力2.9t

1 回 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員		人				
トラック運転	クレーン装置付 ベーストラック4～4.5t積吊能力2.9t	h				第 83 号単価表参照
計	1回 当り					

第 28 号 単価表

舗装版切断

1 m 当り

名称	規格寸法	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
コンクリートカッタ [バキューム式 (超低騒音型)]	湿式 切削深20cm級 ブレード径φ56cm	%	K1			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
土木一般世話役		%	R2			
普通作業員		%	R3			
材料構成比		%	Z			
コンクリートカッタ (ブレード)	径18インチ	%	Z1			
ガソリン	レギュラー	%	Z2			
	1 m 当り					

第 29 号 単価表

バックホウによる舗装版直接掘削・積込工

舗装厚0cmを超え10cm以下  
山積0.45m<sup>3</sup>(平積0.35m<sup>3</sup>)

100 m<sup>2</sup> 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
普通作業員		人				
バックホウ(クローラ型)運転	標準型 山積0.45/平積0.35m <sup>3</sup> 排出ガス対策型(第1次基準値)	h				第 85 号単価表参照
計	100 m <sup>2</sup> 当り					
	1 m <sup>2</sup> 当り					

第 30 号 単価表

バックホウ掘削積込

山積0.45m<sup>3</sup>(平積0.35m<sup>3</sup>)

100 m<sup>3</sup> 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
普通作業員		人				
バックホウ(クローラ型)運転	標準型 山積0.45/平積0.35m <sup>3</sup> 排出ガス対策型(第1次基準値)	h				第 85 号単価表参照
計	100 m <sup>3</sup> 当り					
	1 m <sup>3</sup> 当り					

第 31 号 単価表

掘削工

土砂 現場制約あり

1 m3 当り

名称	規格寸法	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
	1 m3 当り					

第 32 号 単価表

管路埋戻費(機械埋戻・バックホウ)

山積0.45m<sup>3</sup>(平積0.35m<sup>3</sup>)

100 m<sup>3</sup> 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				現場での指揮・指導
普通作業員		人				機械投入に伴う補助労務
普通作業員		人				締固め補助
バックホウ(クローラ型)運転	標準型 山積0.45/平積0.35m <sup>3</sup> 排出ガス対策型(第1次基準値)	h				第 85 号単価表参照
タンパ運転	質量60～80kg	日				第 86 号単価表参照
砂	埋戻し用	m <sup>3</sup>	111			
計	100 m <sup>3</sup> 当り					
	1 m <sup>3</sup> 当り					

第 33 号 単価表

管路埋戻費(機械埋戻・バックホウ)

発生土

山積0.45m<sup>3</sup>(平積0.35m<sup>3</sup>)

100 m<sup>3</sup> 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				現場での指揮・指導
普通作業員		人				機械投入に伴う補助労務
普通作業員		人				締固め補助
バックホウ(クローラ型)運転	標準型 山積0.45/平積0.35m <sup>3</sup> 排出ガス対策型(第1次基準値)	h				第 85 号単価表参照
タンパ運転	質量60～80kg	日				第 86 号単価表参照
計	100 m <sup>3</sup> 当り					
	1 m <sup>3</sup> 当り					



第 34 号 単価表

下層路盤工 (施工幅1.8m未満)

全仕上り厚14cm 転圧回数1層  
RC-40

100 m2 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員		人				
再生クラッシャーラン	RC-40	m <sup>3</sup>	17.78			100*0.14*(1+0.27)
タンパ運転	質量60~80kg	日				第 84 号単価表参照
計	100m2 当り					
	1m2 当り					

第 35 号 単価表

上層路盤工 (施工幅1.8m未満)

全仕上り厚10cm 転圧回数1層  
RM-30

100 m2 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員		人				
再生粒度調整碎石	RM-30	m <sup>3</sup>	12.7			100*0.1*(1+0.27)
タンパ運転	質量60~80kg	日				第 84 号単価表参照
計	100 m2 当り					
	1 m2 当り					

第 36 号 単価表

舗装工(人力施工)

車道及び路肩 仕上り厚50mm 大型車  
再生密粒度アスコン (13)

100 m2 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
再生アスファルト混合物	再生密粒度アスコン (13)	t	12.573			100*50/1000*2.35*(1+0.07)
アスファルト乳剤	PK-3 プライムコート用	L				
振動ロー(舗装用)運転	ハンドガレット式 運転質量0.5~0.6t	日				第 87 号単価表参照
振動コンパクタ運転	前進型 機械質量40~60kg	日				第 88 号単価表参照
諸雑費		式	1			
計	100m2 当り					
	1m2 当り					

第 37 号 単価表

As塊運搬費

D I D 区間無し 運搬距離5.9km 良好  
 ダンプトラック4 t 積 バックホウ山積0.45m3

10 m3 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
ダンプトラック運転	オロード・テーブル 4t積級 タイヤ損耗(良好)	日				第 89 号単価表参照
計	10m3 当り					
	1m3 当り					

第 38 号 単価表

発生土運搬費

D I D 区間無し 運搬距離0.2km 良好  
 ダンプトラック4 t 積 バックホウ山積0.45m3

10 m3 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
ダンプトラック運転	オノロード・テーブル 4t積級 タイヤ損耗(良好)	日				第 89 号単価表参照
計	10m3 当り					
	1m3 当り					

第 39 号 単価表

土留工 (軽量鋼矢板たて込み)

機械施工 掘削深2.0m以下  
支保工 軽量金属製

100 m 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
軽量鋼矢板たて込み工 (両側分)	機械施工 掘削深2.0m以下 クローラ型 山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> )	m	100			第 90 号単価表参照
軽量鋼矢板引抜工 (両側分)	機械施工 掘削深2.0m以下 クローラ型 山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> )	m	100			第 91 号単価表参照
軽量金属製支保設置撤去工	1段 2.0m以下 軽量金属腹起し材 水圧式パイプサポート	m	100			第 92 号単価表参照
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

第 40 号 単価表

土留工 (軽量鋼矢板たて込み)

機械施工 掘削深2.5m以下  
支保工 軽量金属製

100 m 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
軽量鋼矢板たて込み工 (両側分)	機械施工 掘削深2.5m以下 クローラ型 山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> )	m	100			第 93 号単価表参照
軽量鋼矢板引抜工 (両側分)	機械施工 掘削深2.5m以下 クローラ型 山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> )	m	100			第 94 号単価表参照
軽量金属製支保設置撤去工	2段 3.5m以下 軽量金属腹起し材 水圧式パイプサポート	m	100			第 95 号単価表参照
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

第 41 号 単価表

土留工 (軽量鋼矢板たて込み)

機械施工 掘削深3.0m以下  
支保工 軽量金属製

100 m 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
軽量鋼矢板たて込み工 (両側分)	機械施工 掘削深3.0m以下 クローラ型 山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> )	m	100			第 96 号単価表参照
軽量鋼矢板引抜工 (両側分)	機械施工 掘削深3.0m以下 クローラ型 山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> )	m	100			第 97 号単価表参照
軽量金属製支保設置撤去工	2段 3.5m以下 軽量金属腹起し材 水圧式パイプサポート	m	100			第 95 号単価表参照
計	100 m 当り					
	1 m 当り					



第 42 号 単価表

土留工 (軽量鋼矢板たて込み)

機械施工 掘削深3.5m以下  
支保工 軽量金属製

100 m 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
軽量鋼矢板たて込み工 (両側分)	機械施工 掘削深3.5m以下 クローラ型 山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> )	m	100			第 98 号単価表参照
軽量鋼矢板引抜工 (両側分)	機械施工 掘削深3.5m以下 クローラ型 山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> )	m	100			第 99 号単価表参照
軽量金属製支保設置撤去工	2段 3.5m以下 軽量金属腹起し材 水圧式パイプサポート	m	100			第 95 号単価表参照
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

第 43 号 単価表

鑄鉄管吊込み据付工（機械力）

呼び径300mm

クレーン装置付 ベーストラック4～4.5t積吊能力2.9t

10 m 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
配管工		人				
普通作業員		人				
トラック運転	クレーン装置付 ベーストラック4～4.5t積吊能力2.9t	h				第 83 号単価表参照
計	10 m 当り					
	1 m 当り					

第 44 号 単価表

N S形継手接合工

直管 呼び径300mm

1 口 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
配管工		人				
普通作業員		人				
諸雑費		式	1			
計	1 口 当り					

第 45 号 単価表

メカニカル継手工

NS形 異形管（継ぎ輪以外） 呼び径300mm  
離脱防止継手

1 口 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
配管工		人				
普通作業員		人				
諸雑費		式	1			
計	1 口 当り					

第 46 号 単価表

鑄鉄管切断工 (パイプ切削切断機使用)

呼び径300mm

1 口 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
パイプ切断機損料	φ500以下	日				
諸雑費		式	1			
計	1 口 当り					

第 47 号 単価表

鋳鉄管切断・溝切り加工

呼び径300mm

NS形／パイプ切削切断機使用

1 口 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
パイプ切断機損料	φ500以下	日				
諸雑費		式	1			
計	1口 当り					

第 48 号 単価表

N S形継手挿口加工工

呼び径300mm リベット式固定

1 口 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
配管工		人				
普通作業員		人				
諸雑費		式	1			
計	1口 当り					

第 49 号 単価表

ポリエチレンスリーブ被覆工

呼び径300mm

100 m 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
配管工		人				
普通作業員		人				
ポリエチレンスリーブ	φ 300	m	116.667			
固定バンド	φ 300	組	150			
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

ポリエチレンスリーブ使用量 (100m当り)

$$A = L2 * (1 + \alpha) / L1 * 100.0$$

$$= 7 * (1 + 0) / 6 * 100.0 = 116.667$$

L1:直管長(m/本) = 6  
 L2:管1本当りスリーブ長(m) = 7  
 α:ポリエチレンスリーブ割増係数 = 0

固定バンド使用量 (100m当り)

$$B = (4 * (1 + \beta) + (L1 - 1.0)) / L1 * 100.0$$

$$= (4 * (1 + 0) + (6 - 1.0)) / 6 * 100.0 = 150$$

β:固定バンド割増係数 = 0  
 L1:直管長(m/本) = 6



第 50 号 単価表

管明示テープ工

呼び径φ300×6000 天端明示 無

100 m 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員		人				
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

第 51 号 単価表

鑄鉄製仕切弁設置工（機械力）

縦型 呼び径300mm

クレーン装置付 へーストラック4～4.5t積吊能力2.9t

1 基 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
配管工		人				
普通作業員		人				
トラック運転	クレーン装置付 へーストラック4～4.5t積吊能力2.9t	h				第 83 号単価表参照
計	1 基 当り					

第 52 号 単価表

コンクリート

1 m3 当り

名称	規格寸法	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
材料構成比		%	Z			
生コンクリート	18-8-25 (20) 高炉 W/C60%以下	%	Z1			
	1 m3 当り					

第 53 号 単価表

一般型枠工

鉄筋・無筋構造物

1 m2 当り

名称	規格寸法	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
労務構成比		%	R			
型わく工		%	R1			
普通作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
	1 m2 当り					

第 54 号 単価表

鉄筋工

SD 2 9 5 D 1 6 10 t 未満  
一般構造物

1 t 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄筋コンクリート用棒鋼	SD 2 9 5 D 1 6	t	1.03			
鉄筋工	加工・組立共 一般構造物	t	1			
諸雑費		式	1			
計	1 t 当り					

全体補正值の算定

$$\begin{aligned} \text{補正值} &= (1+S/100) * (K1 * K2 * K3 * K4) * T \\ &= (1+15/100) * (1 * 1 * 1 * 1) * 1 = 1.15 \end{aligned}$$

S : 施工規模による加算率 = 15 %  
 K1 : 時間的制約による補正係数 = 1  
 K2 : 夜間作業による補正係数 = 1  
 K3 : トンネル内作業による補正係数 = 1  
 K4 : 法面作業による補正係数 = 1  
 T : 一般構造物による補正係数 = 1

第 55 号 単価表

バイブロハンマ施工による鋼矢板打込み工

陸上 油圧式  
Ⅲ型

10 枚 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
とび工		人				
普通作業員		人				
油圧式バイブロハンマ杭打機 運転	油圧式・可変超高周波型 242kW 排出ガス対策型(第2次基準値)商用電源なし	日				第 100 号単価表参照
諸雑費		式				
計	10 枚 当り					
	1 枚 当り					

第 56 号 単価表

バイブロハンマ施工による鋼矢板引抜き工

陸上 油圧式・可変超高周波型 242kW  
引抜き長9m

10 枚 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
とび工		人				
普通作業員		人				
油圧式バイブロハンマ杭打機 運転	油圧式・可変超高周波型 242kW 排出ガス対策型(第2次基準値)商用電源なし	日				第 101 号単価表参照
諸雑費		式				
計			10 枚 当り			
			1 枚 当り			

第 57 号 単価表

切梁・腹起し設置工

火打ブロック使用しない

10 t 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
とび工		人				
溶接工		人				
普通作業員		人				
ラフテレンクレーン賃料	油圧伸縮ジブ型 25t吊 排出ガス対策型(第1次基準値)	日				
諸雑費		式				
計	10 t 当り					
	1 t 当り					



第 58 号 単価表

切梁・腹起し撤去工

火打ブロック使用しない

10 t 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
とび工		人				
溶接工		人				
普通作業員		人				
ラフテレンクレーン賃料	油圧伸縮ジブ型 25t吊 排出ガス対策型(第1次基準値)	日				
諸雑費		式				
計	10 t 当り					
	1 t 当り					

第 59 号 単価表

バイブロハンマ施工によるH型鋼打込み工

陸上 油圧式 打込み長7.5m  
陸上 H300

10 本 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
とび工		人				
普通作業員		人				
油圧式バイブロハンマ杭打機 運転	油圧式・可変超高周波型 242kW 排出ガス対策型(第2次基準値)商用電源なし	日				第 100 号単価表参照
諸雑費		式				
計			10本 当り			
			1本 当り			

第 60 号 単価表

バイブロハンマ施工によるH型鋼引抜き工

陸上 油圧式・可変超高周波型 242kW  
引抜き長7.5m

10 本 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
とび工		人				
普通作業員		人				
油圧式バイブロハンマ杭打機 運転	油圧式・可変超高周波型 242kW 排出ガス対策型(第2次基準値)商用電源なし	日				第 101 号単価表参照
諸雑費		式				
計	10本 当り					
	1本 当り					

第 61 号 単価表

敷鉄板設置・撤去工

標準型・クレーン機能付 山0.8/平0.6m3 吊2.9t

100 m2 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
とび工		人				
普通作業員		人				
バックホウ(クローラ型)運転	標準型・クレーン機能付 山0.8/平0.6m3 吊2.9t 排出ガス対策型(第1次基準値)	日				第 102 号単価表参照
諸雑費		式				
計	100m2 当り					
	1m2 当り					

第 62 号 単価表

横矢板設置工

10 m2 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
普通作業員		人				
諸雑費		式	1			
計	10 m2 当り					
	1 m2 当り					

第 63 号 単価表

横矢板撤去工

10 m2 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
普通作業員		人				
諸雑費		式	1			
計	10 m2 当り					
	1 m2 当り					

第 64 号 単価表

バイブロハンマ施工による鋼矢板打込み工

陸上 油圧式  
Ⅲ型

10 枚 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
とび工		人				
普通作業員		人				
油圧式バイブロハンマ杭打機 運転	油圧式・可変超高周波型 242kW 排出ガス対策型(第2次基準値)商用電源なし	日				第 100 号単価表参照
諸雑費		式				
計	10 枚 当り					
	1 枚 当り					

第 65 号 単価表

バイブロハンマ施工による鋼矢板引抜き工

陸上 油圧式・可変超高周波型 242kW  
引抜き長13m

10 枚 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
とび工		人				
普通作業員		人				
油圧式バイブロハンマ杭打機 運転	油圧式・可変超高周波型 242kW 排出ガス対策型(第2次基準値)商用電源なし	日				第 101 号単価表参照
諸雑費		式				
計			10 枚 当り			
			1 枚 当り			



第 66 号 単価表

バイブロハンマ施工によるH型鋼打込み工

陸上 油圧式 打込み長14.5m  
陸上 H300

10 本 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
とび工		人				
普通作業員		人				
油圧式バイブロハンマ杭打機 運転	油圧式・可変超高周波型 242kW 排出ガス対策型(第2次基準値)商用電源なし	日				第 100 号単価表参照
諸雑費		式				
計			10本 当り			
			1本 当り			

第 67 号 単価表

バイブロハンマ施工によるH型鋼引抜き工

陸上 油圧式・可変超高周波型 242kW  
引抜き長14.5m

10 本 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
とび工		人				
普通作業員		人				
油圧式バイブロハンマ杭打機 運転	油圧式・可変超高周波型 242kW 排出ガス対策型(第2次基準値)商用電源なし	日				第 101 号単価表参照
諸雑費		式				
計	10本 当り					
	1本 当り					

第 68 号 単価表

ダクタイル鋳鉄管（FCD）撤去切断工

呼び径700mm パイプ切削切断機  
φ600～φ900

1 口 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
パイプ切断機損料	φ600～φ900	日				
諸雑費		式	1			
計	1口 当り					

第 69 号 単価表

撤去鉄管吊上げ積込み工（機械力）

呼び径700mm

トラッククレーン・油圧伸縮ジャブ型 4.9t吊

10 m 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
配管工		人				
普通作業員		人				
トラッククレーン賃料	トラッククレーン・油圧伸縮ジャブ型 4.9t吊	日				
計	10 m 当り					
	1 m 当り					

第 70 号 単価表

仕切弁・空気弁ボックス撤去工

鉄蓋 円形 4号

1 個 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員		人				
計	1個 当り					

第 71 号 単価表

仕切弁・空気弁ボックス撤去工

ワジンCo製ボックス 円形6号

1 個 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員		人				
計	1個 当り					

第 72 号 単価表

仕切弁・空気弁ボックス撤去工

ねじ式弁筐 A・B形1号  
底版を使用

1 箇所 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員		人				
計	1箇所 当り					

第 73 号 単価表

仕切弁・空気弁ボックス撤去工

レジンCo製ボックス 円形4号

1 個 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員		人				
計	1個 当り					



第 74 号 単価表

仕切弁・空気弁ボックス撤去工(人力)

レジンコンクリート製分割底版型ボックス  
円形 4号

1 個 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員		人				
計	1個 当り					

第 75 号 単価表

積込工(ルーズ)

土砂 小規模(標準)

1 m3 当り

名称	規格寸法	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホ(クローラ型)	標準型 山積0.28/平積0.2m3 排出ガス対策型(第2次基準値)	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手(特殊)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

第 76 号 単価表

Co塊（鉄筋）運搬費

D I D 区間無し 運搬距離5.9km 良好  
 ダンプトラック4 t 積 バックホウ山積0.45m3

10 m3 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
ダンプトラック運転	ホロード・テーブル 4t積級 タイヤ損耗(良好)	日				第 89 号単価表参照
計	10m3 当り					
	1m3 当り					

第 77 号 単価表

現場発生品及び支給品運搬

片道運搬距離25.7km 平均積載質量0.1t  
クレーン装置付 べーストラック2t積吊能力2.0t

1 回 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員		人				
トラック運転	クレーン装置付 べーストラック2t積吊能力2.0t	h				第 103 号単価表参照
計	1回 当り					

第 78 号 単価表

仮設材等の運搬

(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)

1 t 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
基本運賃区分A	製品長12m以内 10kmまで	t	1			
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 t 当り					

第 79 号 単価表

仮設材等の積込み取卸し費

1 t 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
積込み. 取卸し費 (仮設材等)		t	2			
計	1 t 当り					

第 80 号 単価表

仮設材等の運搬

(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)

1 t 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
基本運賃区分A	製品長12m超15m以内 10kmまで	t	1			
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 t 当り					

第 81 号 単価表

重建設機械分解組立輸送

1 回 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
特殊作業員		人				
ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型]	25 t 吊	日				
運搬費等		式	1			
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1回 当り					



第 82 号 単価表

通水試験工

口径φ800以下  
既設管と連絡して給水車が不要

1 日 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
配管工		人				
普通作業員		人				
器具損料及び諸雑費		式	1			
計	1日 当り					

第 83 号 単価表

トラック運転

クレーン装置付 トラック4～4.5t積吊能力2.9t

1 h 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）		人				
軽油		L				
トラック	クレーン装置付 トラック4～4.5t積吊能力2.9t	h				
諸雑費		式	1			
計						1 h 当り

第 84 号 単価表

タンパ運転

質量60～80kg

1 日 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
特殊作業員		人				
ガソリン	レギュラー	L				
タンパ及びランマ賃料	ランマ 質量60～80kg	供用日				
諸雑費		式	1			
計	1 日 当り					

第 85 号 単価表

バックホウ(クローラ型)運転

標準型 山積0.45/平積0.35m<sup>3</sup>  
 排出ガス対策型(第1次基準値)

1 h 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手(特殊)		人				
軽油		L				
バックホウ(クローラ型)	標準型 山積0.45/平積0.35m <sup>3</sup> 排出ガス対策型(第1次基準値)	h				
諸雑費		式	1			
計	1 h 当り					

第 86 号 単価表

タンパ運転

質量60～80kg

1 日 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
特殊作業員		人				
ガソリン	レギュラー	L				
タンパ及びランマ賃料	ランマ 質量60～80kg	供用日				
諸雑費		式	1			
計	1 日 当り					

第 87 号 単価表

振動ロー(舗装用)運転

ハンドガイト式 運転質量0.5~0.6t

1 日 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
特殊作業員		人				
軽油		L				
振動ロー(舗装用)	ハンドガイト式 運転質量0.5~0.6t	供用日				
諸雑費		式	1			
計	1 日 当り					

第 88 号 単価表

振動コンパクタ運転

前進型 機械質量40～60kg

1 日 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
特殊作業員		人				
ガソリン	レギュラー	L				
振動コンパクタ	前進型 機械質量40～60kg	供用日				
諸雑費		式	1			
計	1 日 当り					

第 89 号 単価表

ダンプトラック運転

オンロード・デisel 4t積級  
タイヤ損耗(良好)

1 日 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手 (一般)		人				
軽油		L				
ダンプトラック	オンロード・デisel 4t積級	供用日				
タイヤ損耗費	4t 良好	供用日				
諸雑費		式	1			
計	1 日 当り					



第 90 号 単価表

軽量鋼矢板たて込み工（両側分）

機械施工 掘削深2.0m以下  
クローラ型 山積0.45m<sup>3</sup>(平積0.35m<sup>3</sup>)

100 m 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
バックホウ(クローラ型)運転	標準型 山積0.45/平積0.35m <sup>3</sup> 排出ガス対策型(第1次基準値)	h				第 104 号単価表参照
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

第 91 号 単価表

軽量鋼矢板引抜き工（両側分）

機械施工 掘削深2.0m以下  
クローラ型 山積0.45m<sup>3</sup>(平積0.35m<sup>3</sup>)

100 m 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
バックホウ(クローラ型)運転	標準型 山積0.45/平積0.35m <sup>3</sup> 排出ガス対策型(第1次基準値)	h				第 104 号単価表参照
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

第 92 号 単価表

軽量金属製支保設置撤去工

1 段 2.0m以下 軽量金属腹起し材  
水圧式パイプサポート

100 m 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

第 93 号 単価表

軽量鋼矢板たて込み工（両側分）

機械施工 掘削深2.5m以下  
クローラ型 山積0.45m<sup>3</sup>(平積0.35m<sup>3</sup>)

100 m 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
バックホウ(クローラ型)運転	標準型 山積0.45/平積0.35m <sup>3</sup> 排出ガス対策型(第1次基準値)	h				第 104 号単価表参照
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

第 94 号 単価表

軽量鋼矢板引抜き工（両側分）

機械施工 掘削深2.5m以下  
クローラ型 山積0.45m<sup>3</sup>(平積0.35m<sup>3</sup>)

100 m 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
バックホウ(クローラ型)運転	標準型 山積0.45/平積0.35m <sup>3</sup> 排出ガス対策型(第1次基準値)	h				第 104 号単価表参照
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

第 95 号 単価表

軽量金属製支保設置撤去工

2段 3.5m以下 軽量金属腹起し材  
水圧式パイプサポート

100 m 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

第 96 号 単価表

軽量鋼矢板たて込み工 (両側分)

機械施工 掘削深3.0m以下  
クローラ型 山積0.45m<sup>3</sup>(平積0.35m<sup>3</sup>)

100 m 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
バックホウ(クローラ型)運転	標準型 山積0.45/平積0.35m <sup>3</sup> 排出ガス対策型(第1次基準値)	h				第 104 号単価表参照
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

第 97 号 単価表

軽量鋼矢板引抜き工（両側分）

機械施工 掘削深3.0m以下  
クローラ型 山積0.45m<sup>3</sup>(平積0.35m<sup>3</sup>)

100 m 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
バックホウ(クローラ型)運転	標準型 山積0.45/平積0.35m <sup>3</sup> 排出ガス対策型(第1次基準値)	h				第 104 号単価表参照
計	100 m 当り					
	1 m 当り					



第 98 号 単価表

軽量鋼矢板たて込み工 (両側分)

機械施工 掘削深3.5m以下  
クローラ型 山積0.45m<sup>3</sup>(平積0.35m<sup>3</sup>)

100 m 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
バックホウ(クローラ型)運転	標準型 山積0.45/平積0.35m <sup>3</sup> 排出ガス対策型(第1次基準値)	h				第 104 号単価表参照
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

第 99 号 単価表

軽量鋼矢板引抜き工（両側分）

機械施工 掘削深3.5m以下  
クローラ型 山積0.45m<sup>3</sup>(平積0.35m<sup>3</sup>)

100 m 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
バックホウ(クローラ型)運転	標準型 山積0.45/平積0.35m <sup>3</sup> 排出ガス対策型(第1次基準値)	h				第 104 号単価表参照
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

第100号 単価表

油圧式バイブロハンマ杭打機運転

油圧式・可変超高周波型 242kW

排出ガス対策型(第2次基準値)商用電源なし

1 日 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手(特殊)		人				
軽油		L				
バイブロハンマ(単体)ハット形鋼矢板 900mm用	油圧式・可変超高周波 [振り子式] 473kN 排出ガス対策型(第2次基準値)	供用日				
クローラークレーン	油圧駆動式ウインチ・ラジジブ型 50~55t吊 排出ガス対策型(第2次基準値)	供用日				
諸雑費		式	1			
計	1 日 当り					

第101号 単価表

油圧式バイブロハンマ杭打機運転

油圧式・可変超高周波型 242kW  
 排出ガス対策型(第2次基準値)商用電源なし

1 日 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手(特殊)		人				
軽油		L				
バイブロハンマ(単体)ハット形鋼矢板 900mm用	油圧式・可変超高周波 [振り子式] 473kN 排出ガス対策型(第2次基準値)	供用日				
ラフテレーンクレーン	油圧伸縮シブ型 25t吊 排出ガス対策型(第2次基準値)	供用日				
諸雑費		式	1			
計	1 日 当り					

第102号 単価表

バックホウ(クローラ型)運転

標準型・クレーン機能付 山0.8/平0.6m3 吊2.9t  
 排出ガス対策型(第1次基準値)

1 日 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手(特殊)		人				
軽油		L				
バックホウ(クローラ型)賃料	標準型・クレーン機能付 山0.8/平0.6m3 吊2.9t 排出ガス対策型(第1次基準値)	供用日				
諸雑費		式	1			
計	1 日 当り					

第103号 単価表

トラック運転

クレーン装置付 べーストラック2t積吊能力2.0t

1 h 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）		人				
軽油		L				
トラック	クレーン装置付 べーストラック2t積吊能力2.0t	h				
諸雑費		式	1			
計	1 h 当り					

第104号 単価表

バックホウ(クローラ型)運転

標準型 山積0.45/平積0.35m<sup>3</sup>  
 排出ガス対策型(第1次基準値)

1 h 当り

名称	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手(特殊)		人				
軽油		L				
バックホウ(クローラ型)	標準型 山積0.45/平積0.35m <sup>3</sup> 排出ガス対策型(第1次基準値)	h				
諸雑費		式	1			
計						1 h 当り

長生郡市広域市町村圏組合最終処分場築造に伴う  
真名配水場系φ700 送水管移設工事

特 記 仕 様 書

九十九里地域水道企業団



## 第1章 一般共通事項

1. 本特記仕様書によって施工する工事は、長生郡市広域市町村圏組合最終処分場築造に伴う真名配水場系φ700 耗送水管移設工事で、設計書及び工事等共通仕様書、関係法令等に基づき九十九里地域水道企業団監督職員（以下監督職員という。）の指示に従い施工すること。
2. 受注者は、工期を厳守し、同期間内に完成させること。
3. 受注者は、工事施工に先立ち、施工計画書を作成し、監督職員に提出すること。
4. 設計図書に明示ない事項で疑問を生じた場合は、監督職員と協議することとし、施工上若しくは技術上、当然必要と認められるものについては、受注者の責任において施工すること。
5. 当企業団は、必要に応じて工事の増減、変更又は中止を命ずることができる。  
また、工事施工上、設計変更が生じた場合においても、これらの場合における請負金額の増減は、契約書に基づき当企業団及び受注者両者協議のうえ、当企業団単価及び積算基準により行うものとする。
6. 受注者は、工事施工にあたり、工事に関する諸法規、関係諸法令を遵守し、工事の円滑な進捗を図るとともに、安全対策に十分留意すること。
7. 工事施工にあたり、資格を必要とする作業は、それぞれ有資格者が施工すること。
8. 工事用機械、器具等は、設計図書に指定されている場合は、これに適用するものを使用すること。  
ただし、工事施工にあたり、より条件に合った機械、器具がある場合は監督職員の承諾を得て使用することができる。
9. 工事施工に際し、障害となる既設構造物その他に対しては、監督職員と協議のうえ防護又は一時移転を行うこと。  
万一損害を与えた場合は、受注者の責任において一切を処理すること。
10. 本工事に関連して、他の工事及びその他交渉の必要が生じたときは、監督職員に連絡し、関係者による協議を実施し工事の進捗を図ること。
11. 就業時間は、平日午前8時30分より午後5時迄とし、土曜日、日曜日及び祝日は休日とする。  
ただし、平日以外または就業時間外に作業を行う必要を生じた場合は、監督職員にその内容を説明し、書面により承諾を得たうえで実施することができる。
12. 作業中は、現場の整理整頓を行い常に安全な状態で施工すること。  
また、作業終了後は清掃を行い現場の美化に努めること。
13. 受注者は、設計図書に記載された機器、材料について、承諾図書を作成し、監督職員の承諾を得ること。
14. 受注者は、機器及び材料については、現場搬入の都度、監督職員の確認を受けること。
15. 受注者は、当企業団の定める工事記録写真撮影要領により写真を撮影し、完成図書と

ともに提出すること。

16. 工事完成検査にあたり、現場代理人及び主任技術者は当該検査に立ち会わなければならない。

17. 本工事は、発注者が週休2日に取り組むことを指定する週休2日促進工事であるため、以下の事項に留意して施工すること。

受注者は、工事着手前に、週休2日の取得計画が確認できる書類を作成し、監督職員の確認を得たうえで、週休2日に取り組むものとする。工事着手後に、工程計画の見直し等が生じた場合には、その都度、「実施工程表」等を提出するものとする。

また、4週8休以上を前提に工事費を補正していることから、発注者は、現場閉所の達成状況を確認し、4週8休に満たない場合は請負代金額のうち補正分を減額変更する。

なお、週休2日制の実施にあたっては、「九十九里地域水道企業団週休2日制適用工事試行要領（令和4年5月）」に基づき行うこと。

## 第2章 工事仕様

### 1. 工事概要

#### (1) 送水管布設工

ア	ダクタイトル鑄鉄管（φ700 NS形）布設	L=216.935m
イ	ダクタイトル鑄鉄管（φ300 NS形）布設	L= 12.429m
ウ	バタフライ弁設置（φ700・充水機能付 NS形）	3基
エ	ソフトシール仕切弁設置（φ300・NS形）	2基
オ	空気弁設置	1基
カ	不断水切替弁設置（φ700×φ700）	1基
キ	弁体離脱バタ弁付き割T字管設置（φ700×φ700）	1基
ク	不断水仕切弁（φ700）	1基

#### (2) 既設管撤去工

ア	ダクタイトル鑄鉄管（φ700）撤去	L=176.280m
---	-------------------	------------

#### (3) 仮設工

ア	鋼矢板打ち込み・引き抜き（パイプロハンマ施工）	1式
イ	軽量鋼矢板土留	1式

#### (4) 離脱防止金具設置工

ア	二つ割離脱防止金具設置φ700	7口
---	-----------------	----

#### (5) 付帯工

ア	試掘工	1式
イ	路面復旧工	1式
ウ	敷鉄板工	1式

## 2. 主要材料

### (1) 配管材料

- ア 規格 直 管：水道用ダクタイル鋳鉄管 JWWA G113 (JIS G 5526)  
 異形管：水道用ダクタイル鋳鉄管 JWWA G114 (JIS G 5527)
- イ 管種  $\phi 700$ ：NS形・S種  
 $\phi 300$ ：NS形・1種
- ウ 内面粉体塗装  
 直 管：エポキシ樹脂粉体塗装 (JIS G 5528)  
 異形管：エポキシ樹脂粉体塗装 (JIS G 5528)
- エ 使用圧力 : 1.32MPa

### (2) 不断水切替弁 (上流側)

- ア 接続既設管 : 鋳鉄管用
- イ 呼び径 :  $\phi 700 \times \phi 700$
- ウ 使用流体 : 上水
- エ 使用圧力 : 1.32MPa
- オ 分岐部 : NS挿し口
- カ 穿孔時圧力 : 1.32MPa未満

### (3) 不断水工：弁体離脱バタ弁付割T字管 (下流側)

- ア 接続既設管 : 鋳鉄管用
- イ 呼び径 :  $\phi 700 \times \phi 700$
- ウ 使用流体 : 上水
- エ 使用圧力 : 1.32MPa
- オ 分岐部 : フランジ口 (10K仕様)
- カ 穿孔時圧力 : 1.32MPa未満
- キ 既設管の勾配：管勾配なし

### (4) 不断水工：不断水仕切弁 (下流側)

- ア 接続既設管 : 鋳鉄管用
- イ 呼び径 :  $\phi 700$
- ウ 使用流体 : 上水
- エ 使用圧力 : 1.32MPa
- オ 穿孔時圧力 : 1.32MPa未満
- カ 既設管の勾配：管勾配なし

### (5) コンクリート

種 別	設計強度 N/mm <sup>2</sup>	スランプ cm	スランプ cm	備 考
支持コンクリート	18	8	25	切替弁 (上流側)
基礎コンクリート	18	8	25	不断水工 (下流側)

(6) スラストコンクリート用棒鋼

ア 異形棒鋼 : 種類 SD295

3. 施工

(1) 土工

ア 掘削

掘削は、原則として機械掘削（バックホウ）とする。掘削箇所に湧水がある場合は速やかに対処すること。掘削により、障害を発見した場合は、監督職員の指示に従うこと。また、切換弁設置工及び不断水工箇所については、既設送水管φ700より下は機械掘削（バックホウ）が出来ないため、人力掘削となる。

イ 埋戻し

埋戻しは、管上30cmを山砂とし、それより上は発生土とする。埋戻す際は、20cmずつ埋戻し、振動ローラ、タンパ等で十分締固め、将来沈下が生じないように施工する。

ウ 掘り置き

工事箇所は、長生郡市広域市町村圏組合の最終処分場築造工事のため、仮設道路を設置しており、車両通行止めでの施工となる。そのため、日々開削箇所のみを掘り置きし、施工をする。掘り置き箇所は、A形バリケード等で安全措置を図ること。

エ 残土処分（発生土及び路盤）

長生郡市広域市町村圏組合の最終処分場築造工事現場の敷き均し材として使用するため、長生郡市広域市町村圏組合の最終処分場築造工事現場に搬入する。

なお、埋戻しで使用する発生土は、長生郡市広域市町村圏組合の最終処分場築造工事現場へ搬入したものを使用する。

(2) 基礎工事

ア 基礎砕石工

砕石基礎に使用する材料は、あらかじめ試験成績表を提出し、監督職員の承諾を得ること。

(3) 仮設工事

ア 土留工

施工時の掘削状況（地下水等の影響や土質性状）により、本工法による施工が困難な場合は、監督職員と協議の上、別途施工方法を決定すること。

工事期間中は、周辺地盤、隣接構造物、地中埋設物の沈下・移動及び土留の変形等を観測して、設計上の諸条件と比較検討を行い、土留の崩壊、隣接構造物の転倒、地中埋設物の損傷及び周辺地盤の障害の危険を事前に把握して速やかに対処すること。

(4) コンクリート工事

ア コンクリート打設中及び打設直後は、振動機等により十分締固め、コンクリートが鉄筋の周囲あるいは型枠の隅々まで行き渡るように、施工しなければならない。

イ コンクリートは打ち込み後、適切な温度、湿度のものに養生する。

(5) 型枠工事

ア 型枠は設計図書に記されたコンクリート部材の位置・形状及び寸法に正しく一致させ、堅固で荷重・乾湿・振動機の影響によって狂いの生じない構造にしなければならない。

イ 型枠及び支保工は、所定の強度に達するまで、取り外してはならない。

ウ 型枠の組立に使用するフォームタイ等は、水漏れが生じないように木コン跡をド

ライモルタルコーキングできるものを使用する。

(6) その他

- ア 電柱及び電線等、隣接する構造物に支障を生じないように留意の上、施工を行うこと。
- イ 配管布設時に田畑側の法面への影響を最小限に抑えるように努めること。やむを得ず重機等が法面上に占用する際には土嚢、敷き鉄板等により、安全を確保したうえで施工すること。
- ウ 長生郡市広域市町村圏組合最終処分場築造工事現場と近接することから、工事関係者間で工事スケジュール、車両の出入り等の打ち合わせを密に行うこと。
- エ 送水管移設工事は以下の手順で実施する。
  - ①試掘
  - ②立坑設置
  - ③切換弁設置、不断水工（弁体離脱バタ弁付割T字管設置、不断水仕切弁設置）
  - ④立坑撤去、弁室設置
  - ⑤新設管布設
  - ⑥切換弁の充水管から充水（既設送水管は断水にならず）
  - ⑦排泥管より排水、洗管
  - ⑧通水試験の実施
  - ⑨水切換え実施
  - ⑩既設送水管撤去、仮設弁室撤去
- オ 不断水切換弁、不断水工（弁体離脱バタ弁付割T字管、不断水仕切弁）の穿孔日は監督職員と協議の上、決定すること。
- カ 提出書類
  - ①契約時提出書類一式（工事着手届他）
  - ②実施工程表
  - ③施工計画書（総合・工種別）
  - ④施工図・承諾図
  - ⑤試験成績書
  - ⑥工事工程写真
  - ⑦完成図
  - ⑧電子納品（2枚）
  - ⑨その他監督職員の指示するもの

### 第3章 アスベスト調査等

本工事は、アスベスト調査等の対象工事で

あるので、本章を適用する。

ないので、本章を適用しない。

### 第4章 工事特記事項

#### 1. 法令及び規格等適用基準

仕様書記載の法令規格によるほか、下記事項を適用する。【最新版】

- (1) 日本産業規格（JIS）
- (2) 日本水道協会規格（JWWA）
- (3) 水道施設設計指針（日本水道協会）

- (4) 水道維持管理指針（日本水道協会）
- (5) 水道工事標準仕様書（日本水道協会）
- (6) コンクリート標準示方書（土木学会）
- (7) 水道施設耐震工法指針・解説（日本水道協会）
- (8) その他関係法令・規格

## 2. 施工管理

- (1) 受注者は施工方法及び順序等について、あらかじめ監督職員の承諾を受けなければならない。
- (2) 工事施工の担当者は相当経験を有する技術者とし、現場に常駐しなければならない。
- (3) 本工事の着手に当たって、既存送水管の損傷に十分注意すること。  
もし、工事に際して、機能に影響が生じることが考えられる場合は、事前に監督職員と協議し、その指示に従わなければならない。
- (4) 受注者は、近隣家屋への影響を極力防止する施工に努めること。なお、明らかに受注者の責任に起因する場合は受注者の補償とする。
- (5) 使用道路において、材料運搬等により発生する埃、道路の破損等については、常時清掃及び散水を行い防塵に努め、道路復旧については速やかに施工すること。

## 3. 関連工事との協調

本工事現場付近で他工事が施工される場合は、互いに協調して円滑な施工をはかること。

## 4. 用地の使用

現場事務所、資材置き場等、用地の借上げ及び復旧並びに補償等はすべて受注者の負担と責任において行わなければならない。

また、農地、長生郡市広域市町村圏組合最終処分場築造工事ヤードを一時的に、作業ヤード、現場事務所、資材置き場又は、仮駐車場として利用する場合は、農地、長生郡市広域市町村圏組合最終処分場築造工事ヤードの一時転用等の適切な対応をとること。

## 5. 工事現場管理

- (1) 施工中の安全確保に関しては、常に工事の安全に留意し、現場管理を行い、災害及び事故の防止に努めること。  
なお、災害及び事故が発生した場合には、人命の安全確保を優先するとともに、二次災害の防止に努め、その経緯を監督職員に報告すること。
- (2) 気象予報又は警報等について、常に注意を払い、災害の予防に努めること。
- (3) 工事の施工の各段階において、騒音、振動、大気汚染、水質汚濁等の影響が生じないように周辺環境の保全に努めること。
- (4) 塗料、シーリング剤、接着剤その他の化学製品を取扱う場合は、当該製品の製造所が作成した安全データシート（SDS）を常備し、記載内容の周知徹底を図り、作業者の健康、安全の確保及び環境保全に努めること。
- (5) 受注者は、工事の施工にあたっては、地域住民との関係に配慮し問責等が生ずることがあってはならない。また、既設構造物、その他第三者に損傷を与えないよう十分注意すること。万一損傷した場合は、直ちに監督職員及び関連機関に連絡すると共に復旧或いは補償の責任を取らなければならない。
- (6) 作業終了後は、機械及び材料等を速やかに車道外に搬出すると共に、必要に応じて一般交通に支障の無いよう保安施設等の必要な処置を講じなければならない。

## 6. 付近住民、長生郡市広域市町村圏組合最終処分場築造工事現場との対応、地元対策について

- (1) 受注者は、工事施工にあたって地域住民等との関係に配慮すること。

- (2) 工事施工に関して付近住民等との交渉を要する時、又は交渉を受けた時は、速やかにその旨を監督職員に報告すると共に、トラブルに発展しないように対処すること。
- (3) 使用道路の工事関係車両の出入りについて、工事関係車両が走行する時は地元車両を優先し、砂埃をたてないようにすると共に、騒音振動を出さないよう徐行し交通事故を発生させないこと。
- (4) 土砂等で路面が汚れた時は、直ちに路面清掃を行うこと。  
また、ゴミ箱を設置し施工現場周辺にゴミ等を捨てないこと。

#### 7. 通水試験

- (1) 通水日時、方法等は、監督職員の指示によるものとし、受注者は、通水作業時に立ち会うこと。
- (2) 受注者は、配管終了後、継手の水密性を確認するため、管内に充水し管路の水圧試験を行わなければならない。なお、水圧試験の方法については、監督職員の指示による。
  - ア 口径：800 ㎜以下
  - イ 水圧：常圧
  - ウ 保持時間：24 時間保持

#### 8. 準備費

準備及び後片付け、調査・測量、丁張り等、伐開（支障立木の代木を含む）、除根、除草、整地、段切、すり付け等の作業は、共通仮設費の率計算に含まれる。  
なお、処分費については別途協議による。

#### 9. 養生・後片付け

工事目的物の施工済み部分等については、汚染又は損傷しないよう適切な養生を行うとともに、工事完成後は、施工範囲および工事影響範囲の後片付け及び清掃を行うこと。

## 建設副産物に関する特記仕様書

### 第1章 建設副産物対策

#### 1. 共通事項

- (1) 「千葉県建設リサイクル推進計画2016ガイドライン」に基づき、本工事に係る「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を「建設副産物情報交換システム(COBRIS)」により作成し、施工計画書に含め各1部提出すること。

なお、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

また、計画の実施状況(実績)については、「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」並びに「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」を同システムにより作成し、各1部提出するとともに、これらの記録を工事完成後五年間保存しておくこと。

#### ◎作成対象工事

「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」は請負金額が、「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」並びに「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」は最終請負金額が100万円以上の全ての工事について建設資材の利用、建設副産物の発生・搬出の有無にかかわらず作成する。

- (2) 「建設副産物の処理基準及び再生資材の利用基準」に基づき、建設副産物の処理に先立ち、「建設副産物処理承認申請書」を作成し、監督職員の確認を受け、同申請書を1部提出すること。

なお、建設廃棄物の処理を委託する場合は、収集運搬又は処分について許可業者と各々建設廃棄物処理契約を締結し、「建設廃棄物処理委託契約書」を監督職員に提示するとともに、同契約書の写しを同申請書に添付すること。

建設副産物の処理完了後速やかに、「建設副産物処理調書」を作成し、1部提出するとともに、実際に要した処理費等を証明する資料(受入伝票、写真等)を監督職員に提示し確認を受けること。

- (3) 建設廃棄物の処理に当たって、産業廃棄物管理票制度に基づく紙マニフェスト方式による場合は、原則として複写式伝票のD票及びE票の写しを提示すること。

また、電子マニフェスト方式による場合は、原則として廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき指定された情報処理センターが発行する当該工事のマニフェスト情報を収録した電子媒体又は建設廃棄物の引渡し時、運搬終了時及び処分終了時に登録される情報を印刷したもの(受渡確認票等)を提示すること。

#### 2. 建設発生土, 路盤

建設発生土(631.8m<sup>3</sup>), 路盤(86.14m<sup>3</sup>)は、片道運搬距離は、0.2kmに搬出するものとする。なお、埋め戻し用発生土として搬出したものを利用する。

#### 3. 建設廃棄物



本工事により発生する

- (1) アスファルト・コンクリート塊 (23.52 t) は、長生郡長柄町針ヶ谷地先、片道運搬距離 5.9km の太陽建設(株)ながら合材センターに運搬し、処理するものとする。
- (2) コンクリート塊 (0.64 t) は、長生郡長柄町針ヶ谷地先、片道運搬距離 5.9km の太陽建設(株)ながら合材センターに運搬し、処理するものとする。
- (3) 廃プラスチック類 (0.32m<sup>3</sup>) は、市原市万田野地先、片道運搬距離 25.7 kmの(株)市原ニューエナジーに運搬し、処理するものとする。
- (4) カッター廃水 (897.83 kg) は、市原市八幡海岸通地先、片道運搬距離 16.9 kmの太陽建設(株)市原エコセンターに運搬し、処理するものとする。

なお、運搬に先立ち受け入れ条件等を確認し、監督職員に報告するものとする。

※上記の指定処理は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。

掲示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。

ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

工事発注後、事情により上記の条件により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

#### 4. その他

- (1) 建設副産物対策を適切に実施するため、工事現場における責任者を明確にし、計画内容等を現場担当者に周知徹底しなければならない。
- (2) 工事現場において、建設廃棄物の処理方法毎に分別し、保管基準を遵守し、適切に保管しなければならない。
- (3) 建設廃棄物の再利用及び減量化のできないものについては、廃棄物処理法に基づき適正に処理しなければならない。
- (4) 建設廃棄物の処理を委託する場合には、以下の事項に留意し適正に委託しなければならない。
  - ア 廃棄物処理法に規定する処理基準を遵守すること。
  - イ 建設廃棄物運搬については、運搬経路の設定及び車両、積載量の適切な管理をすること。
- (5) 塗料等の付着した缶等は、専門の処理業者に委託する等により適正に処理しなければならない。
- (6) 受注者は廃棄物の処理に関し、以下の書類を提出しなければならない。
  - ア 収集・運搬及び処分委託契約書の写し。
  - イ 収集・運搬業許可証及び処分業許可書の写し。
  - ウ 再生資源利用実施書及び、再生資源利用促進実施書並びに、建設副産物情報交換システム工事登録証明書。
  - エ 運搬経路図。

オ 保管、搬出、処分（搬出車両ナンバー、処分場掲示板）等の写真。

カ その他監督職員の指示する書類。

- (7) 本工事で発生する撤去品のうち有価物として処理するものについては、スクラップ工場までの運搬・搬入を適正に行うこととし、受入証明書または、それに代わるもの及び受入時の写真等を監督職員に提出すること。

## 第2章 建設リサイクル法

### 1. 特定建設資材の分別解体等・再資源化等の適正な措置

(1) 本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）に基づく対象建設工事であり、分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務付けられた工事である。

(2) 受注者は、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条の規定により、以下の事項を書面に記載し、監督職員に報告することとする。

- ・再資源化等が完了した年月日
- ・再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・再資源化等に要した費用

なお、その書面は、「建設副産物情報交換システム（COBRIS）」を用いて作成した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書によることができる。

### 2. 請け負おうとする建設業を営む者からの事前説明に関する事項

(1) 建設リサイクル法第12条の規定により、対象建設工事を請け負おうとする建設業を営む者は、発注者に対し、「法第12条第1項に基づく書面」を交付し説明を行うこととする。

(2) 書面の交付は、契約に先立って行うこととする。

## 個人情報取扱特記事項

### 第1章 個人情報取扱特記事項

#### 1. 基本的事項

受注者は、個人情報の保護の重要性を認識し、この契約による事務の実施に当たっては、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報の取扱いを適正に行う。

#### 2. 事務従事者への周知及び監督

##### (1) 事務従事者への監督

受注者は、この契約による事務を行うために取り扱う個人情報の適切な管理が図られるよう、事務従事者に対して必要かつ適切な監督を行う。

##### (2) 事務従事者への周知

受注者は、事務従事者に対して、次の事項等の個人情報の保護に必要な事項を周知させるものとする。

ア 事務従事者又は事務従事者であった者は、その事務に関して知り得た個人情報をみだりに他人に知らせてはならないこと。

イ 事務従事者又は事務従事者であった者は、その事務に関して知り得た個人情報を不当な目的に使用してはならないこと。

#### 3. 個人情報の取扱い

##### (1) 収集の制限

受注者は、この契約による事務を行うために個人情報を収集するときは、当該事務の目的を達成するために必要な範囲内で、適法かつ公正な手段によりこれを行う。

##### (2) 秘密の保持

受注者は、この契約による事務に関して知り得た個人情報をみだりに他人に知らせてはならない。この契約が終了し、又は解除された後においても、同様とする。

##### (3) 漏えい、滅失及びき損の防止等

受注者は、この契約による事務に関して知り得た個人情報について、個人情報の漏えい、滅失及びき損の防止その他の個人情報の適切な管理のために必要な措置を講じる。

##### (4) 持ち出しの制限

受注者は、発注者が承諾した場合を除き、この契約による事務を発注者が指定した場所で行い、個人情報が記録された機器、記録媒体、書類等（以下「機器等」という。）を当該場所以外に持ち出してはならない。

##### (5) 目的外利用及び提供の制限

受注者は、発注者の指示がある場合を除き、個人情報をこの契約の目的以外の目的のために利用し、又は発注者の承諾なしに第三者に対して提供してはならない。

##### (6) 複写又は複製の制限

受注者は、この契約による事務を処理するために発注者から引き渡された個人情報

が記録された機器等を発注者の承諾なしに複写又は複製してはならない。

#### 4. 再下請の制限

受注者は、発注者が承諾した場合を除き、この契約による事務については自ら行い、第三者にその取扱いを委託してはならない。

#### 5. 事故発生時における報告

受注者は、この契約に違反する事態が生じ、又は生じるおそれのあることを知ったときは、速やかに発注者に報告し、発注者の指示に従うものとする。

#### 6. 機器等の返還等

受注者は、この契約による事務を処理するために、発注者から提供を受け、又は受注者自らが収集し、若しくは作成した個人情報記録された機器等は、この契約完了後直ちに発注者に返還し、又は引き渡すものとする。ただし、発注者が別に作業の方法を指示したときは、当該方法によるものとする。

#### 7. 発注者の調査、指示等

##### (1) 調査、指示等

発注者は、受注者がこの契約により行う個人情報の取扱状況を随時調査し、又は監査することができる。この場合において、発注者は、受注者に対して、必要な指示を行い、又は必要な事項の報告若しくは資料の提出等を求めることができる。

##### (2) 公表

発注者は、受注者がこの契約により行う事務について、情報漏えい等の個人情報を保護する上で問題となる事案が発生した場合には、個人情報の取扱いの態様、損害の発生状況等を勘案し、受注者の名称等の必要な事項を公表することができる。

#### 8. 契約の解除及び損害の賠償

発注者は、次の各号のいずれかに該当するときは、この契約を解除し、及び受注者に対して損害の賠償を請求することができる。

ア 受注者又は受注者の委託先（順次委託が行われた場合におけるそれぞれの受託者を含む。）の責めに帰すべき事由による情報漏えい等があったとき。

イ 受注者がこの特記事項に違反し、この契約による事務の目的を達成することができないと認められるとき。

注 本契約においては、特定個人情報(個人番号等)は一切取り扱わないものとする。

## 安全管理に関する特記仕様書

### 第1章 安全管理に関する特記事項

#### 1. 総則

本特記仕様書は、現場作業内容に応じた安全・訓練活動を通して安全に工事を実施可能な体制及び環境を整えるために必要な事項を定めるものとする。

#### 2. 安全・訓練等の実施

(1) 安全・訓練等の実施に当たっては、原則として工事着手後、作業員全員を対象として、月当たり半日以上の時間を割り当てるものとする。

(2) 実施内容は現場作業に即したものとし、下記の項目から選択するものとする。

ア 安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育

イ 本工事内容等の周知徹底

ウ 本工事における災害対策訓練

エ 本工事現場で予想される事故対策

オ その他、安全・訓練等として必要な事項

#### 3. 安全・訓練等に関する計画書の作成

安全・訓練等に関する具体的な計画書を作成し、本工事の施工計画書に含めて監督職員に提出するものとする。

#### 4. 安全・訓練等の実施状況報告

安全・訓練等の実施状況は、ビデオ又は写真等に記録し報告するものとする。

5. 本特記仕様書に定めない事項については、監督職員の指示によるものとする。

## 電子納品に関する特記仕様書

### 第1章 電子納品に関する特記事項

#### 1. 一般事項

本工事は電子納品対象工事とする。電子納品とは、「工事の最終成果を電子成果品として納品すること」をいう。ここでいう電子成果品とは次項以降の内容に基づいて作成した電子データを指す。

#### 2. 電子納品対象書類

施工計画書、各種工事打合せ簿、完成図面、工事完成図書、工事写真帳を基本とし、その他納品が必要と思われる書類は協議の上、電子化対象とする。

#### 3. 電子化方法

##### (1) 図面データ

監督員と協議の上決定したファイル形式で保存したものを提出すること。

##### (2) 工事完成図書及び工事写真帳

作成した書類をPDFとして保存したものを提出すること。

##### (3) その他の書類

押印済みの書類をスキャニングし、PDF化したものを提出すること。

#### 4. 提出方法

##### (1) 媒体

原本性確保の観点から、電子納品の媒体を光学ディスクとする。

##### (2) ラベル

ラベル面には、必要項目を表面に直接印刷、又は油性フェルトペンで表記し、表面に損傷を与えないように留意すること。

##### (3) コンピュータウイルス対策

電子成果品作成時には事前協議チェックシートに記載のウイルス対策ソフトの最新のウイルス定義ファイルに更新したうえでウイルスチェックを行い、ウイルスがないことを確認すること。その後ウイルスチェックに関する情報を記載すること。

##### (4) ファイル構成

電子化したデータに各々のファイルが判別しやすい名前を付けたうえで、種類ごとにフォルダ分けをすること。

長生郡市広域市町村圏組合最終処分場築造に伴う  
真名配水場系φ700送水管移設工事

数量計算書

# 1 送水管布設工



送水管布設工 材料(φ700)総括表			
工種名称	種別	数量	単位
直管	NS φ700×6000 S種管	33	本
45° 曲管	NS φ700	5	個
22° 1/2曲管	NS φ700	5	個
5° 5/8曲管	NS φ700	4	個
45° 両受曲管	NS φ700	2	個
二受T字管	NS φ700×φ700	2	個
排水T字管	NS φ700×φ300	1	個
フランジ付T字管	NS φ700×φ75 10K	1	個
短管1号	NS φ700 10K 型式2	1	個
継輪 (接合部品含む)	NS φ700	1	個
栓 (接合材含まず)	NS φ700	2	個
ラ付	NS φ700	17	個
挿し口リング	NS φ700	14	個
管帽 (離脱防止押輪付き)	K φ700	2	組
押輪	NS φ700	6	組
ハタフライ弁	NS φ700 10K	3	基
不断水切換弁	NS挿し口 φ700×φ700 10K	1	基
不断水仕切弁	φ700 10K	1	基
不断水割T字管弁体離脱式(弁体離脱型ハタフライ弁付)	φ700 10K RF フランジ接合部材付き	1	基
明示テープ		219.7	m
明示シート		217.5	m
急速空気弁	φ75 10K	1	基
ボール式補修弁	φ75×H150 キャップ式	1	基
フランジ短管	φ75×H150 10K 型式2	1	本
フランジ短管	φ75×H200 10K 型式2	1	本
フランジ接合材	φ700 10K GFカスケット M30ボルト・ナットSUS304	1	組
フランジ接合材	φ75 10K GFカスケット M16ボルト・ナットSUS304	4	組
フランジ補強金具	φ75 10K	2	組
フランジ補強金具	φ75 10K 補修弁用	1	組
二つ割離脱防止金具	φ700 K形管用	7	組
T頭ボルト・ナット	M24SUS304 (接合部1口当り1組)	6	組
ゴム輪	NS φ700	6	個
ロックリング	NS φ700	4	個
バックアップリング	NS φ700	4	個
ゴム板	t=10mm	2	m <sup>2</sup>
鉄枠鉄蓋	φ600 T-25	6	組
鉄枠親子蓋	φ900×φ600 T-25	1	組
弁筐	内ねじ式 A1号 台座含む	1	個
無収縮モルタル		0.04	m <sup>3</sup>
調整リング	φ600 t=100	4	個
調整リング	φ900 t=100	1	個
斜壁	φ600×φ900×H300	4	個
直壁	φ900×H300	5	個
側塊直壁	900B 90×90×60	1	個
底板	φ600×H40	2	個
底板	φ1100×H130	3	個
コンクリート版	300×300×60	3	個

レジコンボックス上部壁	φ 600×H200	2	個
レジコンボックス中間壁	φ 600×H300	1	個
レジコンボックス中間壁	φ 600×H200	1	個
レジコンボックス下部壁	φ 600×H300	1	個
硬質ポリ塩化ビニル管	VP φ 250	0.4	m
硬質ポリ塩化ビニル管	VU φ 600	2.0	m

送水管布設工 布設労務費(φ700)総括表			
工種名称	種別	数量	単位
鑄鉄管吊込み据付工(機械力)	φ700	218.2	m
NS形継手接合工	φ700 直管 ライ含む継手	17	口
NS形継手接合工	φ700 直管	15	口
NS形継手接合工	φ700 異形管	34	口
フランジ継手接合工	φ700 10K 鑄鉄管	1	口
カナル継手工	φ700 K形 特殊押輪	7	口
鑄鉄管切断・溝切2工程	φ700 NS形 ハイ切断機	14	口
NS形継手挿し口加工工	φ700 リベット式	14	口
ホフレックスリフ被覆工	φ700	219.7	m
明示テープ工	φ700	219.7	m
明示シート工		217.5	m
ハタライ弁設置工(機械力)	縦型 φ700 鑄鉄製	3	基
鉄蓋設置工	φ600	3	個
仕切弁ボックス設置工	φ900	3	個
不断水切換弁設置工	φ700×φ700 10K 昼間	1	基
鉄蓋設置工	φ600	1	個
仕切弁ボックス設置工	φ900	1	個
弁篋設置工		1	箇所
不断水仕切弁設置工	φ700 10K 昼間	1	基
鉄蓋設置工	φ600	1	個
仕切弁ボックス設置工	φ600	1	個
仕切弁ボックス設置工	φ600 底版	1	個
不断水割T字管設置工	φ700 10K 昼間 弁体離脱型ハタライ弁付き	1	基
鉄蓋設置工	φ600	1	個
仕切弁ボックス設置工	φ600	1	個
仕切弁ボックス設置工	φ600 底版	1	個
空気弁設置工	φ75 10K	1	基
仕切弁設置工	φ75 10K 補修弁	1	基
鑄鉄管吊込み据付工(人力)	φ75	0.4	m
フランジ継手接合工	φ75 10K	3	口
鉄蓋設置工	φ900×φ600 親子蓋	1	個
仕切弁ボックス設置工	φ900	1	個
下層路盤工	t=20cm RC-40	1	m2
下層路盤工	t=15cm RC-40	7	m2
下層路盤工	t=5cm RC-40	0.4	m2
現場発生品運搬	4.5t積トラック	1	回
スクラップ	φ300切管残管含む	1	t

送水管布設工 土工 (φ700) 総括表			
工種名称	種別	数量	単位
アスファルト舗装版切断工	AS舗装厚5cm	58	m
舗装版直接掘削・積込工	AS舗装厚5cm	34	m <sup>2</sup>
バックホリ掘削積込工		520	m <sup>3</sup>
人力掘削工		10	m <sup>3</sup>
管路埋戻工	埋戻し用砂	250	m <sup>3</sup>
管路埋戻工	発生土	190	m <sup>3</sup>
下層路盤工	t=14cm RC-40	17	m <sup>2</sup>
上層路盤工	t=10cm RM-30	17	m <sup>2</sup>
舗装工	t=5cm 再生密粒アスコン(13)	17	m <sup>2</sup>
As塊運搬工		2	m <sup>3</sup>
路盤廃材運搬工		8	m <sup>3</sup>
発生土運搬工		400	m <sup>3</sup>
カッター廃水運搬費		1	式
As廃材処分費	長生	4	t
カッター廃水処分費		118	kg
送水管布設工 仮設工 (φ700) 総括表			
軽量鋼矢板土留工	H=2.00m	11.5	m
軽量鋼矢板土留工	H=2.50m	24.0	m
軽量鋼矢板土留工	H=3.00m	9.1	m
軽量鋼矢板土留工	H=4.00m	7.4	m

送水管布設工 材料(φ300)総括表			
工種名称	種別	数量	単位
直管	NS φ300×6000 1種管	2	本
90° 曲管	NS φ300	3	個
45° 曲管	NS φ300	1	個
45° 両受曲管	NS φ300	1	個
ライク	NS φ300	1	個
挿しロリク	NS φ300	5	個
仕切弁	NS φ300 両受用 10K	1	基
仕切弁	NS φ300 受挿し用 10K	1	基
明示テープ	φ300	13.2	m
明示シート		13.1	m
弁筐	内ねじ式 A2号	2	個

送水管布設工 布設労務費 (φ300) 総括表			
工種名称	種別	数量	単位
鋳鉄管吊込み据付工	φ300	12	m
NS継手接合工	φ300 直管	1	口
NS継手接合工	φ300 異形管	10	口
鋳鉄管切断工	φ300 ハイ切断機	1	口
鋳鉄管切断溝切加工工	φ300 NS形 ハイ切断機	5	口
NS形継手挿し口加工工	φ300 リベット式	5	口
ホリエチレンスリーブ被覆工	φ300	13.2	m
明示テープ工	φ300	13.2	m
明示シート工		13.1	m
仕切弁設置工 (機械力)	縦型 φ300 鋳鉄製	2	基
弁篋設置工	内ねじ式弁篋 H=0.90m以上	2	箇所
下層路盤工	RC-40 t=15cm	1	m <sup>2</sup>
削孔工	φ350	1	箇所

送水管布設工 土工 (φ300) 総括表			
工種名称	種別	数量	単位
バックホ掘削積込工		12	m3
管路埋戻工	埋戻し用砂	6	m3
管路埋戻工	発生土	5	m3
発生土運搬工		8	m3

送水管布設工 土工（不断水工(上流側)）総括表			
工種名称	種別	数量	単位
アスファルト舗装版切断工	AS舗装厚5cm	21	m
舗装版直接掘削・積込工	AS舗装厚5cm	25	m <sup>2</sup>
バックホリ掘削積込工		60	m <sup>3</sup>
人力掘削工	土砂	50	m <sup>3</sup>
管路埋戻工	埋戻し用砂	50	m <sup>3</sup>
管路埋戻工	発生土	40	m <sup>3</sup>
下層路盤工	t=15cm RC-40	22	m <sup>2</sup>
コンクリート工	18-8-20(25)BB	12	m <sup>3</sup>
型枠工		15	m <sup>2</sup>
鉄筋工	SD295 D16	0.03	t
As塊運搬工		1	m <sup>3</sup>
路盤廃材運搬工		6	m <sup>3</sup>
発生土運搬工		70	m <sup>3</sup>
カッター廃水運搬費	下流側不断水工含む運搬	1	式
As廃材処分費	長生	3	t
カッター廃水処分費		42	kg
送水管布設工 立坑（不断水工(上流側)）総括表			
バックホリ施工による鋼矢板打込み工	陸上 III型	42	枚
バックホリ施工による鋼矢板引抜き工	陸上 III型 引抜き長9m	42	枚
切梁・腹起し材設置工	火打ちブロック使用しない	4.3	t
切梁・腹起し材撤去工	火打ちブロック使用しない	4.3	t
バックホリ施工によるH型鋼打込み工	陸上 H300	4	本
バックホリ施工によるH型鋼引抜き工	陸上 H300 引抜き長7.5m	4	本
敷鉄板設置工		7	m <sup>2</sup>
敷鉄板撤去工		7	m <sup>2</sup>
横矢板設置工		11	m <sup>2</sup>
横矢板撤去工		11	m <sup>2</sup>
雑矢板		1	m <sup>3</sup>
鋼矢板賃料	III型	1	式
山留鋼材賃料	H400	1	式
H型鋼賃料	H300	1	式
敷鉄板賃料	22×914×1829	1	式



送水管布設工 土工（不断水工(下流側)）総括表			
工種名称	種別	数量	単位
アスファルト舗装版切断工	AS舗装厚5cm	9	m
舗装版直接掘削・積込工	AS舗装厚5cm	25	m <sup>2</sup>
バックホ掘削積込工		60	m <sup>3</sup>
人力掘削工	土砂	40	m <sup>3</sup>
管路埋戻工	埋戻し用砂	30	m <sup>3</sup>
管路埋戻工	発生土	50	m <sup>3</sup>
下層路盤工	t =15cm RC-40	22	m <sup>2</sup>
コンクリート工	18-8-20(25)BB	11	m <sup>3</sup>
型枠工		15	m <sup>2</sup>
鉄筋工	SD295 D16	0.02	t
As塊運搬工		1	m <sup>3</sup>
路盤廃材運搬工		6	m <sup>3</sup>
発生土運搬工		50	m <sup>3</sup>
As廃材処分費	長生	3	t
カッター廃水処分費		19	kg
送水管布設工 立坑（不断水工(下流側)）総括表			
パイロハマ施工による鋼矢板打込み工	陸上 III型	50	枚
パイロハマ施工による鋼矢板引抜き工	陸上 III型 引抜き長13m	50	枚
切梁・腹起し材設置工	火打ちブロック使用しない	5.0	t
切梁・腹起し材撤去工	火打ちブロック使用しない	5.0	t
パイロハマ施工によるH型鋼打込み工	陸上 H300	4	本
パイロハマ施工によるH型鋼引抜き工	陸上 H300 引抜き長14.5m	4	本
敷鉄板設置工		7	m <sup>2</sup>
敷鉄板撤去工		7	m <sup>2</sup>
横矢板設置工		6	m <sup>2</sup>
横矢板撤去工		6	m <sup>2</sup>
雑矢板		1	m <sup>3</sup>
鋼矢板賃料	III型	1	式
山留鋼材賃料	H400	1	式
H型鋼賃料	H300	1	式
敷鉄板賃料	22×914×1829	1	式

## 2 既設管撤去工

既設管撤去工 撤去労務費（総括表）			
工 種 名 称	種 別	数 量	単 位
ダクタイル鋳鉄管撤去切断工	φ700 ハイ切断機	30	口
撤去鋳鉄管吊上げ積込み工	φ700	176.3	m
カナル継手工	φ700 K形帽	2	口
鉄蓋撤去工	φ600 不断水切換弁室	1	個
仕切弁ボックス撤去工	φ900	1	個
弁管撤去工		1	個
鉄蓋撤去工	φ600 不断水仕切弁室	1	個
仕切弁ボックス撤去工	φ600	1	個
仕切弁ボックス撤去工	内径600 底版	1	個

既設管撤去工 土工（総括表）			
工種名称	種別	数量	単位
アスファルト舗装版切断工	AS舗装厚5cm	353	m
舗装版直接掘削・積込工	AS舗装厚5cm	273	m <sup>2</sup>
バックホリ掘削積込工		540	m <sup>3</sup>
管路埋戻工	発生土	630	m <sup>3</sup>
積込工		100	m <sup>3</sup>
残土運搬工	布設工残土	100	m <sup>3</sup>
As塊運搬工		14	m <sup>3</sup>
Co塊(鉄筋)運搬工	仕切弁ボックス	0.3	m <sup>3</sup>
路盤廃材運搬工		66	m <sup>3</sup>
カッター廃水運搬工		1	式
現場発生品運搬工	スクラップ 4.5t積トラック	8	回
現場発生品運搬工	塩ビ管	1	回
As廃材処分費	長生	14	t
Co廃材処分費	長生	1	t
カッター廃水処理費		719	kg
スクラップ		35	t
廃プラスチック類処理費		0.3	m <sup>3</sup>
既設管撤去工 仮設工			
土留工(軽量鋼矢板建込)	掘削深2.5m以下 支保工軽量金属	170.1	m
土留工(軽量鋼矢板建込)	掘削深3.5m以下 支保工軽量金属	6.2	m

### 3 運搬費（積上げ）

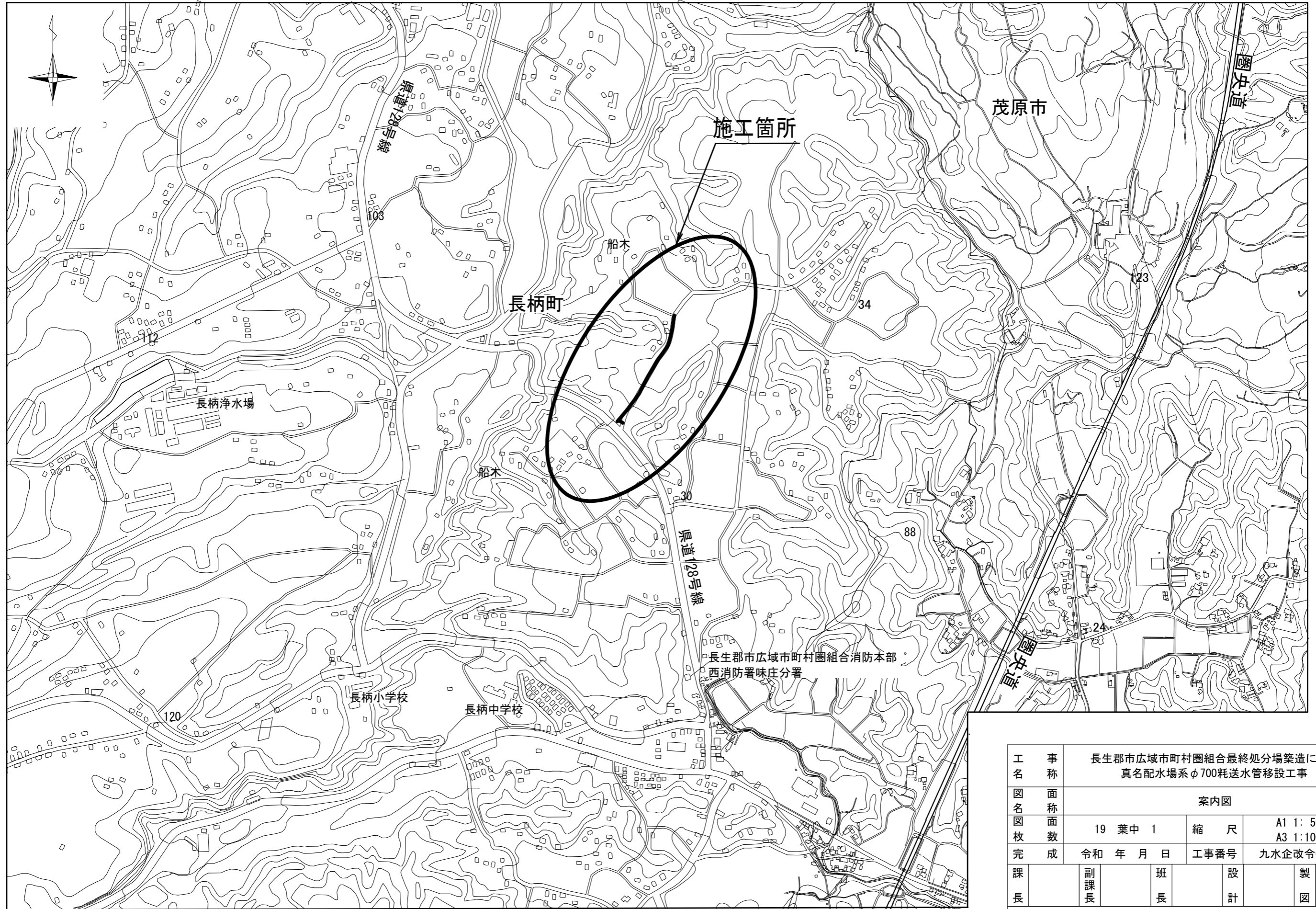
運搬費（積上げ）（総括表）			
工種名称	種別	数量	単位
仮設材重量	12m以内	67.9	t
仮設材重量	12m超～15m以内	44.4	t
重建設機械分解組立輸送		1.0	回

## 4 技術管理費（積上げ）

技術管理費（積上げ）（総括表）			
工種名称	種別	数量	単位
通水試験工	φ700	0.44	日

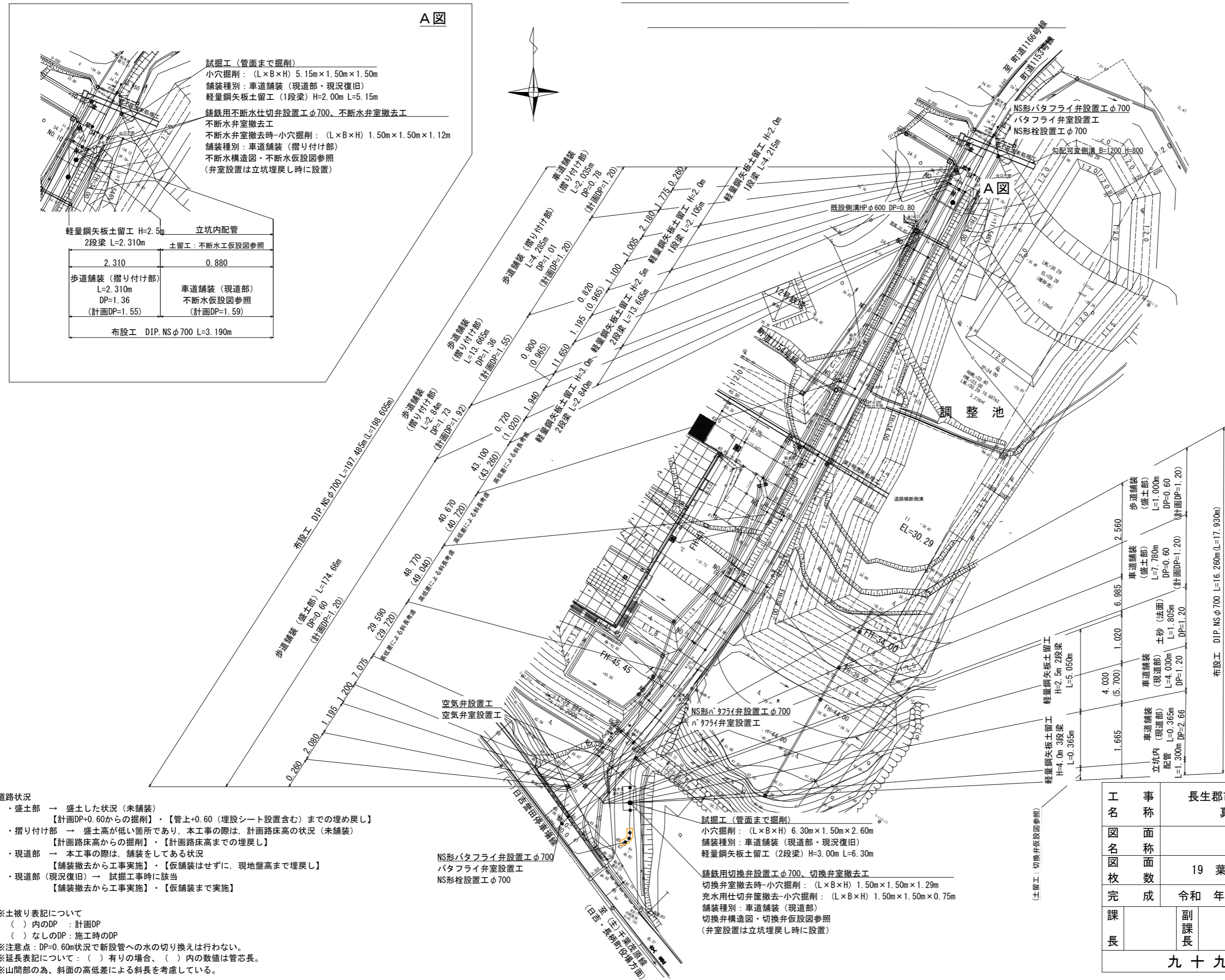


案内図 S=1/5000(A1)  
S=1/10000(A3)



工 事 名 称	長生郡市広域市町村圏組合最終処分場築造に伴う 真名配水場系φ700耗送水管移設工事		
図 名	案内図		
図 枚 数	19 葉中 1	縮 尺	A1 1:5000 A3 1:10000
完 成	令和 年 月 日	工事番号	九水企改令6第6号
課 長	副課長	班 長	設 計 製 図
九十九里地域水道企業団			

平面図(1) S=1/500(A1)  
S=1/1000(A3)



**A図**

試掘工(管面まで掘削)  
 小穴掘削: (L×B×H) 5.15m×1.50m×1.50m  
 舗装種別: 車道舗装(現道部・現況復旧)  
 軽鋼矢板土留工(1段梁) H=2.00m L=5.15m  
 鎮鉄用不断水仕切弁設置工φ700、不断水弁室撤去工  
 不断水弁室撤去工  
 不断水弁室撤去時-小穴掘削: (L×B×H) 1.50m×1.50m×1.12m  
 舗装種別: 車道舗装(摺り付け部)  
 不断水構造図・不断水仮設図参照  
 (弁室設置は立坑埋戻し時に設置)

軽鋼矢板土留工 H=2.5m 2段梁 L=2.310m	立坑内配管 土留工: 不断水工仮設図参照
2.310	0.880
歩道舗装(摺り付け部) L=2.310m DP=1.36 (計画DP=1.55)	車道舗装(現道部) 不断水仮設図参照 (計画DP=1.59)
布設工 DIP.NSφ700 L=3.190m	

工 事 名 称	長生郡市広域市町村圏組合最終処分場築造に伴う 真名配水場系φ700耗送水管移設工事		
図 面 名 称	平面図(1)		
図 面 枚 数	19 葉中 2	縮 尺	A1 1:500 A3 1:1000
完 成	令和 年 月 日	工事番号	九水企改令6第6号
課 長	副 課 長	班 長	設 計 製 図
九十九里地域水道企業団			

道路状況  
 ・盛土部 → 盛土した状況(未舗装)  
 【計画DP+0.60からの掘削】・【管上+0.60(埋設シート設置含む)までの埋戻し】  
 ・摺り付け部 → 盛土高が低い箇所であり、本工事の際は、計画路床高の状況(未舗装)  
 【計画路床高からの掘削】・【計画路床高までの埋戻し】  
 ・現道部 → 本工事の際は、舗装をしてある状況  
 【舗装撤去から工事実施】・【仮舗装はせずに、現地盤高まで埋戻し】  
 ・現道部(現況復旧) → 試掘工事に該当  
 【舗装撤去から工事実施】・【仮舗装まで実施】

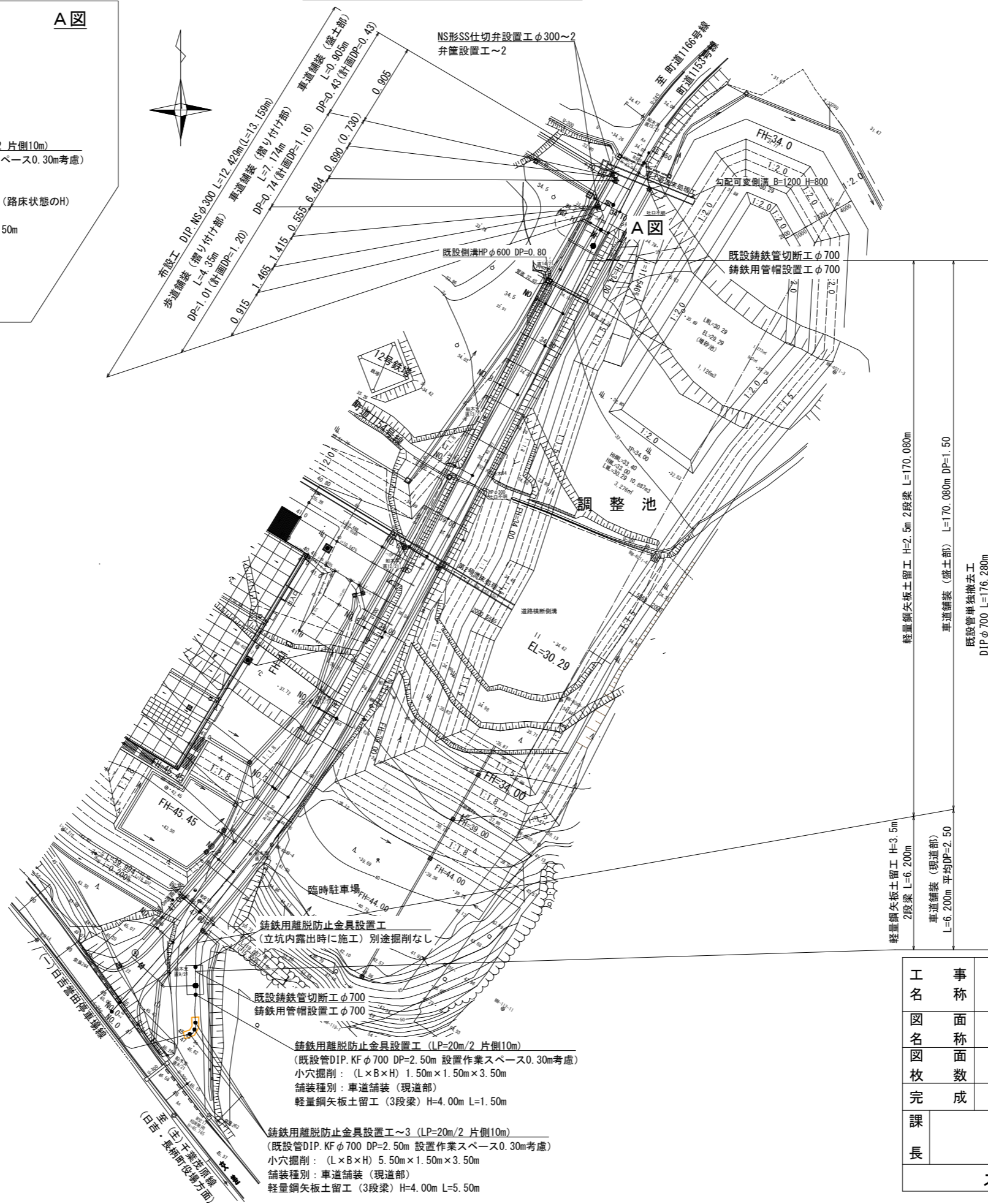
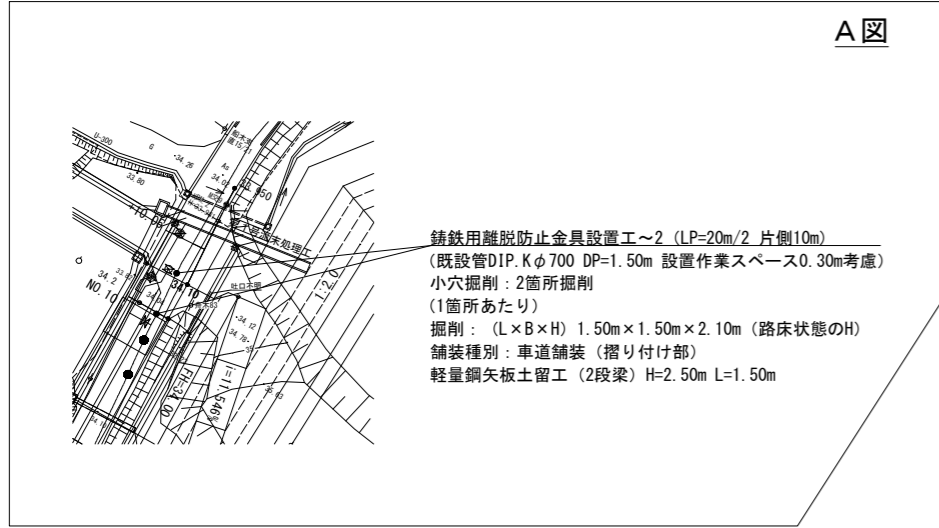
※土被り表記について  
 ( )内のDP: 計画DP  
 ( )なしのDP: 施工時のDP  
 ※注意点: DP=0.60m状況で新設管への水の切り換えは行わない。  
 ※延長表記について: ( ) 有りの場合、( )内の数値は管芯長。  
 ※山間部の為、斜面の高低差による斜長を考慮している。

試掘工(管面まで掘削)  
 小穴掘削: (L×B×H) 6.30m×1.50m×2.60m  
 舗装種別: 車道舗装(現道部・現況復旧)  
 軽鋼矢板土留工(2段梁) H=3.00m L=6.30m  
 鎮鉄用切替弁設置工φ700、切替弁室撤去工  
 切替弁室撤去時-小穴掘削: (L×B×H) 1.50m×1.50m×1.29m  
 充水用仕切弁撤去-小穴掘削: (L×B×H) 1.50m×1.50m×0.75m  
 舗装種別: 車道舗装(現道部)  
 切替弁構造図・切替弁仮設図参照  
 (弁室設置は立坑埋戻し時に設置)

(土留工: 切替弁仮設図参照)



平面図(2) S=1/500(A1)  
S=1/1000(A3)



- 道路状況
- ・盛土部 → 盛土した状況 (未舗装)  
【計画DP+0.60からの掘削】・【管上+0.60 (埋設シート設置含む) までの埋戻し】
  - ・摺り付け部 → 盛土高が低い箇所であり、本工事の際は、計画路床高の状況 (未舗装)  
【計画路床高からの掘削】・【計画路床高までの埋戻し】
  - ・現道部 → 本工事の際は、舗装をしてある状況  
【舗装撤去から工実施】・【仮舗装はせずに、現地盤高まで埋戻し】
  - ・現道部 (現況復旧) → 試掘工事に該当  
【舗装撤去から工実施】・【仮舗装まで実施】

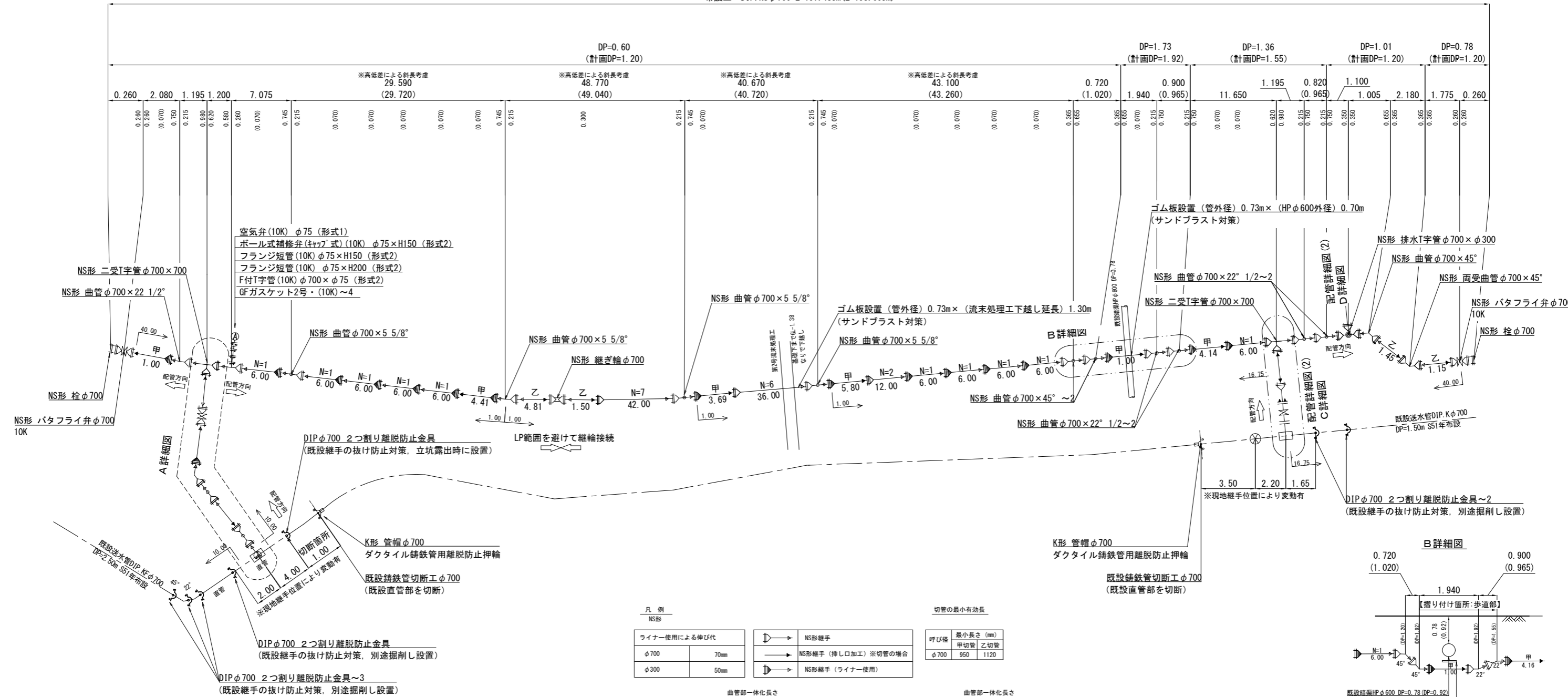
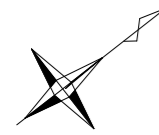
※土被り表記について  
( ) 内のDP : 計画DP  
( ) なしのDP : 施工時のDP

※注意点: DP=0.60m状況で新設管への水の切り換えは行わない。  
※延長表記について: ( ) 有りの場合、( ) 内の数値は管芯長。  
※山間部の為、斜面の高低差による斜長を考慮している。

工 事 名 称	長生郡市広域市町村圏組合最終処分場築造に伴う 真名配水場系φ700耗送水管移設工事			
図 面 名 称	平面図(2)			
図 面 枚 数	19 葉中 3	縮 尺	A1 1: 500 A3 1: 1000	
完 成	令和 年 月 日	工事番号	九水企改令6第6号	
課 長	副 課 長	班 長	設 計	製 図
九十九里地域水道企業団				

# 配管詳細図(1) S=FREE

布設工 DIP. NS φ700 L=197.485m(L=198.605m)



**道路状況**

- ・盛土部 → 盛土した状況(未舗装)
  - 【計画DP+0.60からの掘削】・【管上+0.60(埋設シート設置含む)までの埋戻し】
- ・摺り付け部 → 盛土高が低い箇所であり、本工事の際は、計画路床高の状況(未舗装)
  - 【計画路床高からの掘削】・【計画路床高までの埋戻し】
- ・現道部 → 本工事の際は、舗装をしてある状況
  - 【舗装撤去から工事実施】・【仮舗装はせずに、現地盤高まで埋戻し】
- ・現道部(現況復旧) → 試掘工事時に該当
  - 【舗装撤去から工事実施】・【仮舗装まで実施】

※土被り表記について  
 ( )内のDP: 計画DP  
 ( )なしのDP: 施工時のDP  
 ※注意点: DP=0.60m状況で新設管への水の切り換えは行わない。  
 ※延長表記について: ( )有りの場合、( )内の数値は管芯長。  
 ※山間部の為、斜面の高低差による斜長を考慮している。  
 ※NS φ700、S種・内面粉体塗装を使用。

凡 例		NS形	
ライナー使用による伸び代		φ700	70mm
		φ300	50mm

曲管部一体化長さ		設計水圧1.3MPa				
呼び径	最小長さ (mm)	5°	11°	22°	45°	90°
φ700	950	1.00	1.50	2.50	12.00	24.00

T字管一体化長さ		設計水圧1.3MPa	
本管側呼び径	枝管側呼び径	一体化長さ	単位 m
φ700	φ700	13.00	

伏せ継し部		設計水圧1.3MPa	
呼び径	一体化長さ	呼び径	一体化長さ
φ700	5.50	φ700	5.50

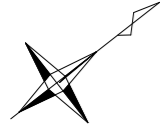
垂直Sバンド部		設計水圧1.3MPa	
呼び径	一体化長さ	呼び径	一体化長さ
φ700	4.50	φ700	4.50

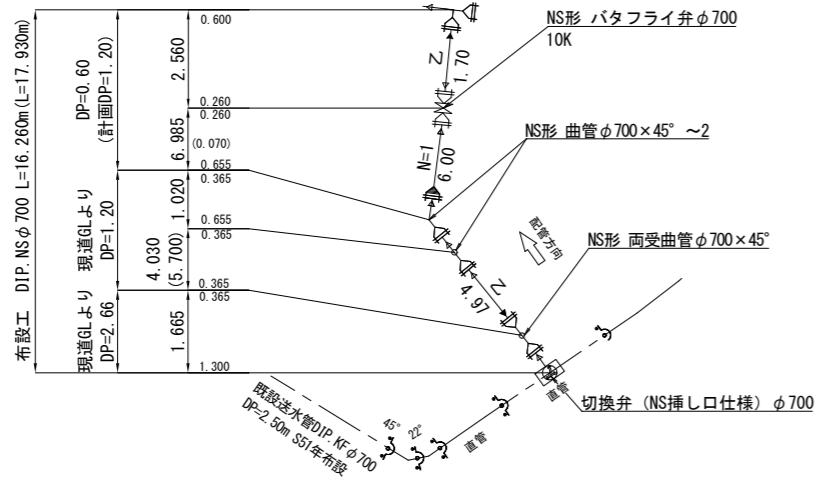
管端部・仕切弁一体化長さ		設計水圧1.3MPa	
呼び径	一体化長さ	呼び径	一体化長さ
φ700	40.00	φ700	33.50

工 事 名 称	長生郡市広域市町村圏組合最終処分場築造に伴う 真名配水場系φ700耗送水管移設工事			
	配管詳細図(1)			
図 面 枚 数	19 葉中 4	縮 尺	FREE	
完 成	令和 年 月 日	工事番号	九水企改令6第6号	
課 長	副 課 長	班 長	設 計	製 図
九十九里地域水道企業団				

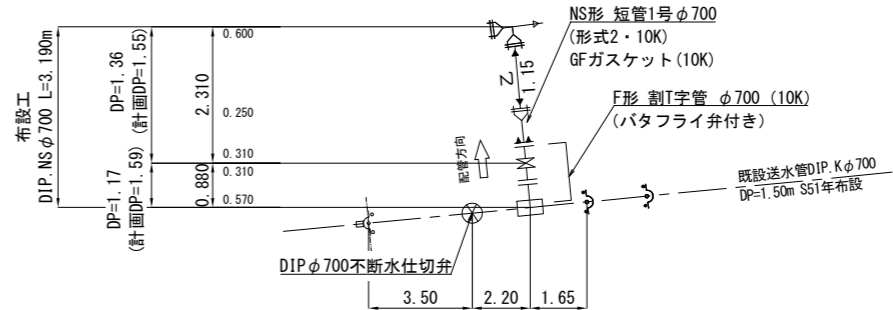
# 配管詳細図(2) S=FREE



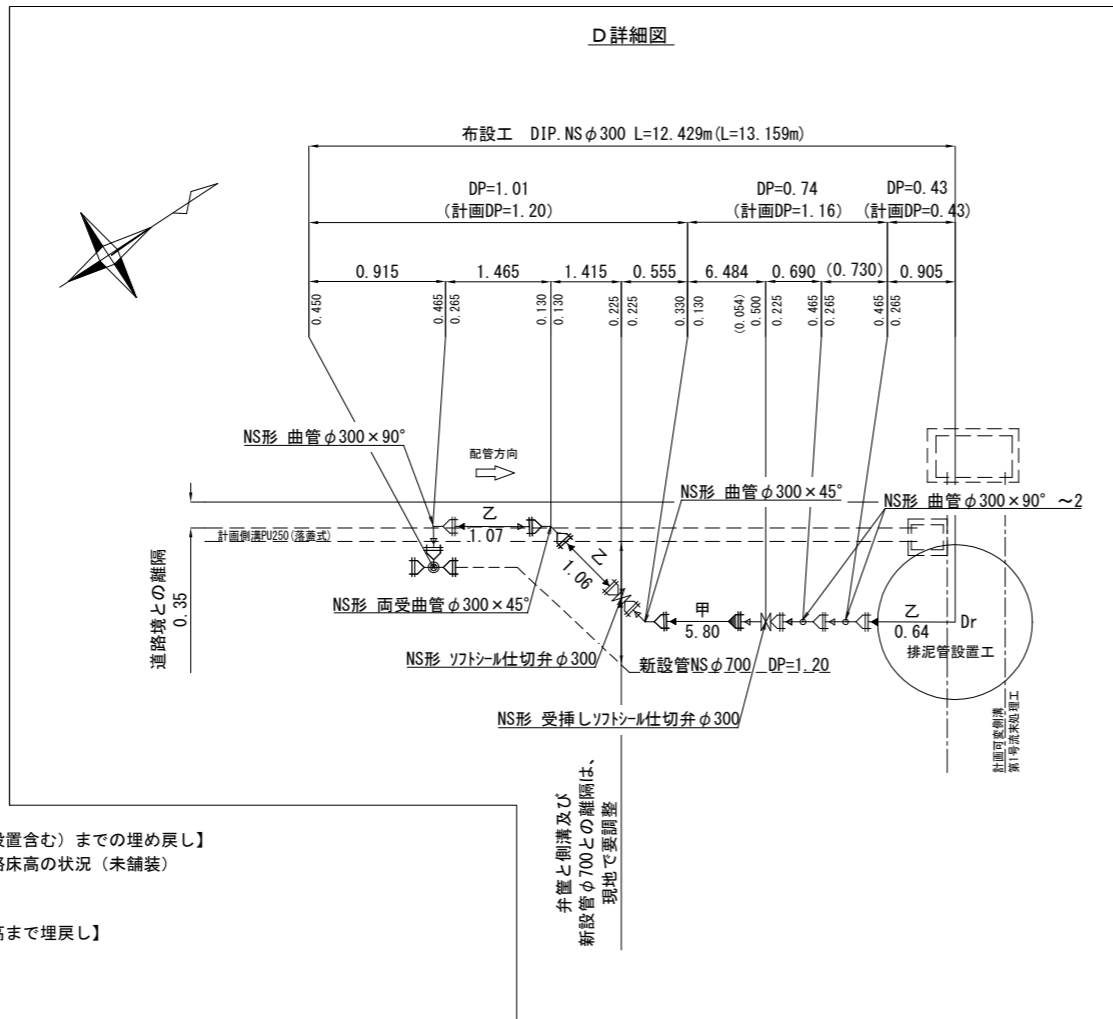
A詳細図



C詳細図



D詳細図



道路状況

- ・盛土部 → 盛土した状況 (未舗装) 【計画DP+0.60からの掘削】・【管上+0.60 (埋設シート設置含む) までの埋戻し】
- ・摺り付け部 → 盛土高が低い箇所であり、本工事の際は、計画路床高の状況 (未舗装) 【計画路床高からの掘削】・【計画路床高までの埋戻し】
- ・現道部 → 本工事の際は、舗装をしてある状況 【舗装撤去から工事実施】・【仮舗装はせずに、現地盤高まで埋戻し】
- ・現道部 (現況復旧) → 試掘工事時に該当 【舗装撤去から工事実施】・【仮舗装まで実施】

※土被り表記について

- ( ) 内のDP : 計画DP
- ( ) なしのDP : 施工時のDP

※注意点 : DP=0.60m状況で新設管への水の切り換えは行わない。

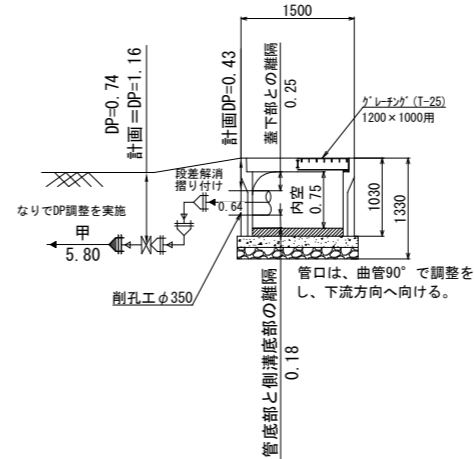
※延長表記について : ( ) 有りの場合、( ) 内の数値は管芯長。

※山間部の為、斜面の高低差による斜長を考慮している。

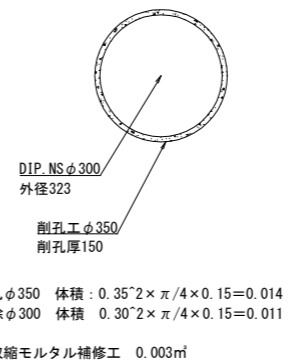
※NSφ700、S種・内面粉体塗装を使用。

排泥管立ち上げ工

施工時は新設側溝の前後は計画地盤高まで土が盛ってあると想定 (土を盛らないと側溝と路床部で段差ができてしまうため) (水道工事では、計画地盤高からの掘削で設定)



排泥管接続部、モルタル補修工



削孔φ350 体積 :  $0.35^2 \times \pi / 4 \times 0.15 = 0.014$   
 控除φ300 体積 :  $0.30^2 \times \pi / 4 \times 0.15 = 0.011$   
 無収縮モルタル補修工 0.003m<sup>3</sup>

凡例

ライナー使用による伸び代	NS形継手
φ700 70mm	NS形継手 (挿し口加工) ※切管の場合
φ300 50mm	NS形継手 (ライナー使用)

切管の最小有効長

呼び径	最小長さ (mm)
φ700	甲切管 950 乙切管 1120

曲管部一体化長さ

呼び径	5°	11°	22°	45°	90°
700	1.00	1.50	2.50	12.00	24.00

T字管一体化長さ

本管側 呼び径	枝管側 呼び径	一体化長さ
700	700	13.00

伏せ継し部

呼び径	呼び径	一体化長さ
700	直結 (45°)	5.50

曲管部一体化長さ

呼び径	90° (切替弁)
700	20.00

垂直Sベンド部

呼び径	モーメントアーム	一体化長さ
700	直結 (45°)	浅い方 5.50 深い方 4.50

管端部・仕切弁一体化長さ

呼び径	一体化長さ
700	40.00

管端部・仕切弁一体化長さ

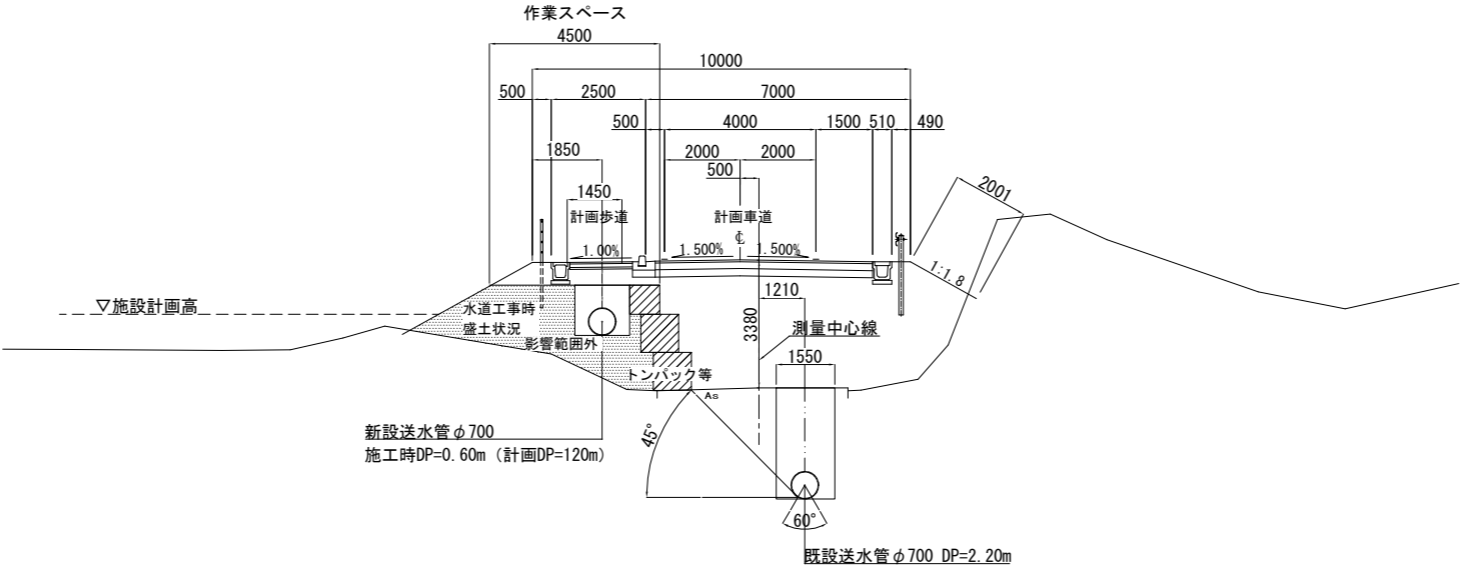
呼び径	一体化長さ
700	33.50

※不排水工事箇所

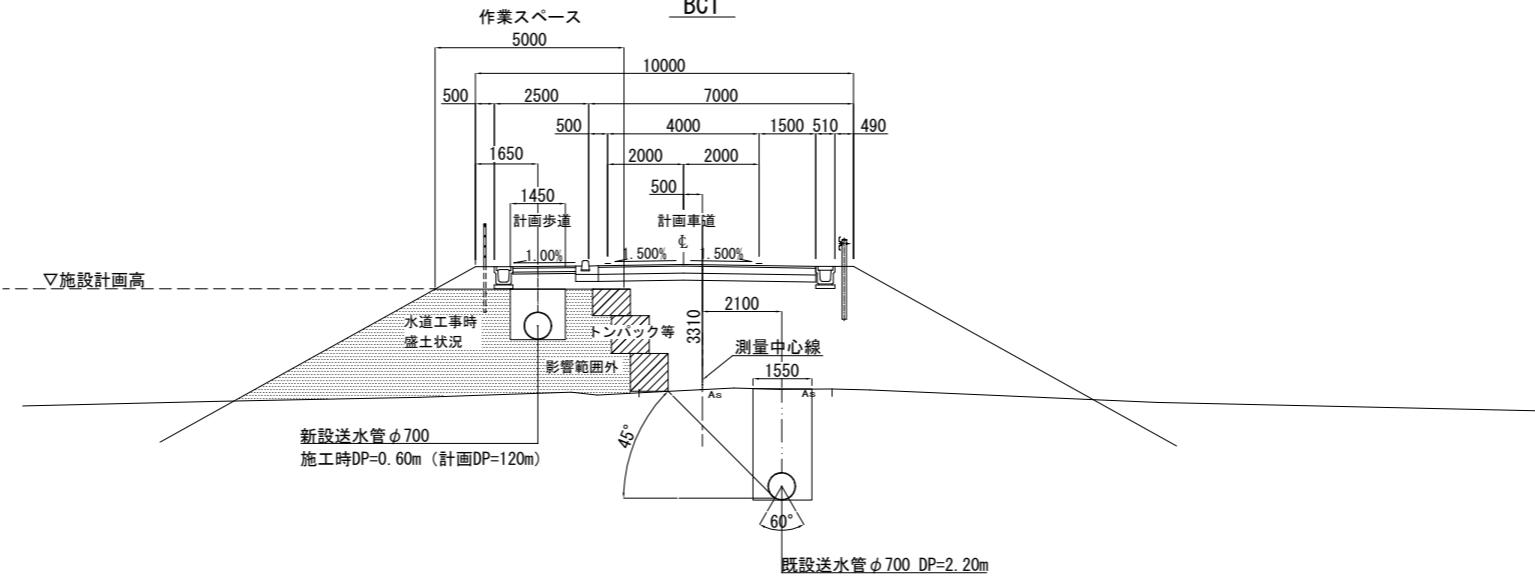
工 事 名 称	長生郡市広域市町村圏組合最終処分場築造に伴う 真名配水場系φ700耗送水管移設工事			
図 面 名 称	配管詳細図(2)			
図 面 枚 数	19 葉中 5	縮 尺	FREE	
完 成	令和 年 月 日	工事番号	九水企改令6第6号	
課 長	副 課 長	班 長	設 計	製 図
九十九里地域水道企業団				

# 横断面図(1) $S=1/100$ (A1) $S=1/200$ (A3)

NO. 2



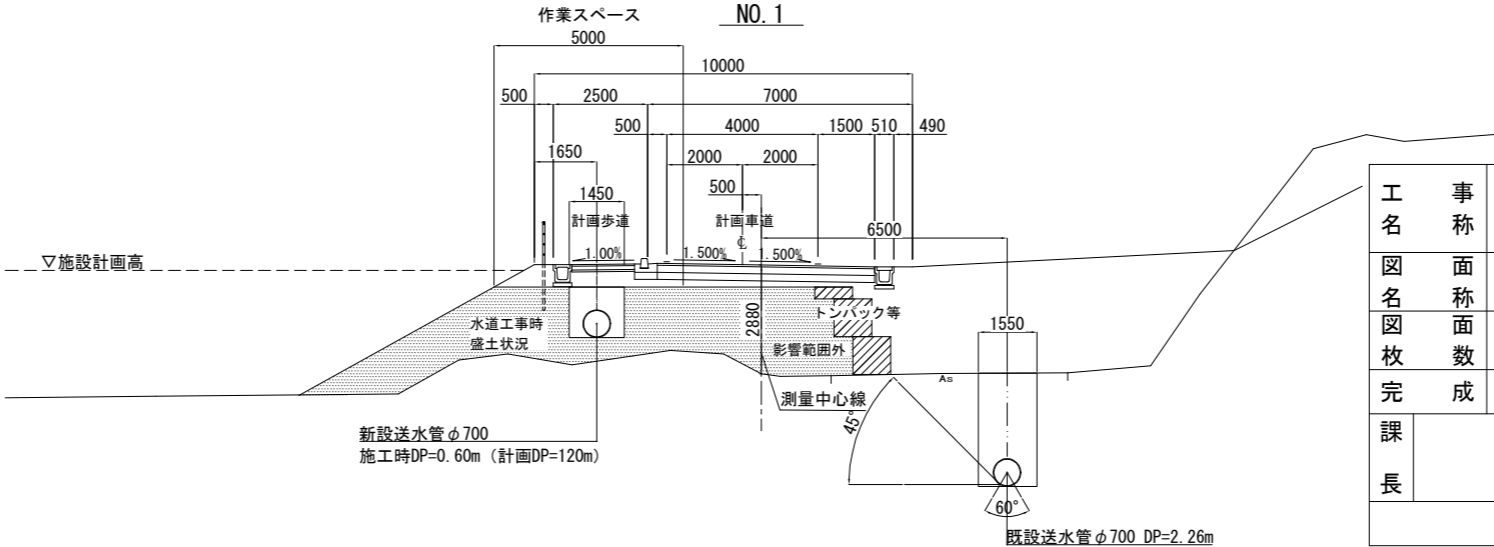
BC1



- 道路状況
- ・盛土部 → 盛土した状況 (未舗装)  
【計画DP+0.60からの掘削】・【管上+0.60 (埋設シート設置含む) までの埋め戻し】
  - ・掘り付け部 → 盛土高が低い箇所であり、本工程の際は、計画路床高の状況 (未舗装)  
【計画路床高からの掘削】・【計画路床高までの埋め戻し】
  - ・現道部 → 本工程の際は、舗装をしてある状況  
【舗装撤去から工事実施】・【仮舗装はせずに、現地盤高まで埋戻し】
  - ・現道部 (現況復旧) → 試掘工事時に該当  
【舗装撤去から工事実施】・【仮舗装まで実施】

※NSφ700の管吊込み・据え付けには、トラッククレーン油圧伸縮ジブ型4.9t吊を想定  
 ※作業時はアウトリガー最大張り出し寸法を考慮し、作業スペースとしてL=4.50m以上を設定。  
 (横断面図の作業スペースは参考値。)

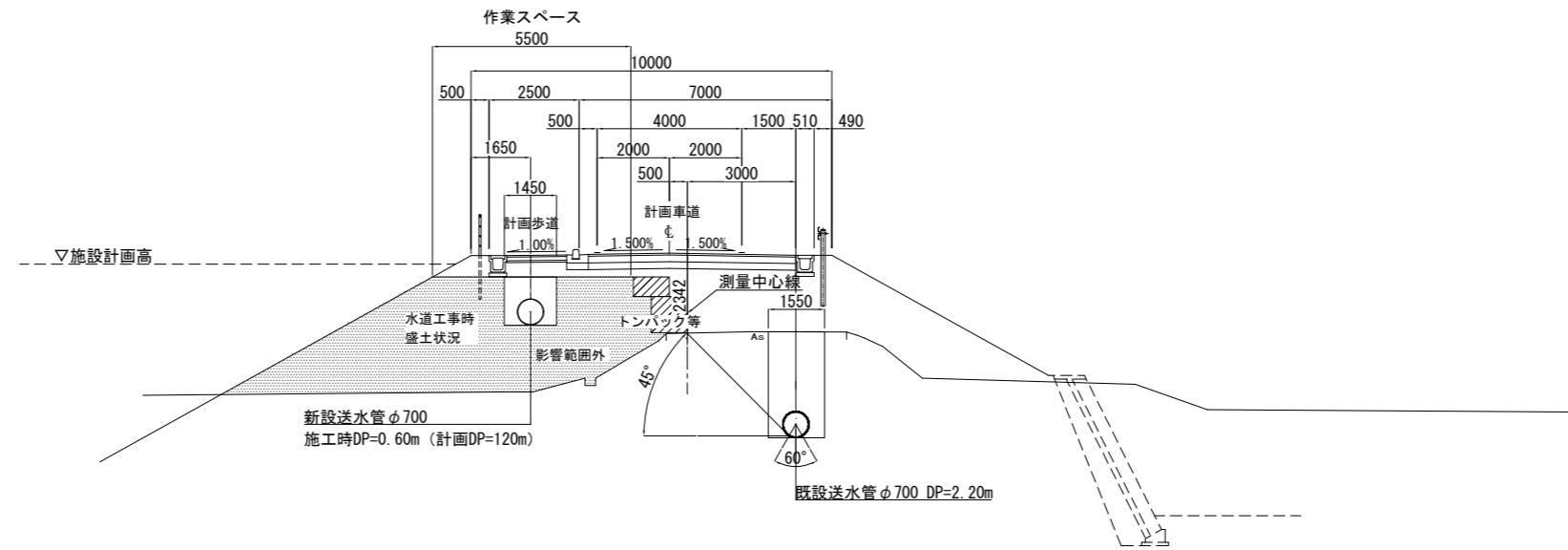
NO. 1



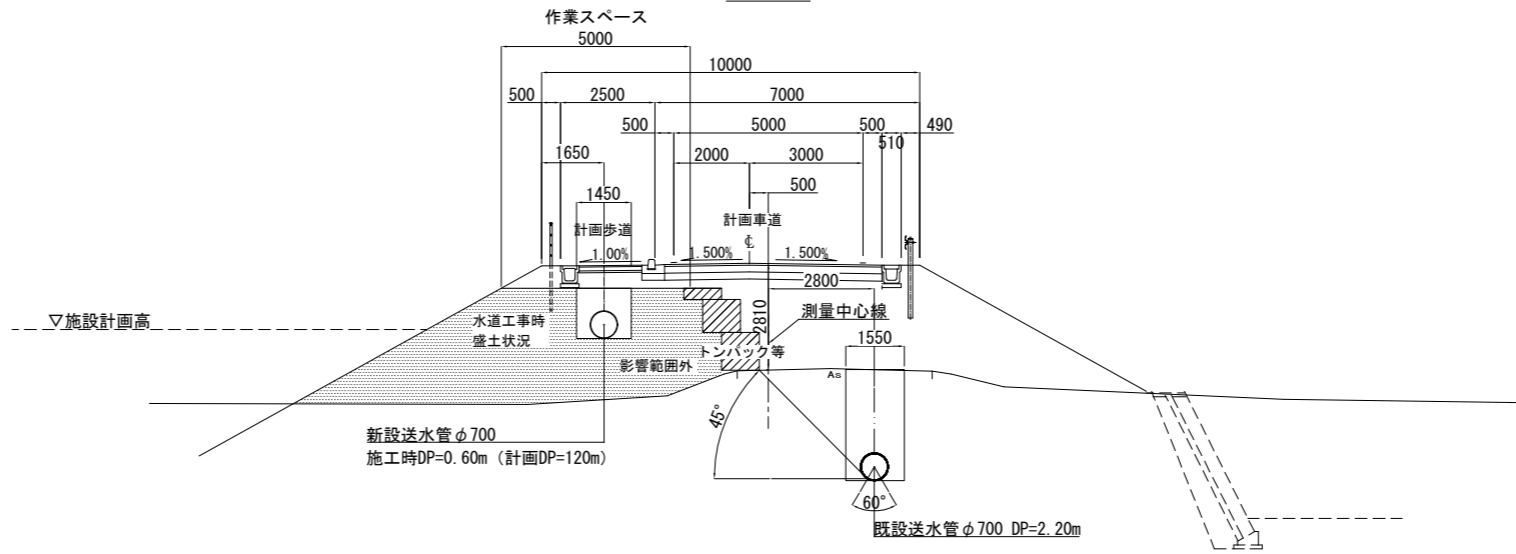
工 事 名 称	長生郡市広域市町村圏組合最終処分場築造に伴う 真名配水場系φ700送水管移設工事			
図 面 名 称	横断面図(1)			
図 面 枚 数	19 葉中 6	縮 尺	A1 1:100 A3 1:200	
完 成	令和 年 月 日	工事番号	九水企改令6第6号	
課 長	副 課 長	班 長	設 計	製 図
九 十 九 里 地 域 水 道 企 業 団				

# 横断面図(2) S=1/100 (A1) S=1/200 (A3)

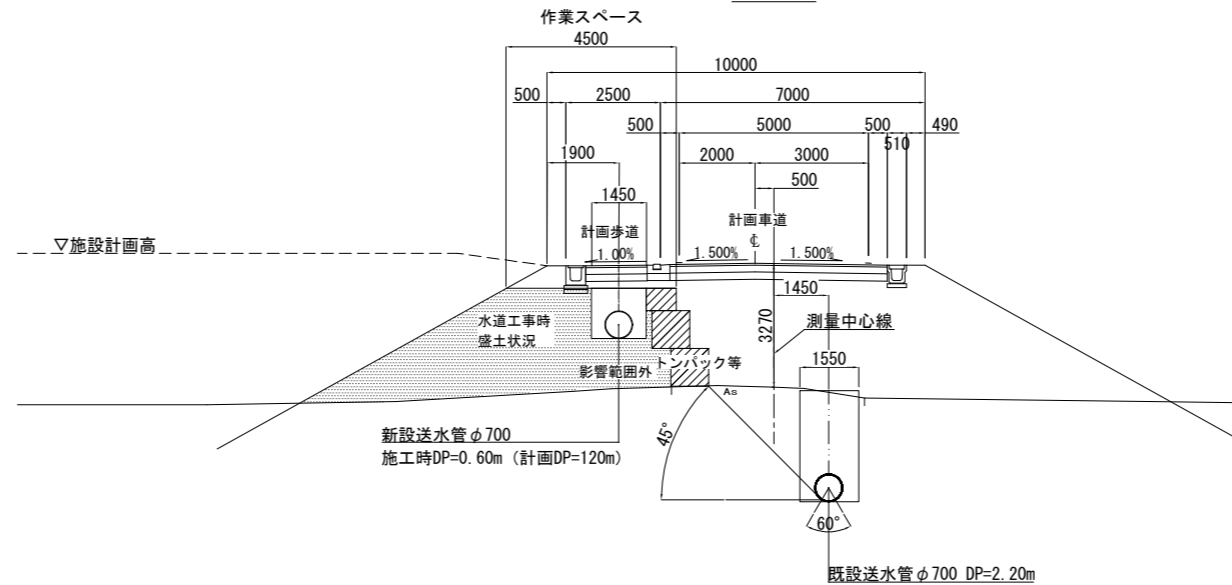
NO. 5



NO. 4



NO. 3



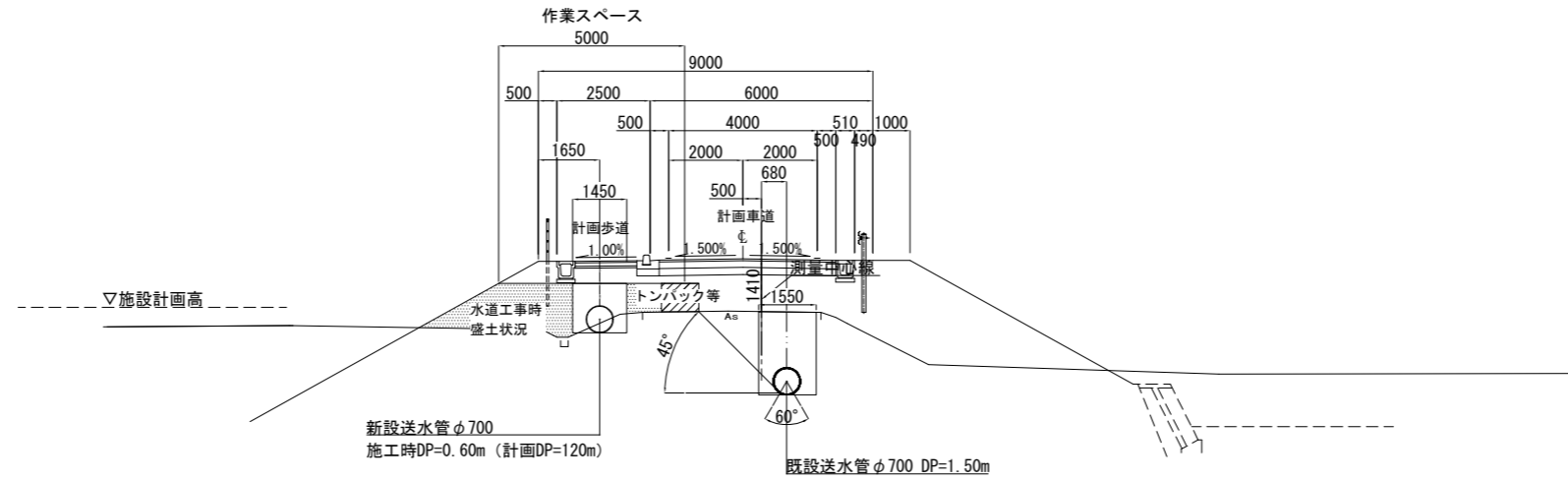
- 道路状況
- ・盛土部 → 盛土した状況 (未舗装)  
【計画DP+0.60からの掘削】・【管上+0.60 (埋設シート設置含む) までの埋め戻し】
  - ・掘り付け部 → 盛土高が低い箇所であり、本工程の際は、計画路床高の状況 (未舗装)  
【計画路床高からの掘削】・【計画路床高までの埋戻し】
  - ・現道部 → 本工程の際は、舗装をしてある状況  
【舗装撤去から工事実施】・【仮舗装はせずに、現地盤高まで埋戻し】
  - ・現道部 (現況復旧) → 試掘工事時に該当  
【舗装撤去から工事実施】・【仮舗装まで実施】

※NSφ700の管吊込み・据え付けには、トラッククレーン油圧伸縮ジブ型4.9t吊を想定  
 ※作業時はアウトリガー最大張り出し寸法を考慮し、作業スペースとしてL=4.50m以上を設定。  
 (横断面図の作業スペースは参考値。)

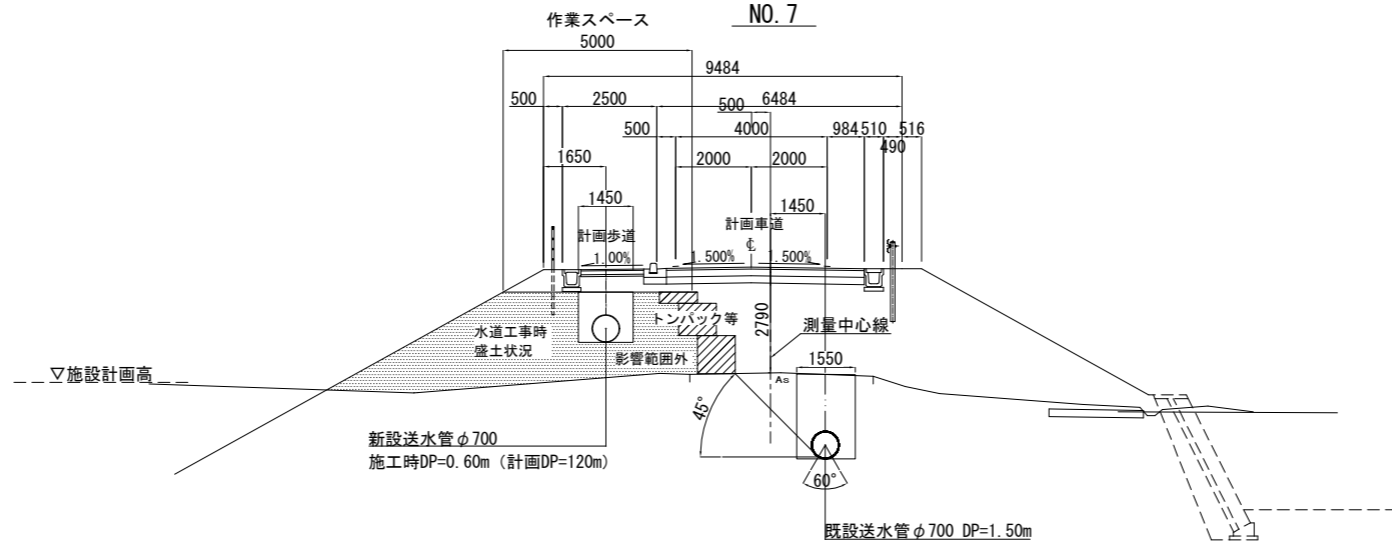
工 事 名 称	長生郡市広域市町村圏組合最終処分場築造に伴う 真名配水場系φ700送水管移設工事			
図 面 名 称	横断面図 (2)			
図 面 枚 数	19 葉 中 7	縮 尺	A1 1:100 A3 1:200	
完 成	令 和 年 月 日	工 事 番 号	九水企改令6第6号	
課 長	副 課 長	班 長	設 計	製 図
九 十 九 里 地 域 水 道 企 業 団				

# 横断面図(3) S=1/100(A1) S=1/200(A3)

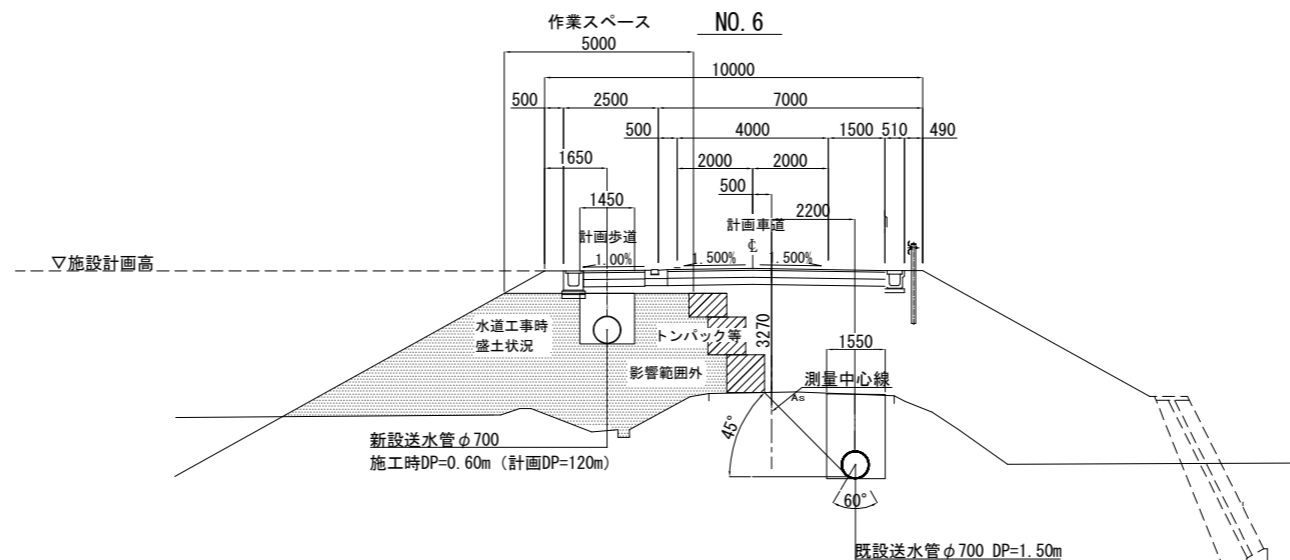
NO. 8



NO. 7



NO. 6



- 道路状況
- ・盛土部 → 盛土した状況（未舗装）  
【計画DP+0.60からの掘削】・【管上+0.60（埋設シート設置含む）までの埋め戻し】
  - ・掘り付け部 → 盛土高が低い箇所であり、本工事の際は、計画路床高の状況（未舗装）  
【計画路床高からの掘削】・【計画路床高までの埋戻し】
  - ・現道部 → 本工事の際は、舗装をしてある状況  
【舗装撤去から工事実施】・【仮舗装はせずに、現地盤高まで埋戻し】
  - ・現道部（現況復旧）→ 試掘工事時に該当  
【舗装撤去から工事実施】・【仮舗装まで実施】

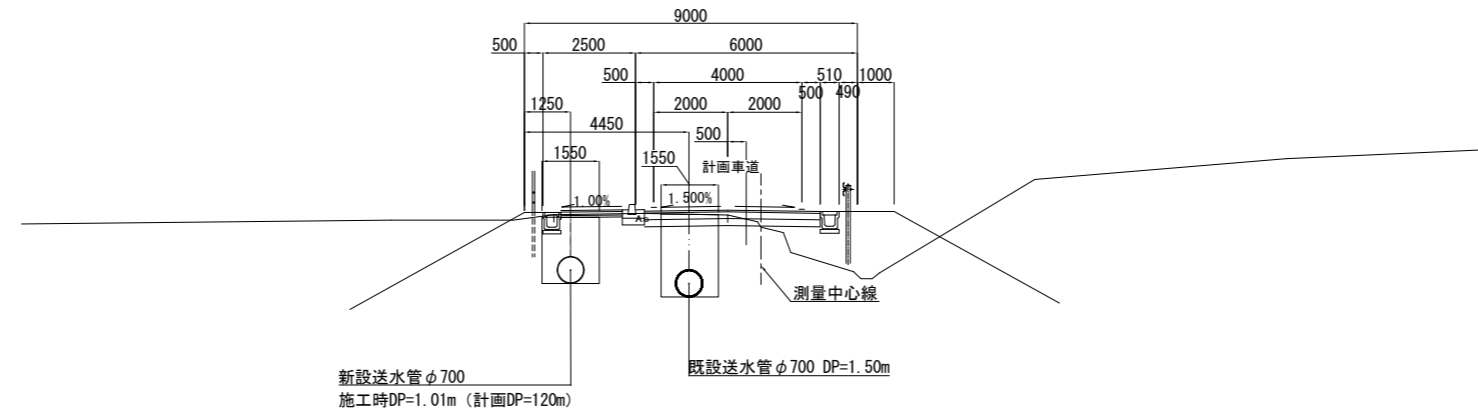
※NSφ700の管吊込み・据え付けには、トラッククレーン油圧伸縮ジブ型4.9t吊を想定  
 ※作業時はアウトリガー最大張り出し寸法を考慮し、作業スペースとしてL=4.50m以上を設定。  
 （横断面の作業スペースは参考値。）

工 事 名 称	長生郡市広域市町村圏組合最終処分場築造に伴う 真名配水場系φ700耗送水管移設工事			
図 面 名 称	横断面図(3)			
図 面 枚 数	19 葉中 8	縮 尺	A1 1:100 A3 1:200	
完 成	令和 年 月 日	工事番号	九水企改令6第6号	
課 長	副 課 長	班 長	設 計	製 図
九 十 九 里 地 域 水 道 企 業 団				

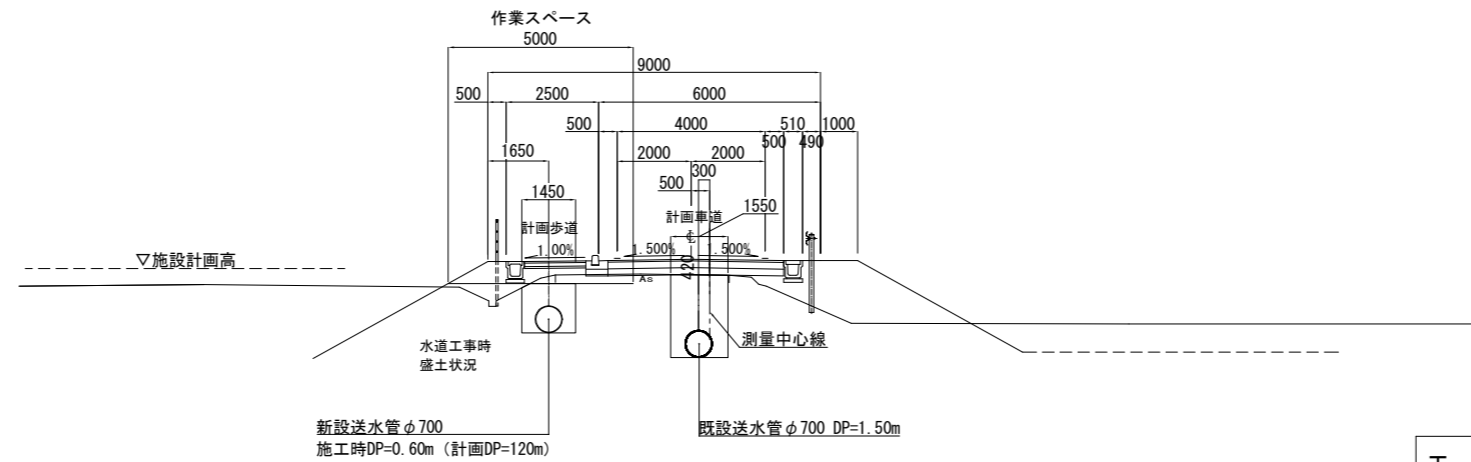


# 横断面図(4) S=1/100 (A1) S=1/200 (A3)

NO. 10



NO. 9



**道路状況**

- ・盛土部 → 盛土した状況 (未舗装)  
【計画DP+0.60からの掘削】・【管上+0.60 (埋設シート設置含む) までの埋め戻し】
- ・掘り付け部 → 盛土高が低い箇所であり、本工事の際は、計画路床高の状況 (未舗装)  
【計画路床高からの掘削】・【計画路床高までの埋戻し】
- ・現道部 → 本工事の際は、舗装をしてある状況  
【舗装撤去から工事実施】・【仮舗装はせずに、現地盤高まで埋戻し】
- ・現道部 (現況復旧) → 試掘工事時に該当  
【舗装撤去から工事実施】・【仮舗装まで実施】

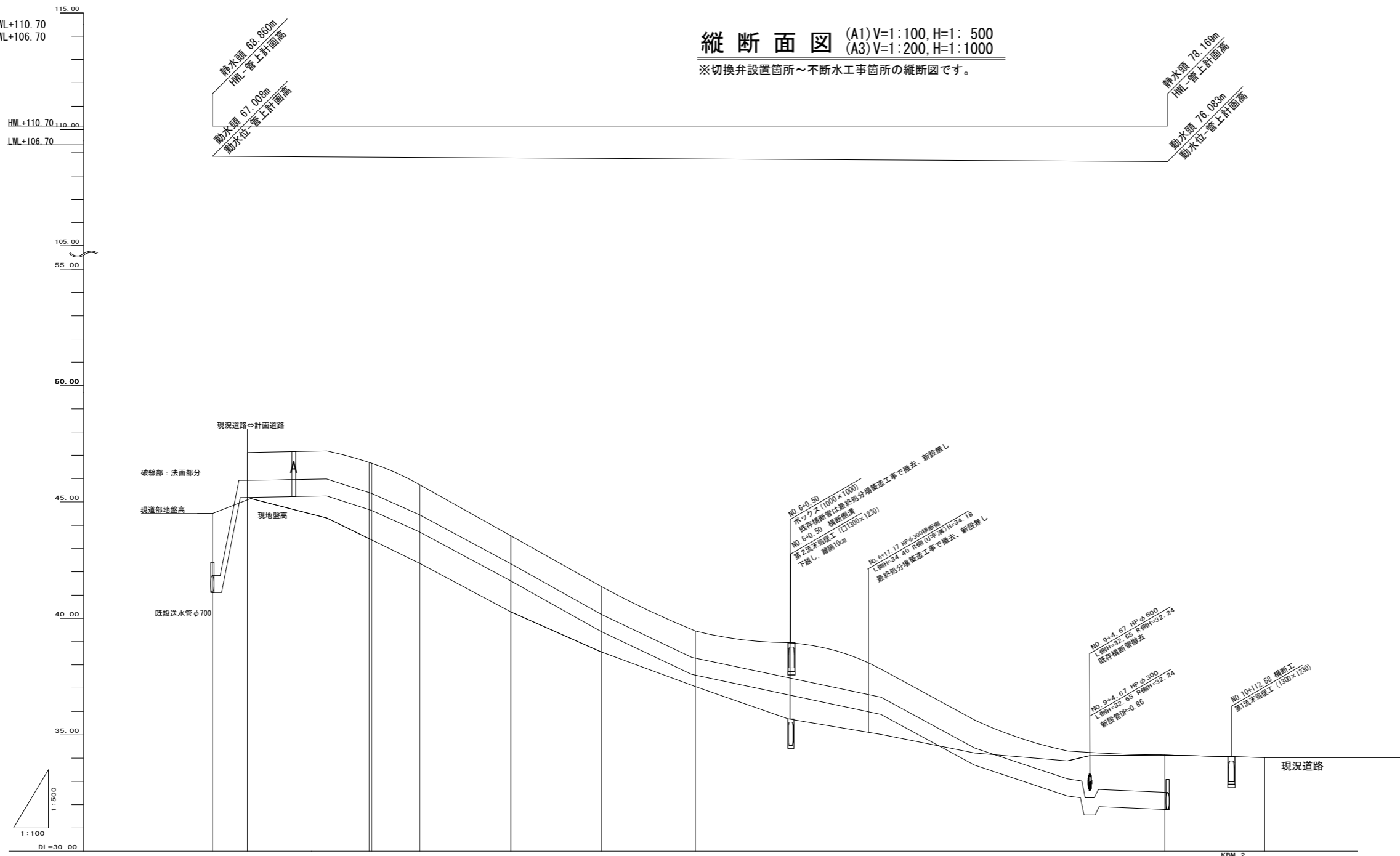
※NSφ700の管吊込み・据え付けには、トラッククレーン油圧伸縮ジブ型4.9t吊を想定  
 ※作業時はアウトリガー最大張り出し寸法を考慮し、作業スペースとしてL=4.50m以上を設定。  
 (横断面の作業スペースは参考値。)

工 事 名	長生郡市広域市町村圏組合最終処分場築造に伴う 真名配水場系φ700送水管移設工事				
図 面 名 称	横断面図(4)				
図 面 枚 数	19 葉 中 9	縮 尺	A1 1:100 A3 1:200		
完 成	令和 年 月 日	工事番号	九水企改令6第6号		
課 長	副 課 長	班 長	設 計	製 図	
九 十 九 里 地 域 水 道 企 業 団					

長柄浄水場 HWL+110.70  
LWL+106.70

### 縦断面図 (A1)V=1:100,H=1:500 (A3)V=1:200,H=1:1000

※切換弁設置箇所～不断水工事箇所の縦断面図です。



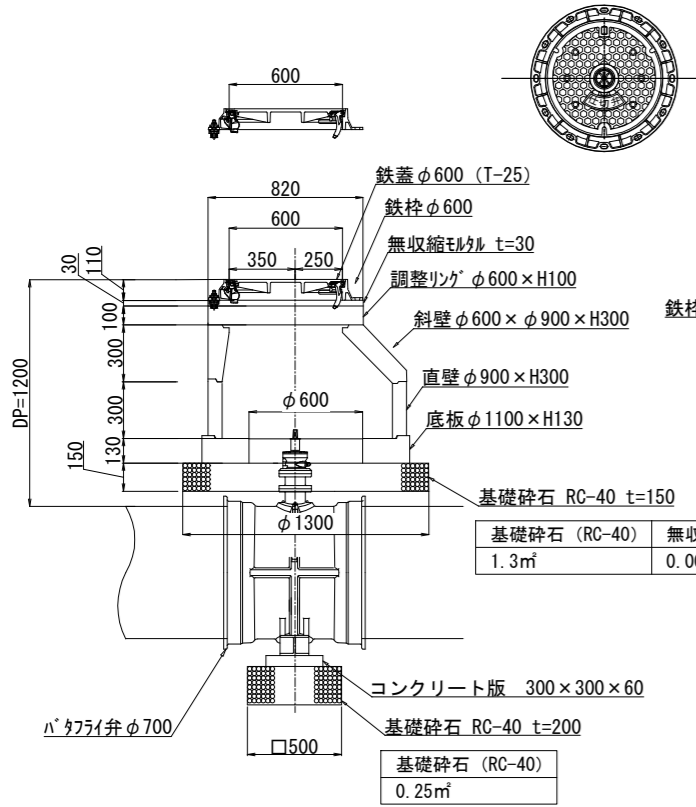
管区管理	DIP. NS φ 700 L=16.290m (L=17.930m)										DIP. NS φ 700 L=185.615m (L=186.590m)										DIP. NS φ 700 L=3.190m											
	管位	動水位	管上計画高	管上現高	路	計画高	地盤高	距離追加	単距離	測点	管位	動水位	管上計画高	管上現高	路	計画高	地盤高	距離追加	単距離	測点	管位	動水位	管上計画高	管上現高	路	計画高	地盤高	距離追加	単距離	測点		
		108.846	41.840	43.950	45.989	46.070	44.500	0.000	0.000	井NO.1 -24.590																						
			2.66	1.20	1.57	46.720	45.150	7.490	7.490	井NO.1 -17.100																						
			1.20	1.20	2.879	47.189	44.310	24.590	17.100	井NO.1																						
			1.30	1.30	3.310	46.734	43.420	33.190	8.600	+8.600 BC1																						
			1.30	1.30	3.384	45.744	42.360	44.500	10.810	井NO.2																						
			1.20	1.20	3.266	43.546	40.280	64.060	19.560	井NO.3																						
			1.20	1.20	2.815	41.365	38.550	83.560	19.500	EC1																						
			1.20	1.20	2.806	41.346	38.540	83.730	0.170	井NO.4																						
			1.20	1.20	2.391	39.461	37.070	103.690	19.960	井NO.5																						
			1.52	1.52	3.277	38.957	35.680	123.670	19.980	井NO.6																						
			1.20	1.20	2.794	37.804	35.010	143.670	20.000	井NO.7																						
			1.20	1.20	1.408	35.628	34.220	163.670	20.000	井NO.8																						
			1.20	1.20	0.423	34.303	33.880	183.670	20.000	井NO.9																						
			1.59	1.59	0.091	34.131	34.04	201.875	18.205	T字管																						
			1.59	1.59	0.091	34.131	34.04	205.065	3.190	井1字管																						

HWL-損失水頭  
県道側(上流側)  
(1.852m)  
町道1166号側  
(下流側)  
(2.086m)

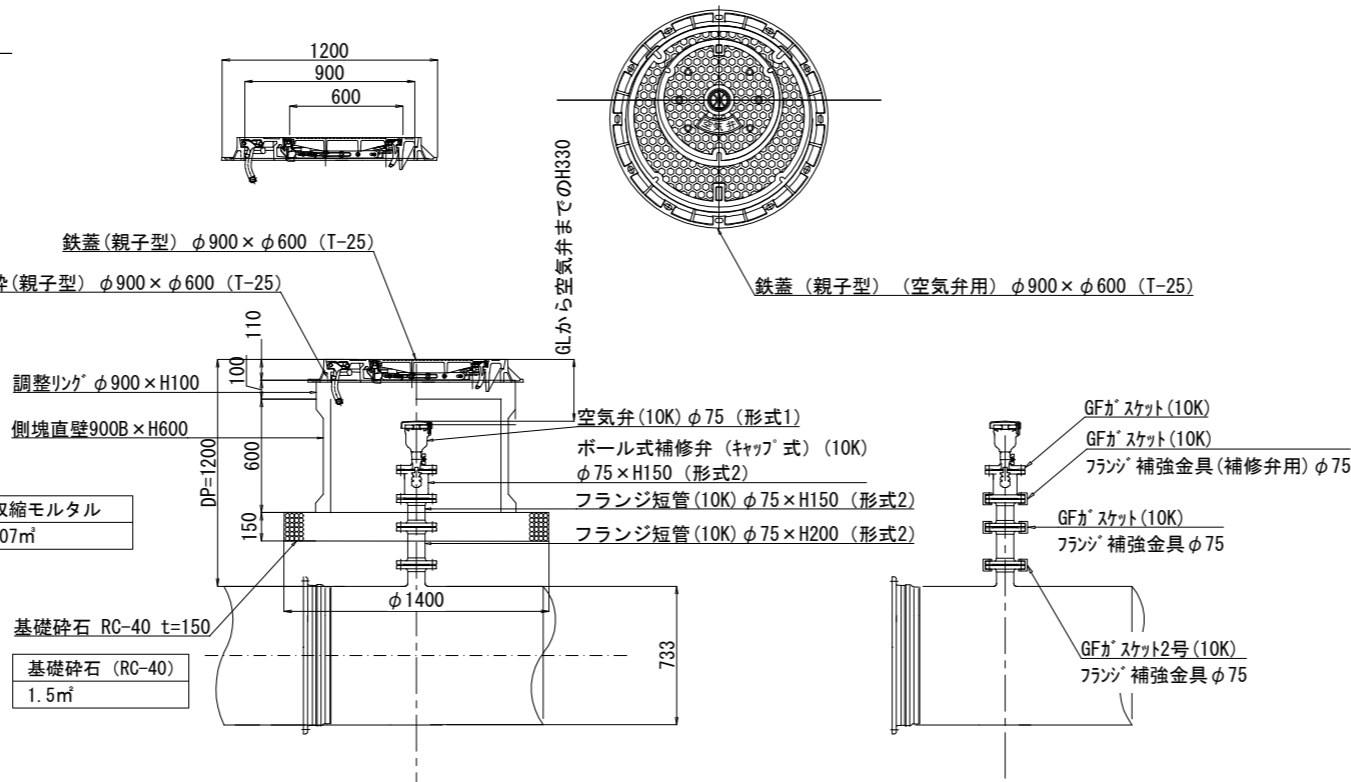
工名	長生郡市広域市町村圏組合最終処分場築造に伴う 真名配水場系φ700耗送水管移設工事				
図名	縦断面図				
図枚	19 葉中 10	縮尺	A1 V=1:100,H=1:500 A3 V=1:200,H=1:1000		
完成	令和 年 月 日	工事番号	九水企改令6第6号		
課長	副課長	班長	設計	製図	
九十九里地域水道企業団					

# 構造図 S=図示

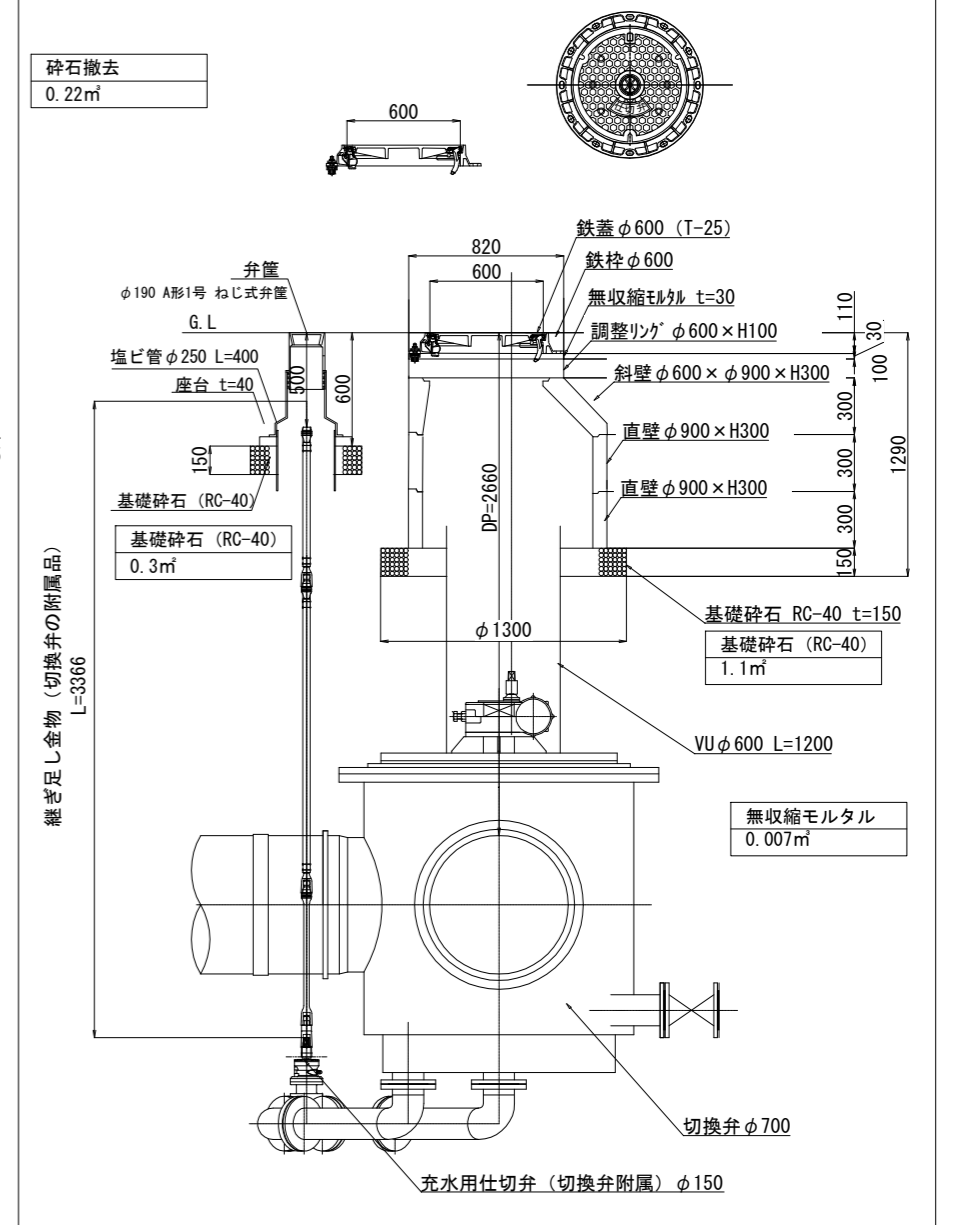
バタフライ弁室 S=1:20(A1)  
S=1:40(A3)  
(管軸方向断面図)



空気弁室 S=1:20(A1)  
S=1:40(A3)  
(管軸方向断面図)

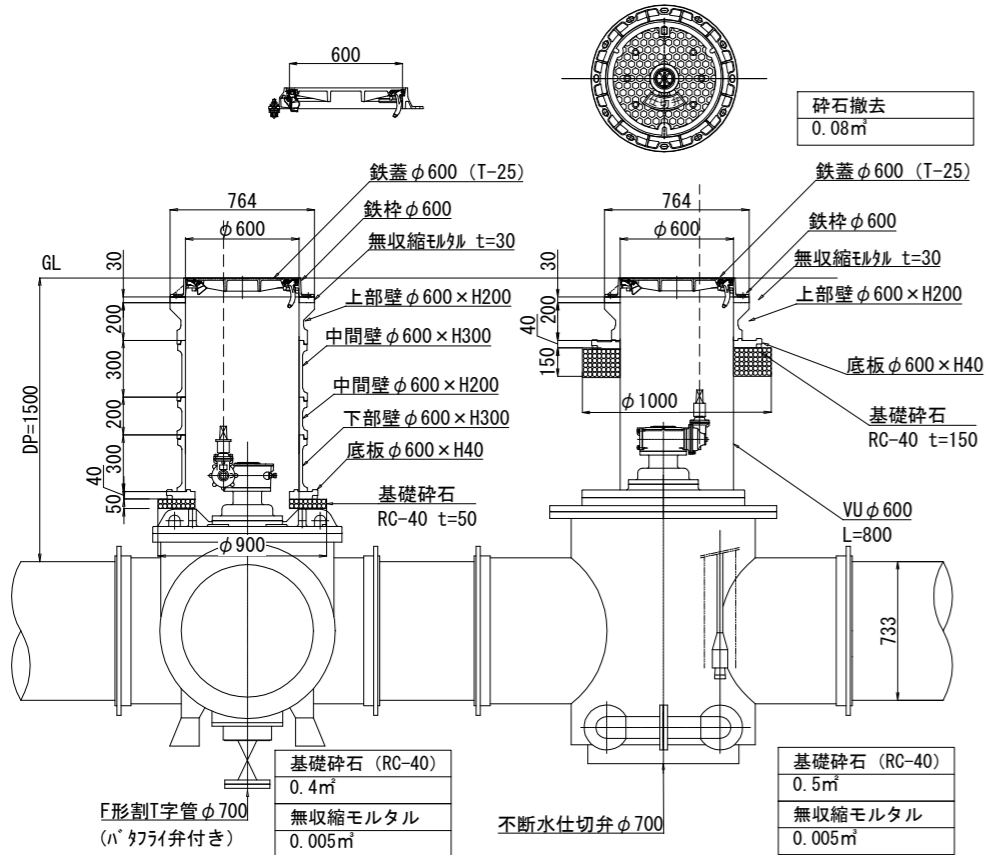


不断水切換弁室断面図 S=1:20(A1)  
S=1:40(A3)  
水運用切換後、弁室撤去  
スピンドル操作に支障がないよう弁室を設置すること

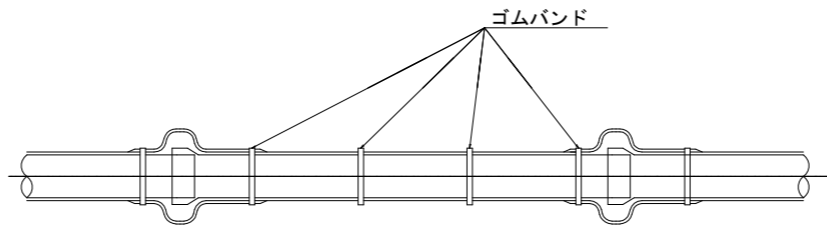


不断水工 S=1:20(A1)  
S=1:40(A3)  
(管軸方向断面図)

F形割I字管 (バタフライ弁付き)・不断水仕切弁  
水運用切換後、不断水仕切弁の弁室は撤去  
スピンドル操作に支障がないよう弁室を設置すること



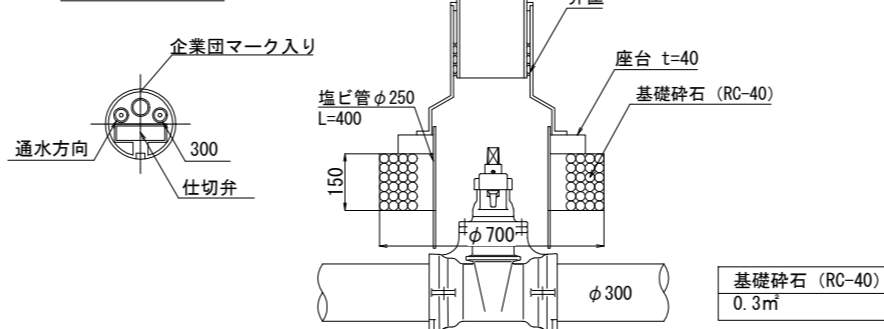
ポリエチレンスリーブ被覆工 S=Free



仕切弁設置図 S=1:10(A1)  
S=1:20(A3)

φ190 A形2号 DP=1.20 ねじ式弁筐 (排水弁)

浅層タイプ



企業団マーク



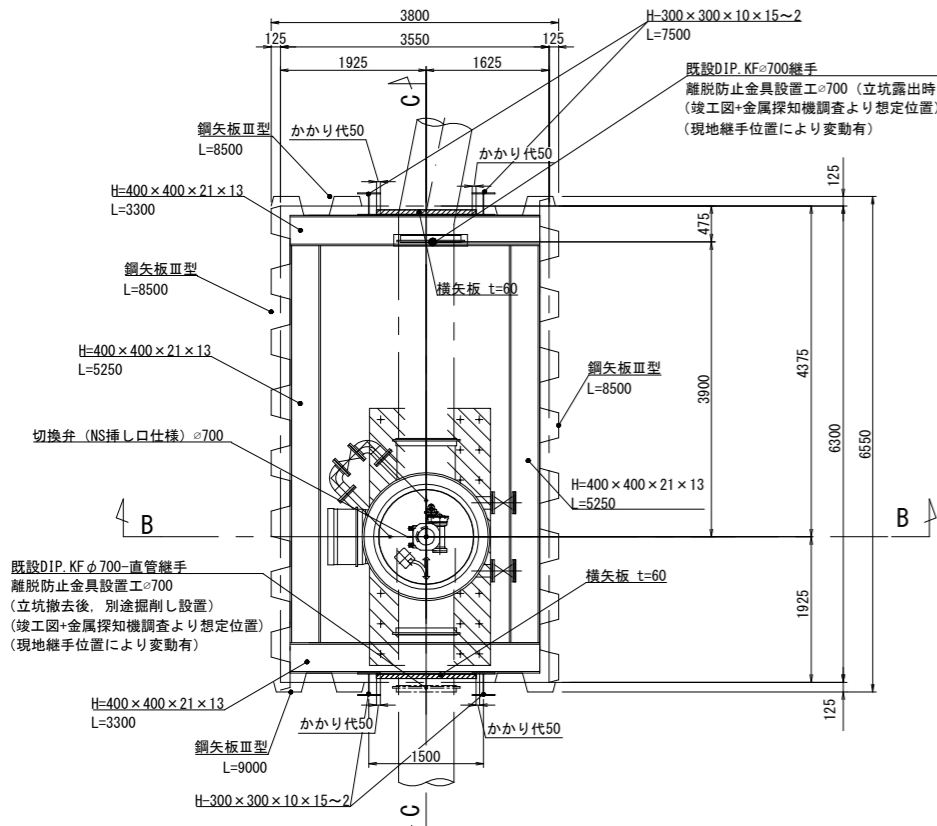
工 事 名 称	長生郡市広域市町村圏組合最終処分場築造に伴う 真名配水場系φ700耗送水管移設工事		
図 面 名 称	構造図		
図 枚 数	19 葉中 11	縮 尺	A1 図示 A3 図示
完 成	令和 年 月 日	工事番号	九水企改令6第6号
課 長	副 課 長	班 長	設 計 製 図
九十九里地域水道企業団			

# 切換弁仮設図

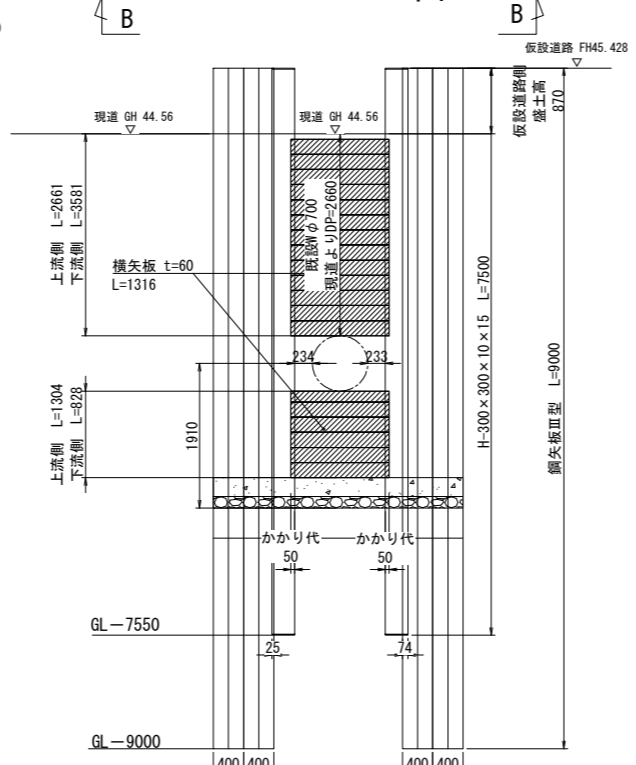
S=1:50 (A1)  
S=1:100 (A3)

※切換弁設置後は、立坑を撤去

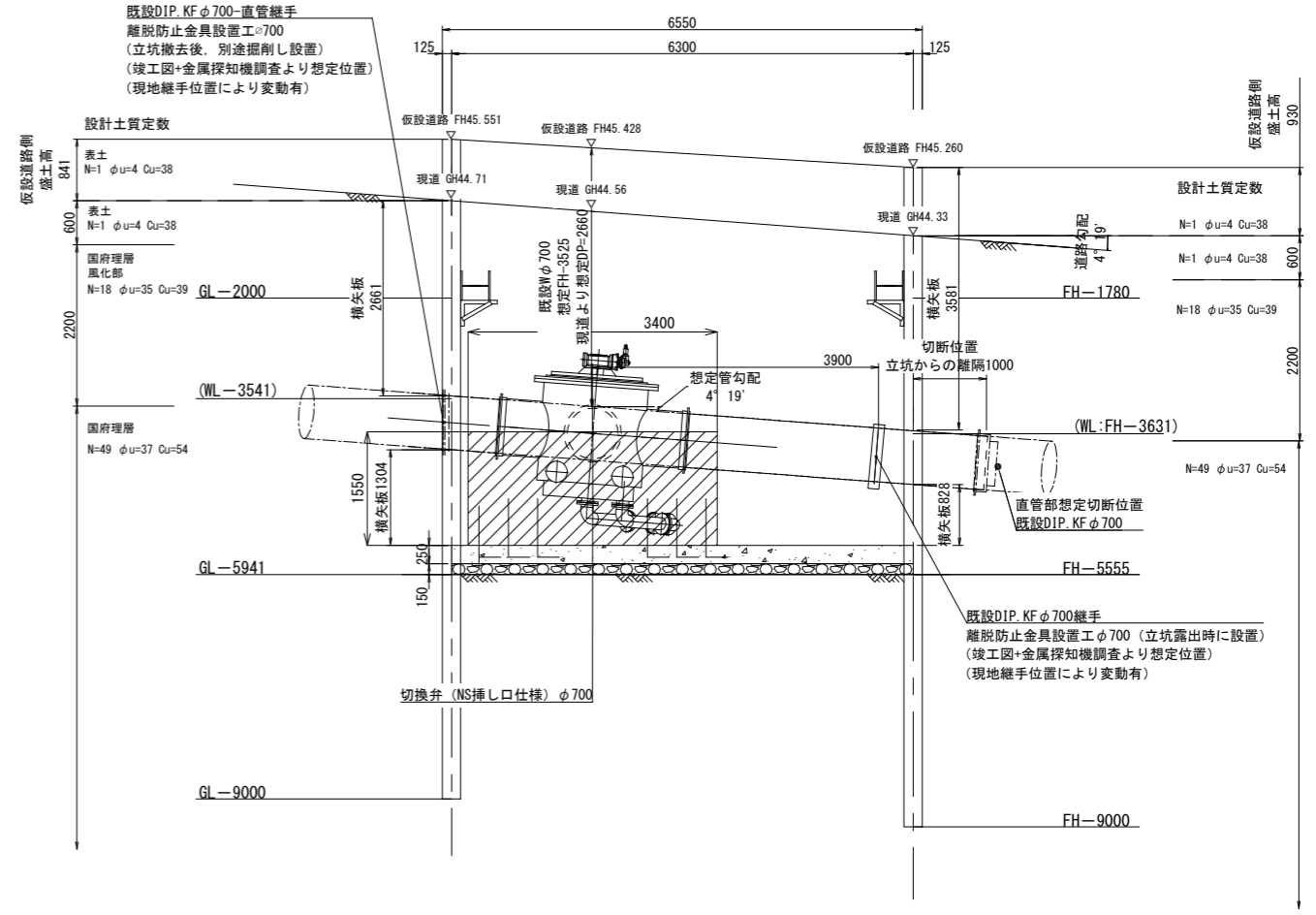
平面図  
A-A



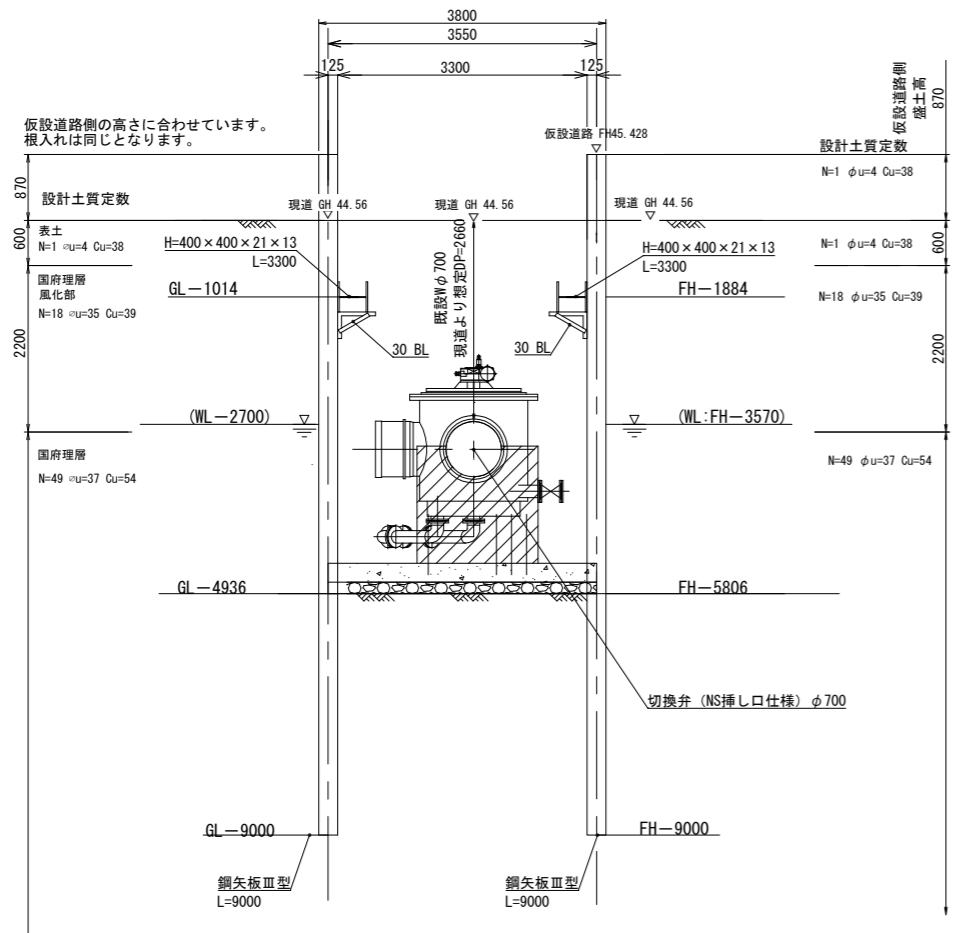
横矢板設置参考図  
2面



C-C 断面図



B-B 断面図



土留材数量表

部材名	規格・寸法	数量	単位質量	質量	備考
鋼矢板	Ⅲ型 9.00m	378m	60.0kg/m	22.68t	9m×42枚
H鋼材	H300×300×10×15	30m	93.0kg/m	2.79t	7.50m×4本
横矢板	1316×8374×60	11.02m <sup>2</sup>			(上流側3965+下流側4409)

主要部材数量表

部材名	寸法	数量	単位質量	質量	備考
腹起し	H400×400×21×13	17.10m	200.0kg/m	3.42t	

副部材数量表

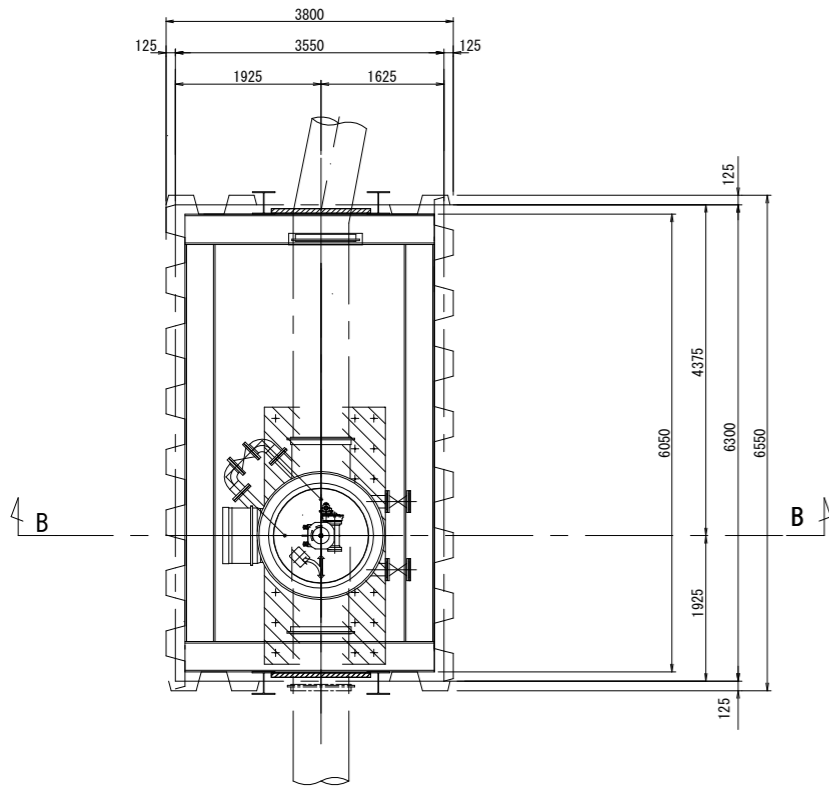
部材名	寸法	質量	備考
副部材A	主部材質量×0.22	0.75t	ビス、ジャッキ等
副部材B	主部材質量×0.04	0.14t	プラケット、ネット、カット

工 事 名 称	長生郡市広域市町村圏組合最終処分場築造に伴う 真名配水場系φ700送水管移設工事		
図 面 名 称	切換弁仮設図		
図 面 枚 数	19 葉中 12	縮 尺	A1 1:50 A3 1:100
完 成	令和 年 月 日	工事番号	九水企改令6第6号
課 長	副課長	班 長	設 計 製 図
九十九里地域水道企業団			

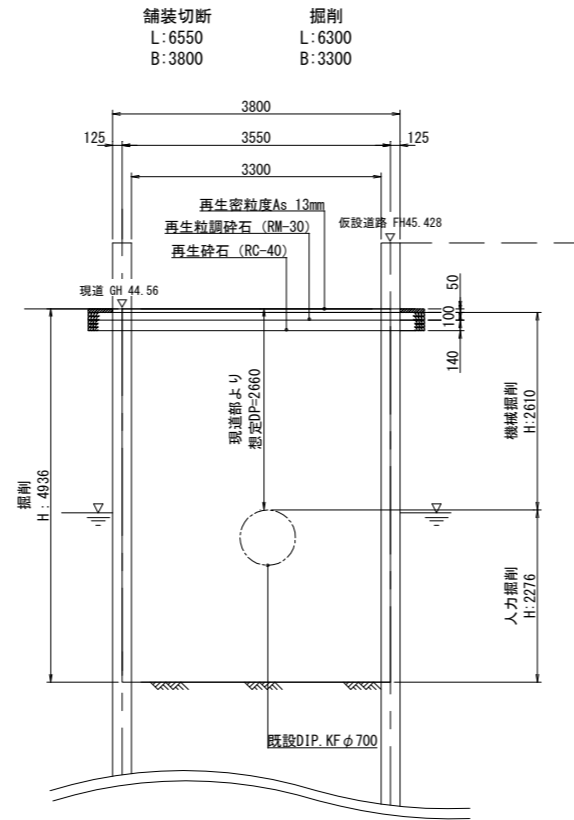
# 切換弁土工図 S=1: 50 (A1) S=1:100 (A3)

※切換弁設置後は、立坑を撤去

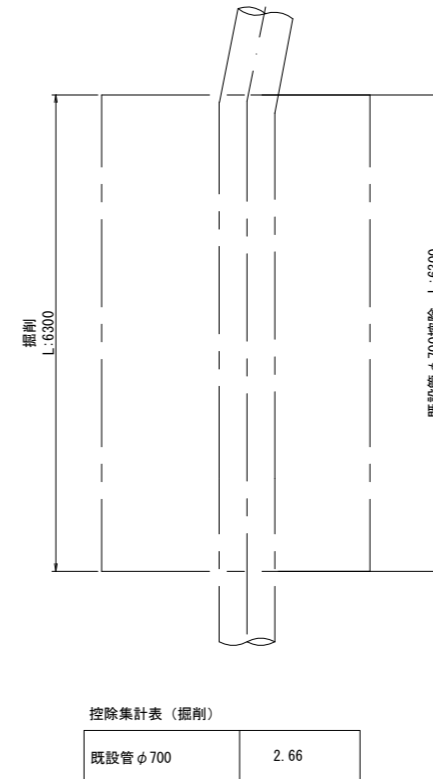
平面図  
A-A



掘削工  
B-B 断面図



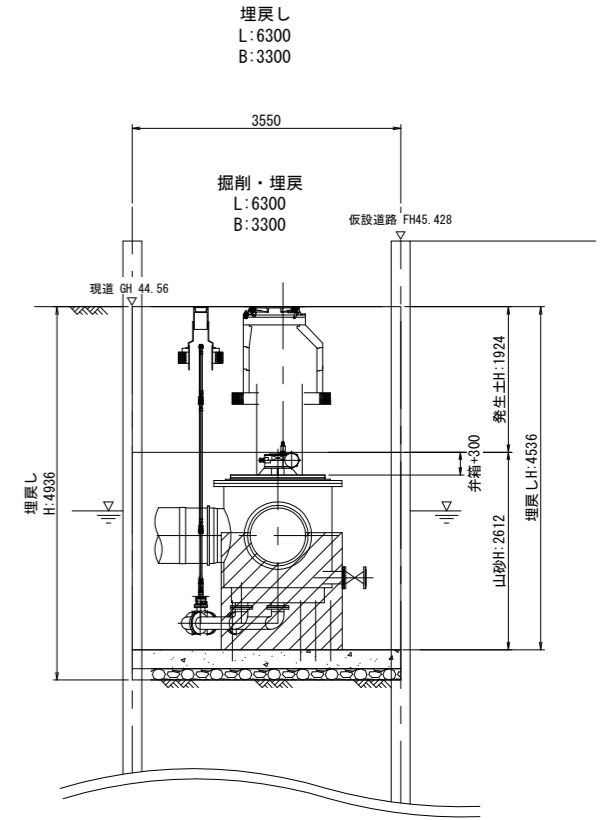
掘削工  
A-A 平面図



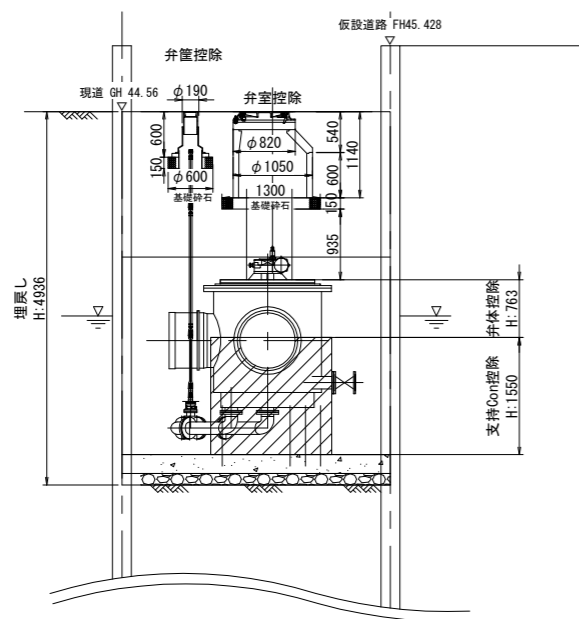
控除集計表 (掘削)

既設管φ700	2.66
---------	------

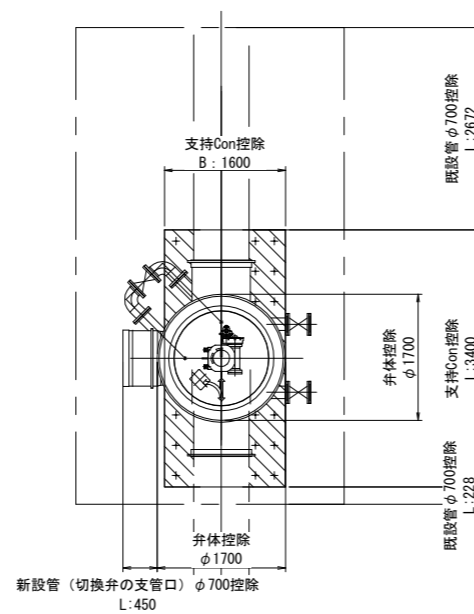
埋戻し工  
B-B 断面図



埋戻し控除部  
B-B 断面図



埋戻し控除部  
A-A 平面図



控除集計表 (発生土)

弁室: φ820部	0.29m <sup>3</sup>
弁室: φ1050部	0.52m <sup>3</sup>
弁室: 基礎砕石	0.20m <sup>3</sup>
弁室: VUφ600	0.29m <sup>3</sup>
弁室	0.02m <sup>3</sup>
弁室: 基礎砕石	0.04m <sup>3</sup>

控除集計表 (山砂)

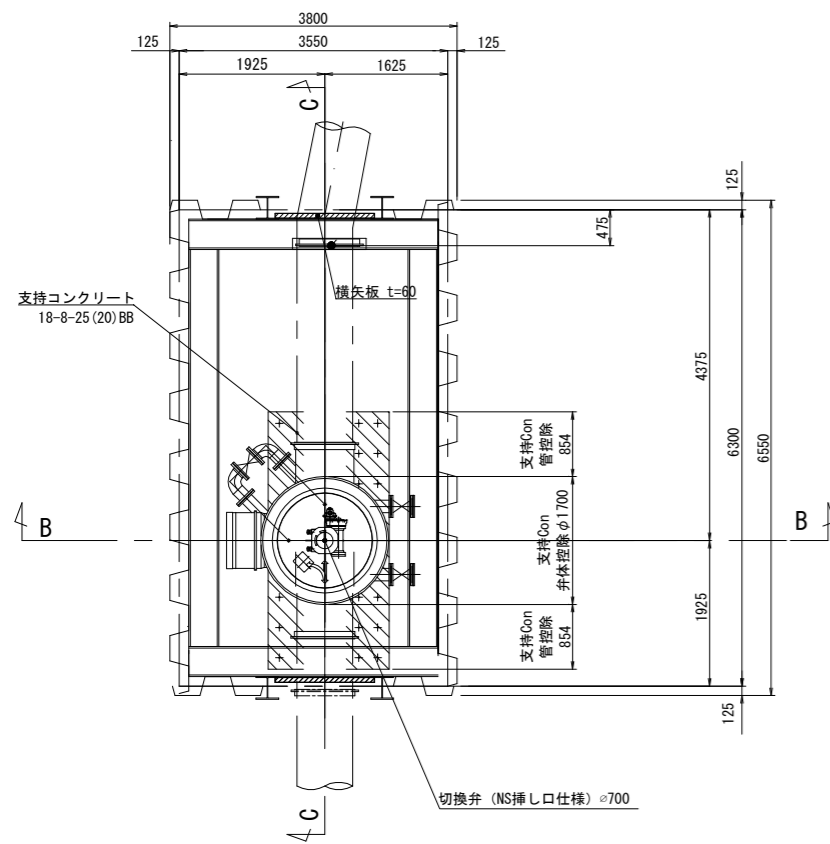
支持コンクリート 18-8-25 (20) BB	8.43m <sup>3</sup>
既設管φ700	1.22m <sup>3</sup>
新設管φ700	0.19m <sup>3</sup>
弁体	1.73m <sup>3</sup>

工 事 名 称	長生郡市広域市町村圏組合最終処分場築造に伴う 真名配水場系φ700送水管移設工事		
図 名 称	切換弁土工図		
図 面 数	19 葉中 13	縮 尺	A1 1:50 A3 1:100
完 成	令和 年 月 日	工事番号	九水企改令6第6号
課 長	副 課 長	班 長	設 計 製 図
九十九里地域水道企業団			

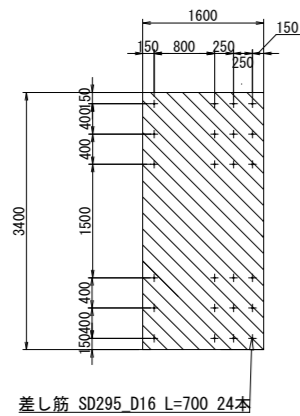
# 切換弁構造図

S=1: 50 (A1)  
S=1:100 (A3)

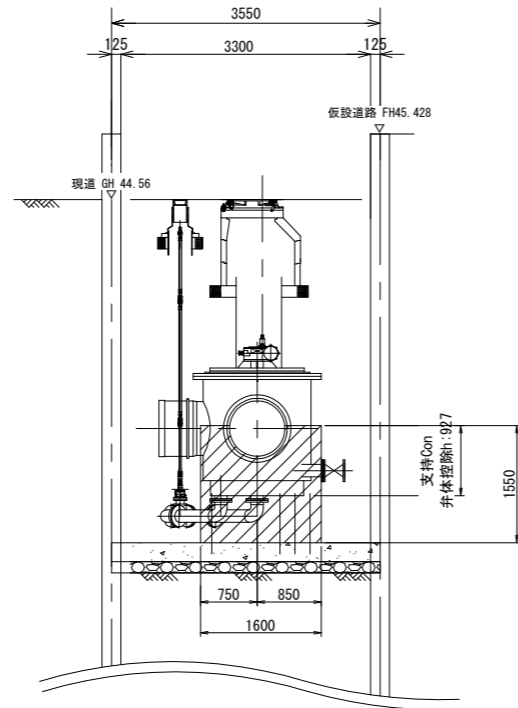
平面図  
A-A



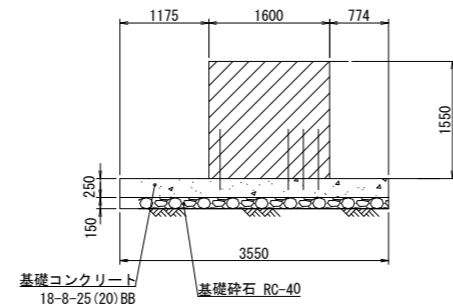
支持コンクリート平面図  
A-A



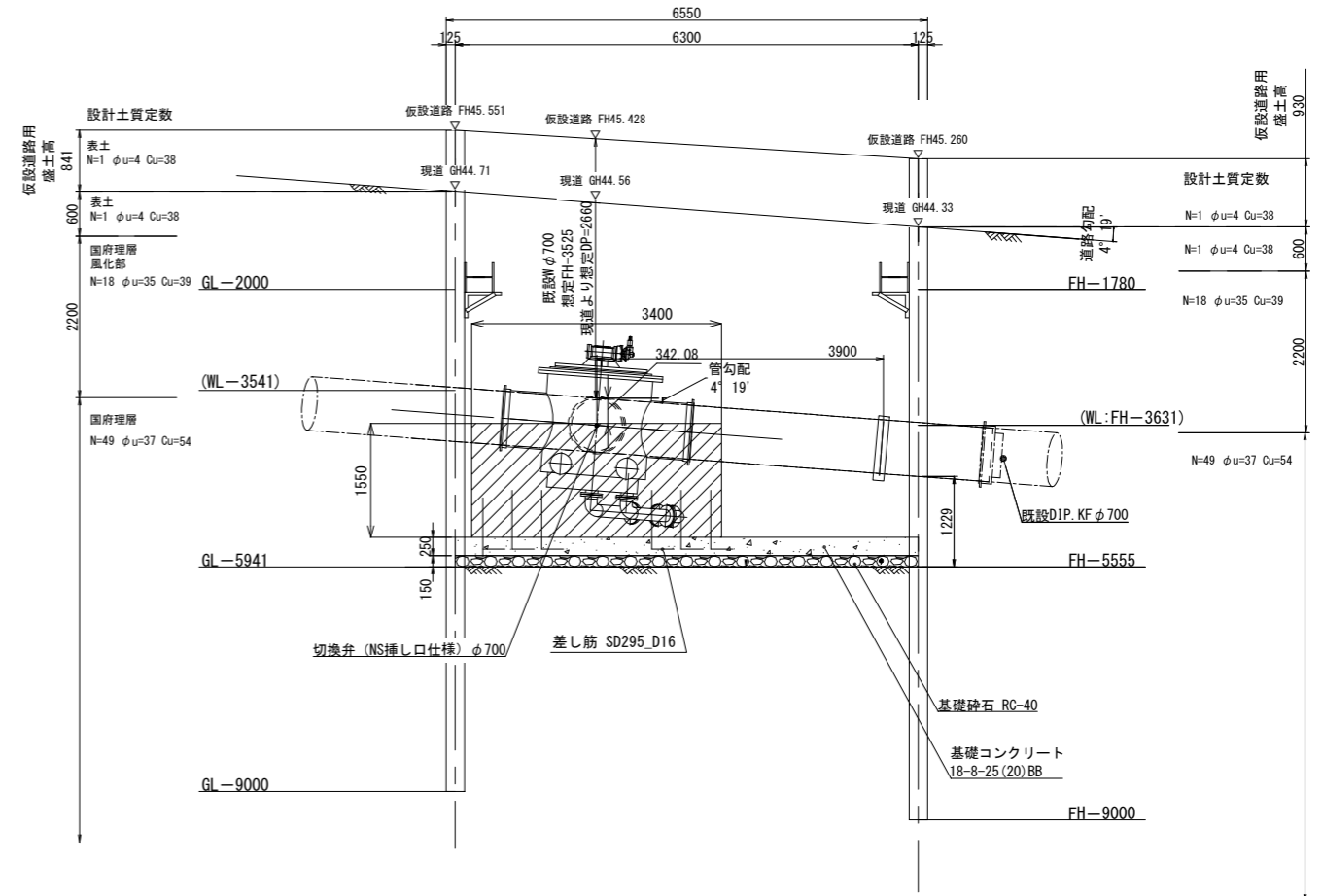
B-B 断面図



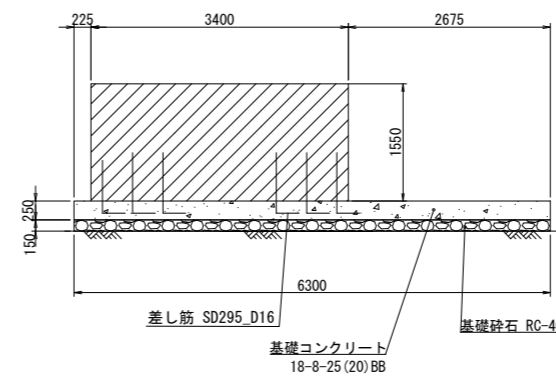
支持コンクリート断面図  
B-B



C-C 断面図



支持コンクリート断面図  
C-C



材料集計表

支持コンクリート 18-8-25 (20) BB	5.97m <sup>3</sup>
基礎コンクリート 18-8-25 (20) BB	5.59m <sup>3</sup>
基礎砕石 (RC-40) t=15cm	22.37m <sup>3</sup>
差し筋 SD295_D16	24本

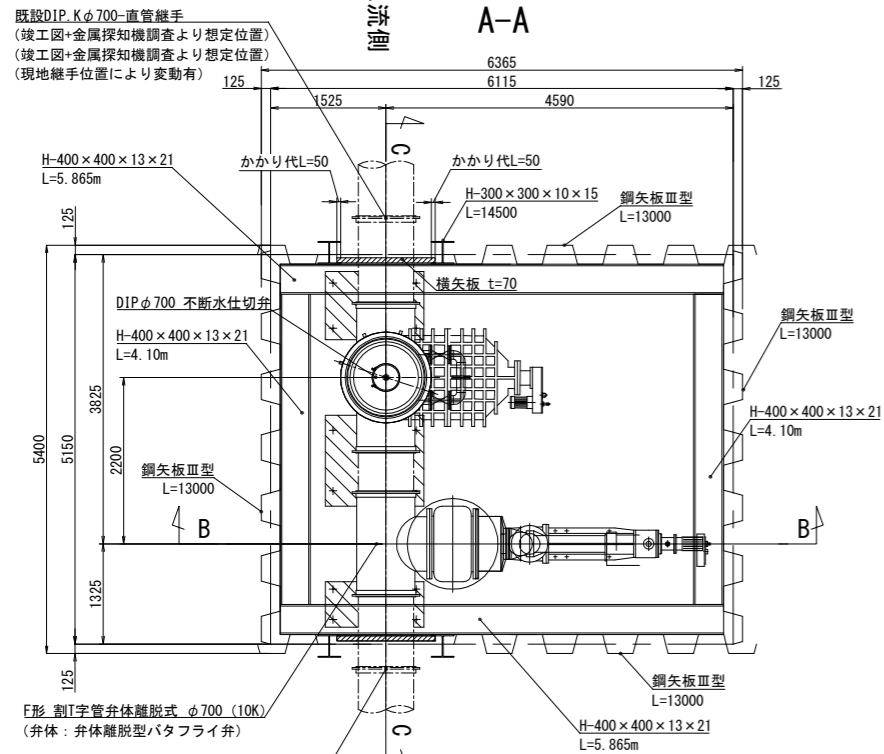
設計条件  
設計圧力 : 10K  
土被り : 2660  
埋め戻し土 : あり

工 事 名 称	長生郡市広域市町村圏組合最終処分場築造に伴う 真名配水場系φ700耗送水管移設工事		
図 面 名 称	切換弁構造図		
図 面 枚 数	19 葉中 14	縮 尺	A1 1: 50 A3 1:100
完 成	令和 年 月 日	工事番号	九水企改令6第6号
課 長	副 課 長	班 長	設 計 製 図
九十九里地域水道企業団			

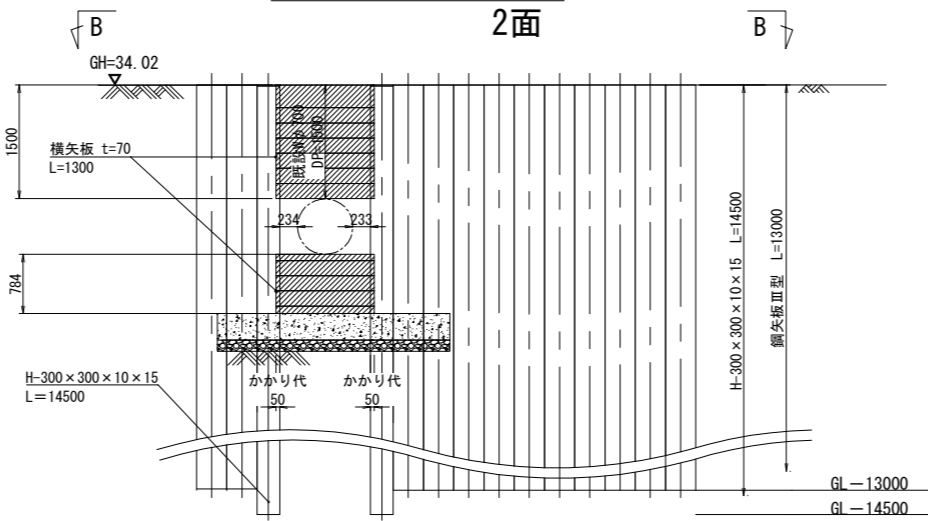
# 不断水工仮設図 S=1:50(A1) S=1:100(A3)

※不断水工事後は、立坑を撤去

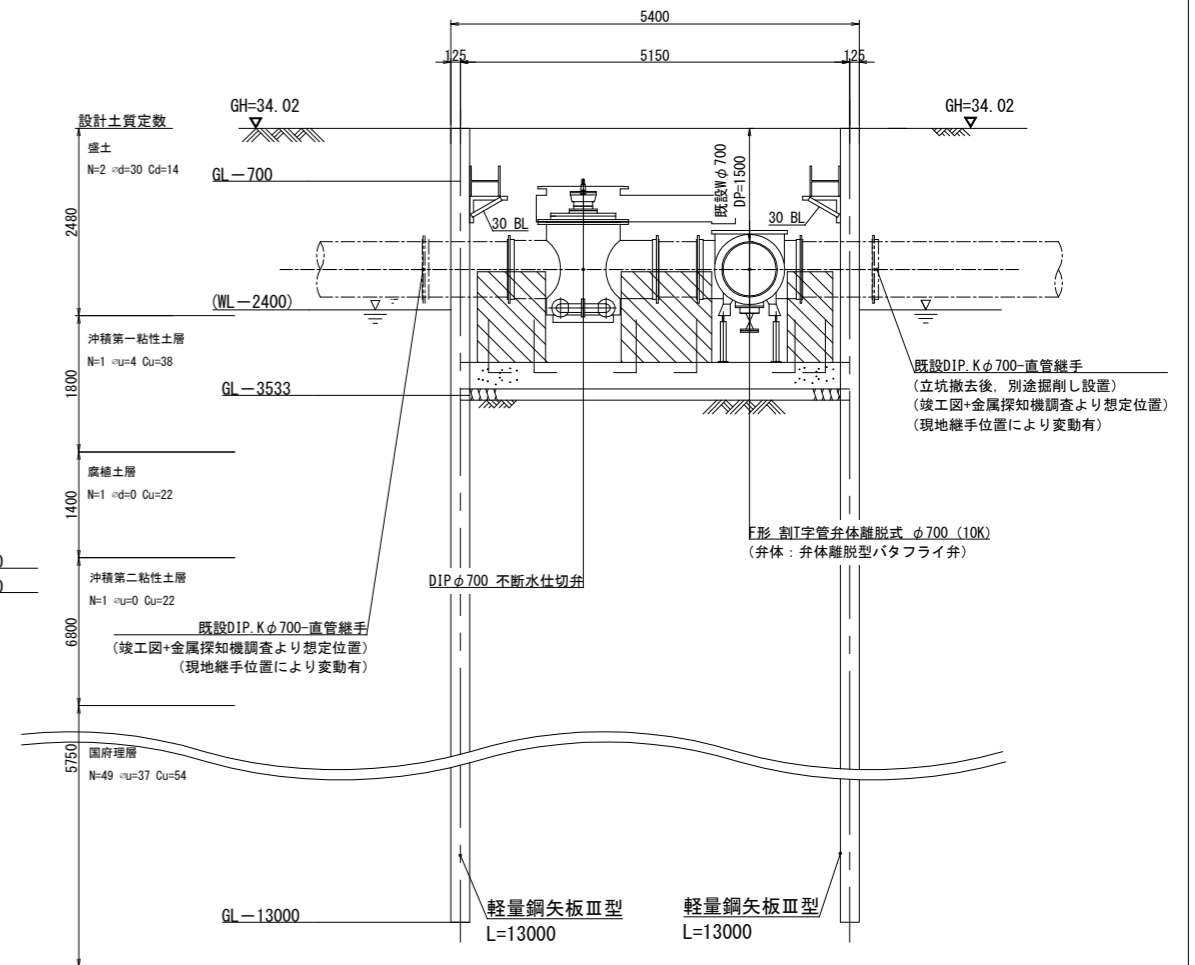
## 平面図 A-A



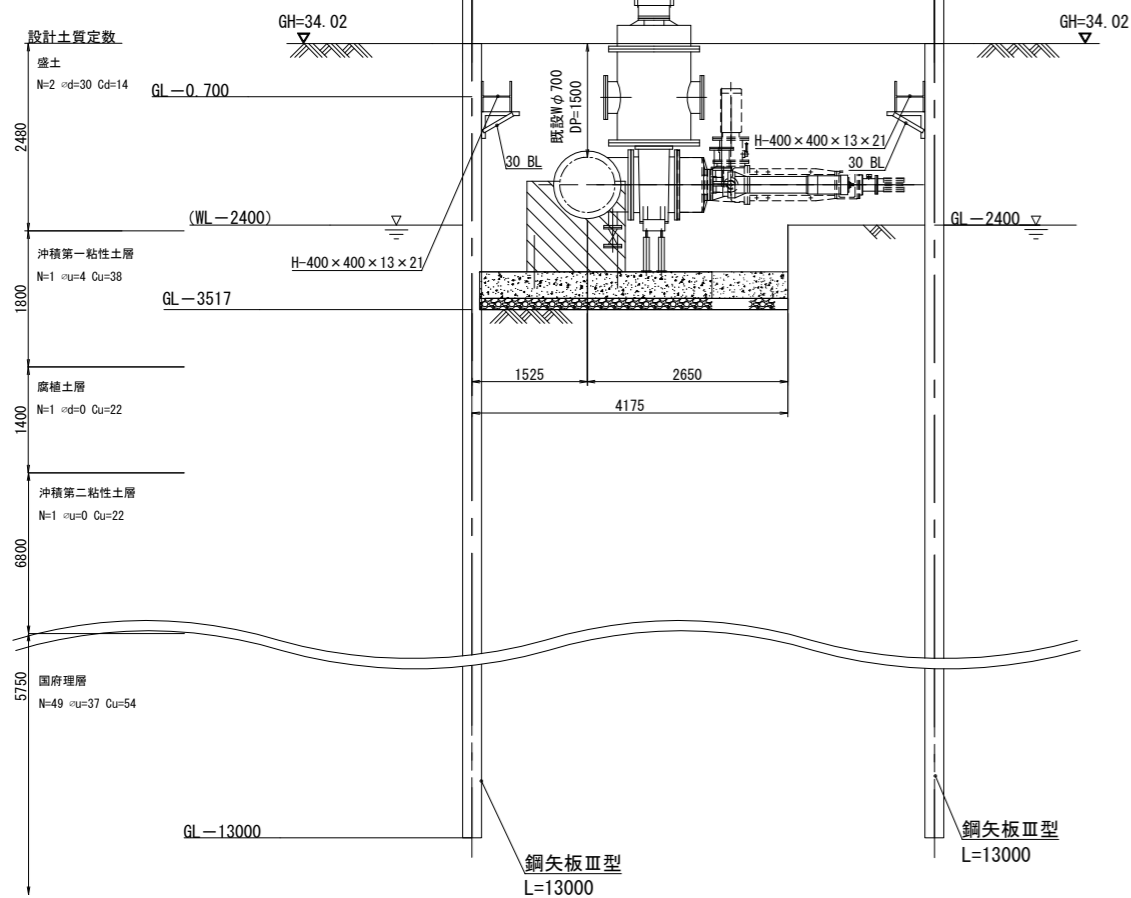
## 横矢板設置参考図 2面



## C-C 断面図



## B-B 断面図



### 土留材数量表

部材名	寸法	数量	単位質量	質量	備考
鋼矢板	Ⅲ型 13.00m	650m	60.0kg/m	39.00t	13m×50枚
H鋼材	H300×300×10×15	58m	93.0kg/m	5.39t	14.50m×4本
横矢板	1300×2284×70	5.94㎡			(1500+784)×2

### 主要部材数量表

部材名	寸法	数量	単位質量	質量	備考
腹起し	H400×400×21×13	19.93m	200.0kg/m	3.99t	

### 副部材数量表

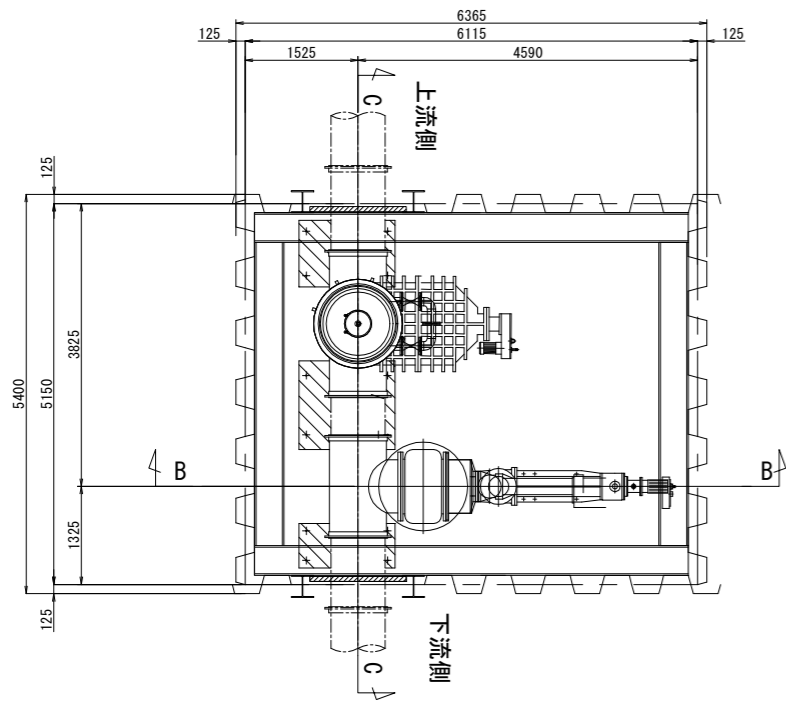
部材名	寸法	質量	備考
副部材A	主部材質量×0.22	0.88t	ビス、ジャッキ等
副部材B	主部材質量×0.04	0.16t	ブランク、ボルト、ナット

工事名	長生郡市広域市町村圏組合最終処分場築造に伴う 真名配水場系φ700耗送水管移設工事			
図面名	不断水工仮設図			
図枚数	19 葉中 15	縮尺	A1 1:50 A3 1:100	
完成	令和 年 月 日	工事番号	九水企改令6第6号	
課長	副課長	班長	設計	製図
九十九里地域水道企業団				

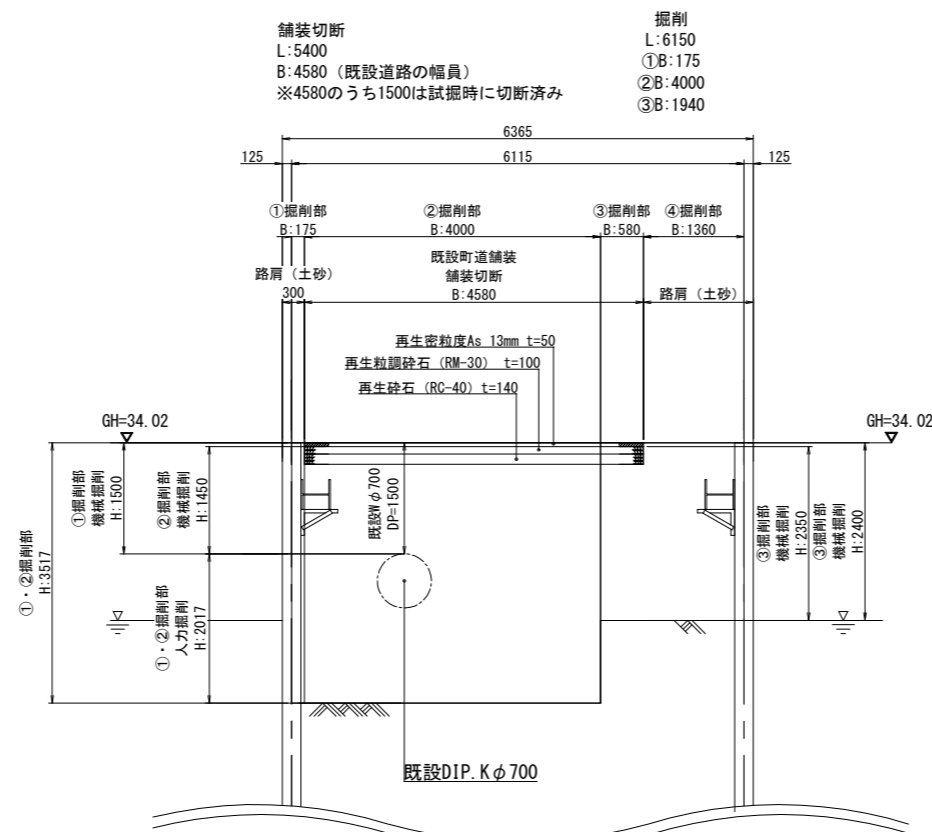
# 不断水土工図 S=1:50 (A1) S=1:100 (A3)

※不断水工事後は、立坑を撤去

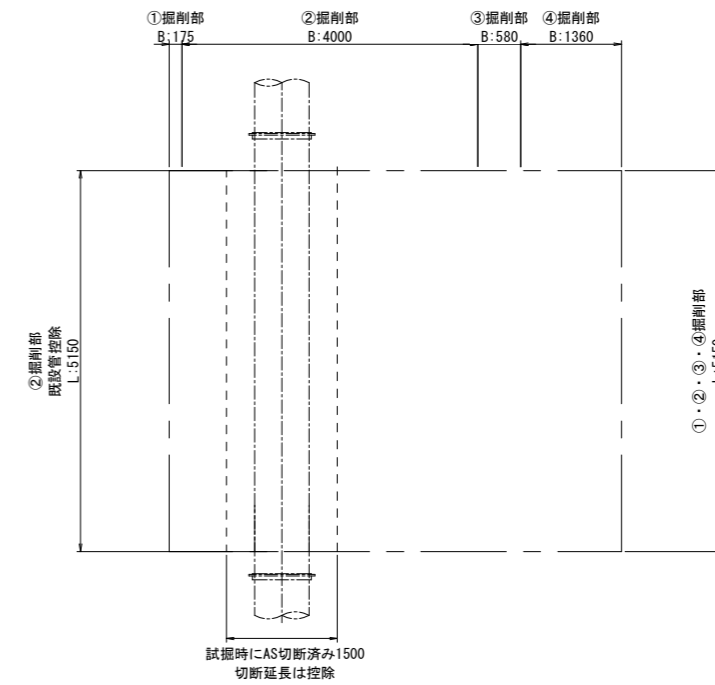
平面図  
A-A



掘削工  
B-B 断面図



掘削工  
A-A 平面図

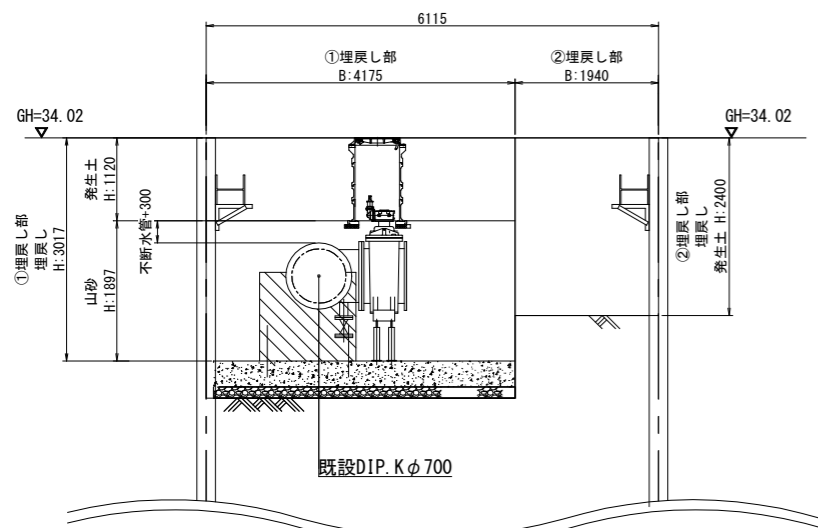


控除集計表 (掘削)

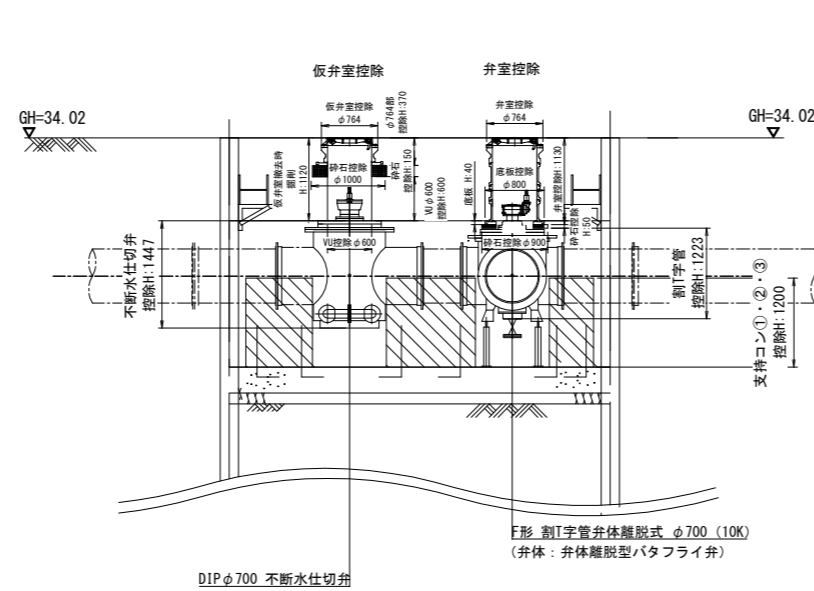
既設管 φ700	2.17
----------	------

埋戻し工  
B-B 断面図

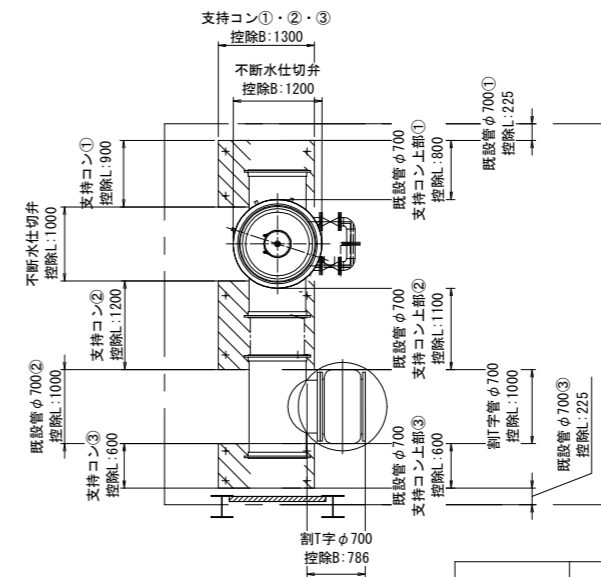
埋戻し  
L:5150  
①B:4175  
②B:1940



埋戻し控除部  
C-C 断面図



埋戻し控除部  
A-A 平面図



控除集計表 (発生土)

仮弁室 φ764部	0.17m <sup>3</sup>
仮弁室 砕石部	0.12m <sup>3</sup>
仮弁室 VUφ600部	0.19m <sup>3</sup>
弁室 φ764部	0.52m <sup>3</sup>

控除集計表 (山砂)

支持コン①	1.40m <sup>3</sup>
支持コン②	1.87m <sup>3</sup>
支持コン③	0.94m <sup>3</sup>
既設管 φ700①	0.09m <sup>3</sup>
既設管 φ700②	0.42m <sup>3</sup>
既設管 φ700③	0.09m <sup>3</sup>
不断水仕切弁	1.74m <sup>3</sup>
割T字管	0.96m <sup>3</sup>
既設管支持コン上部①	0.17m <sup>3</sup>
既設管支持コン上部②	0.23m <sup>3</sup>
既設管支持コン上部③	0.13m <sup>3</sup>
弁室 底底部	0.02m <sup>3</sup>
弁室 砕石部	0.03m <sup>3</sup>

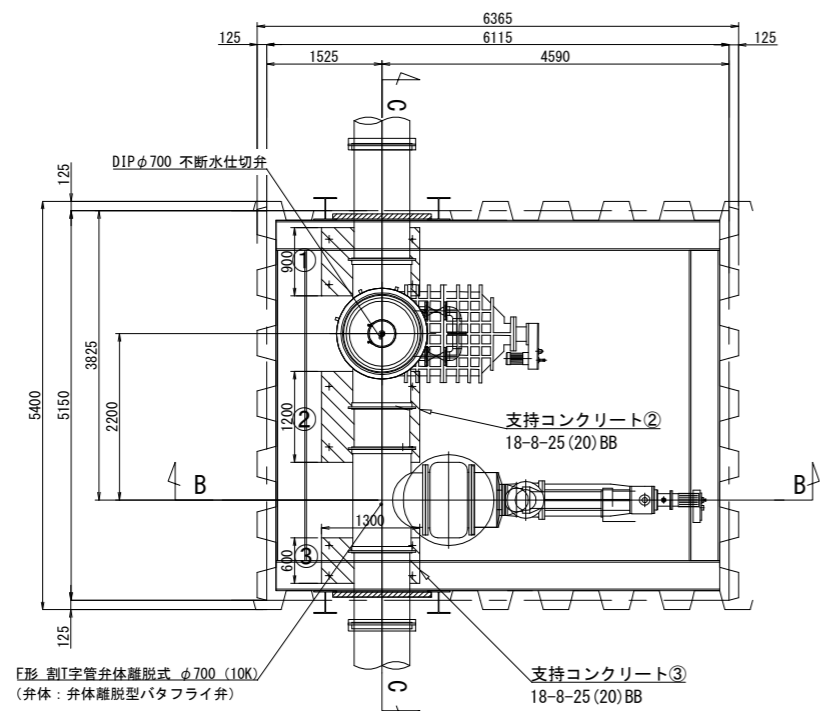
工 事 名 称	長生郡市広域市町村圏組合最終処分場築造に伴う 真名配水場系φ700耗送水管移設工事		
図 面 名 称	不断水土工図		
図 枚 数	19 葉中 16	縮 尺	A1 1:50 A3 1:100
完 成	令和 年 月 日	工事番号	九水企改令6第6号
課 長	副課長	班 長	設 計 製 図
九十九里地域水道企業団			



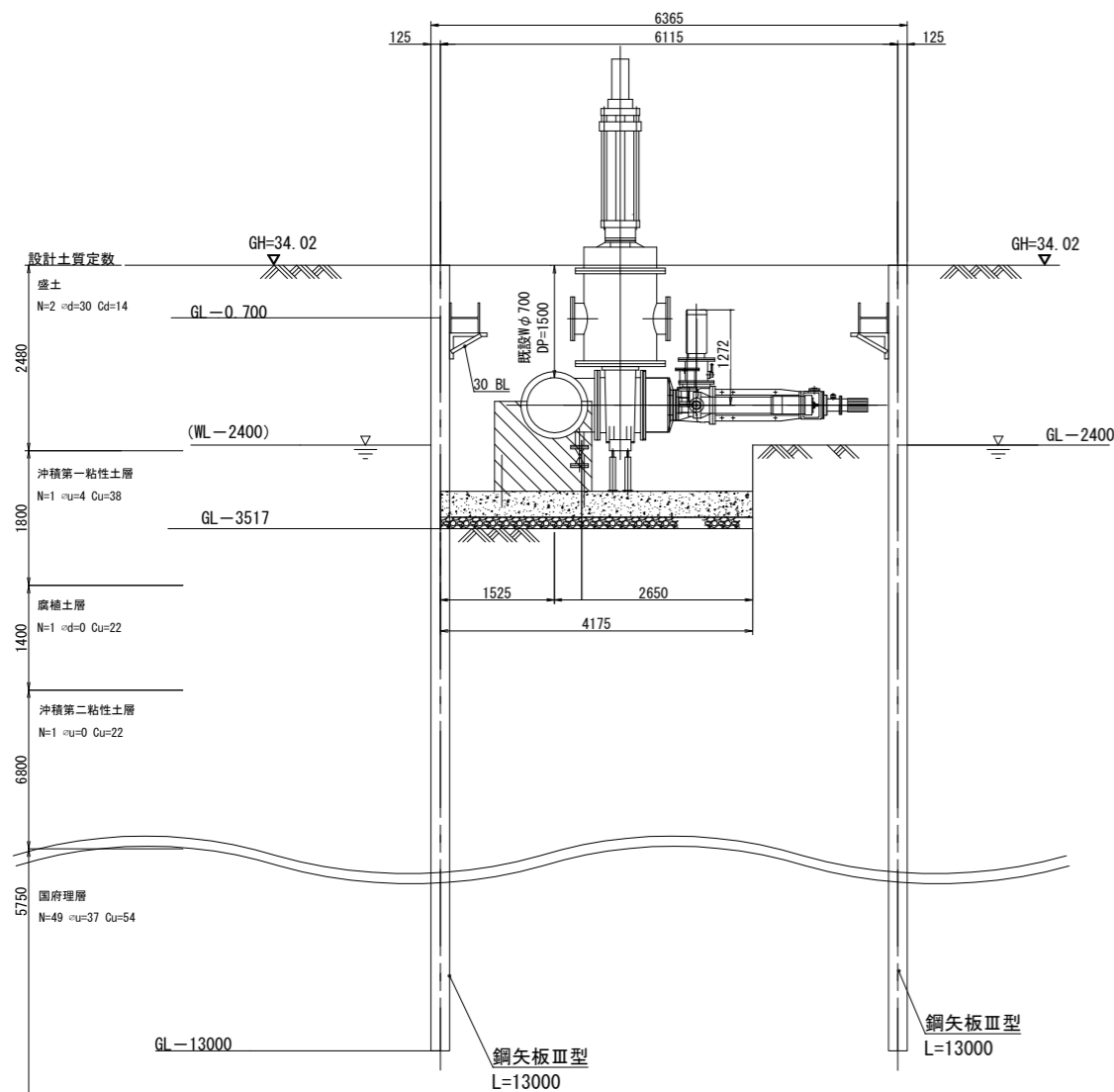
# 不断水構造図

S=1:50 (A1)  
S=1:100 (A3)

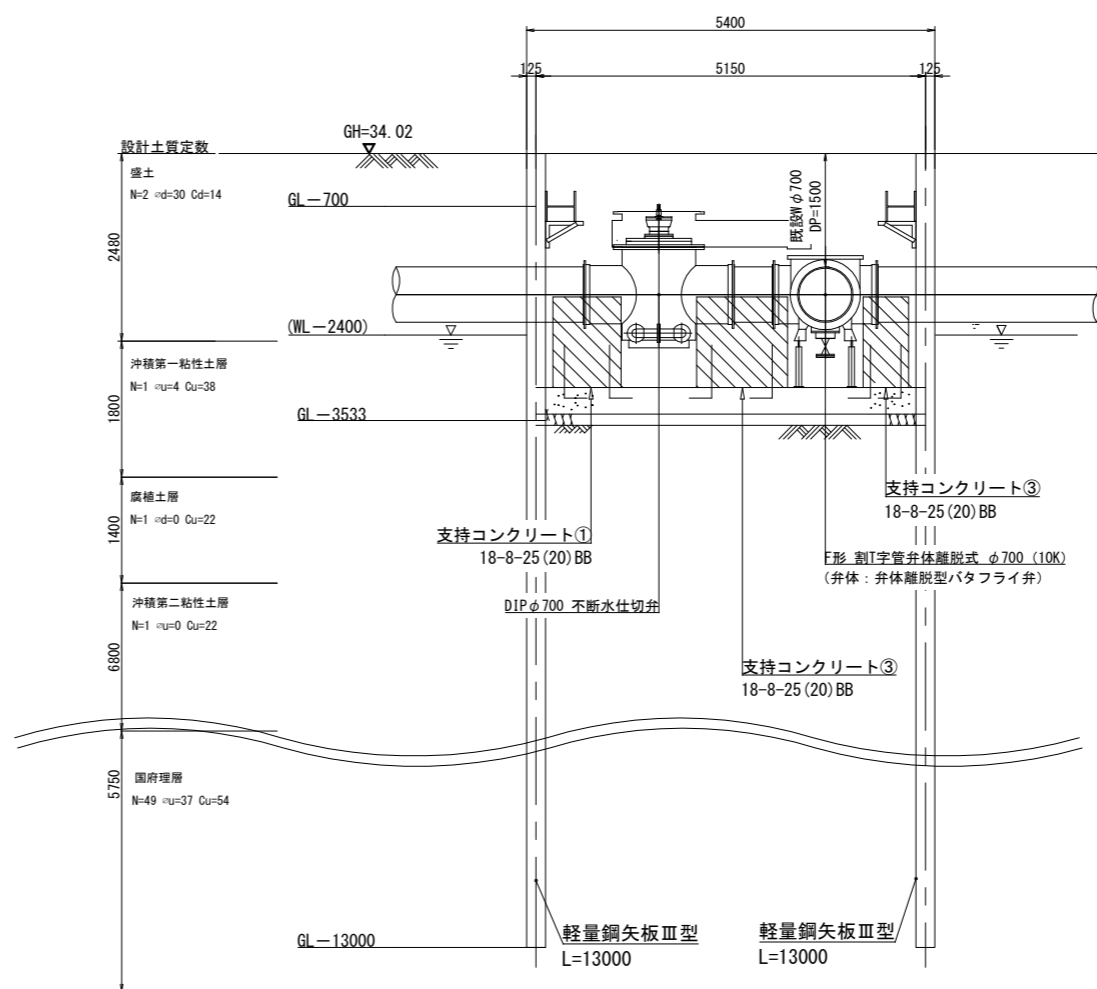
## 平面図 A-A



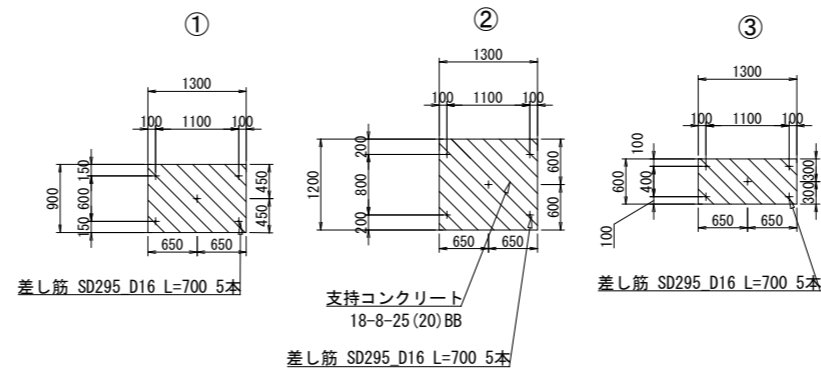
## B-B 断面図



## C-C 断面図



## 支持コンクリート平面図 A-A

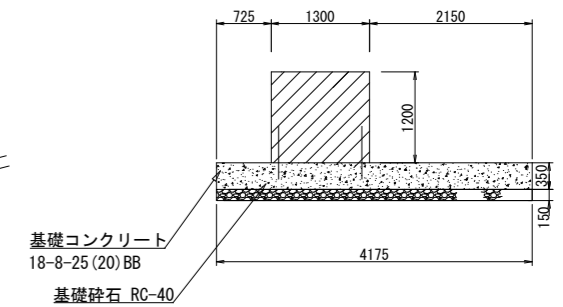


## 材料集計表

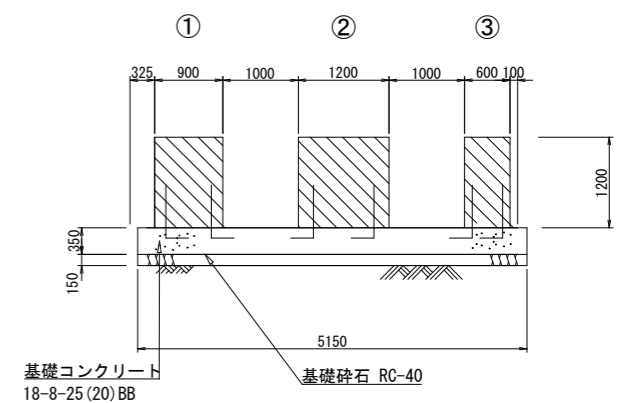
支持コンクリート① 18-8-25 (20) BB	1.21㎡
支持コンクリート② 18-8-25 (20) BB	1.62㎡
支持コンクリート③ 18-8-25 (20) BB	0.81㎡
基礎コンクリート 18-8-25 (20) BB	7.53㎡
基礎砕石 (RC-40) t=15cm	21.50㎡
差し筋 SD295_D16	15本

設計条件  
設計圧力 : 10K  
土被り : 1500  
埋め戻し土 : あり

## 支持コンクリート断面図 B-B ①~③



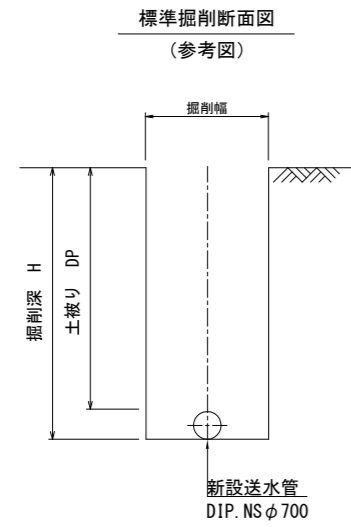
## 支持コンクリート断面図 C-C



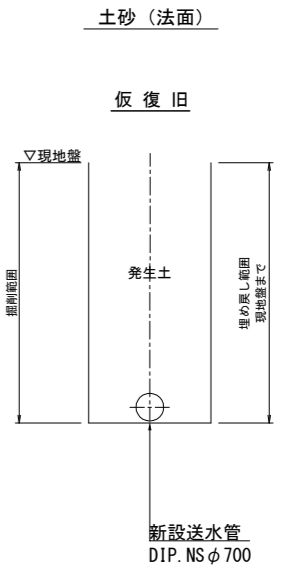
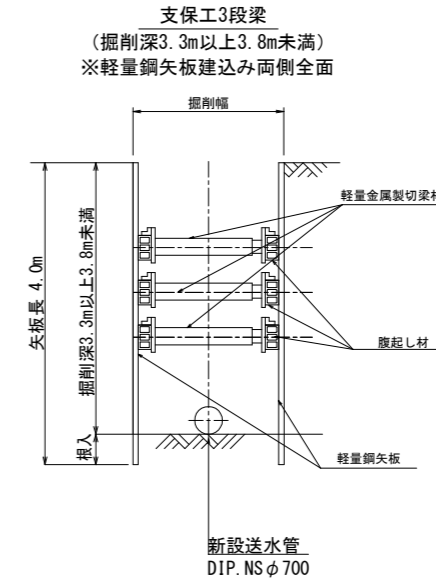
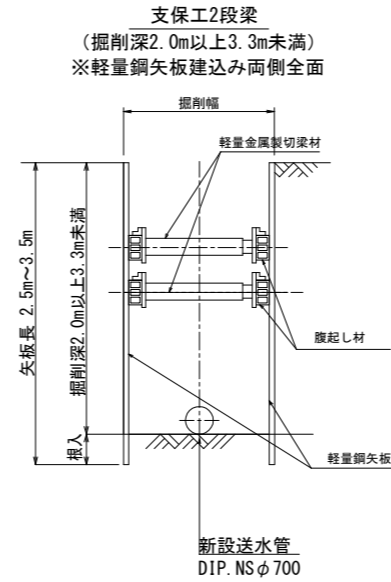
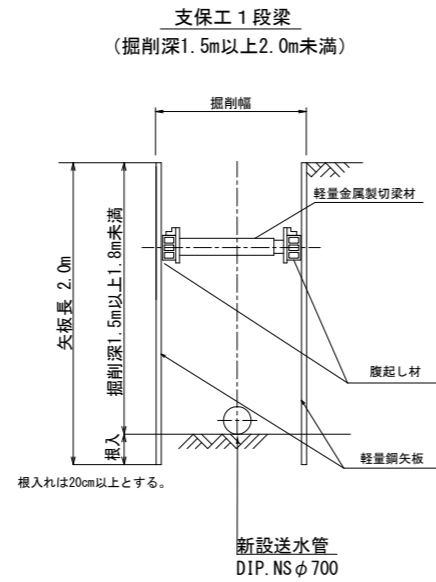
工 事 名	長生郡市広域市町村圏組合最終処分場築造に伴う 真名配水場系φ700耗送水管移設工事		
図 面 名	不断水構造図		
図 面 枚 数	19 葉中 17	縮 尺	A1 1:50 A3 1:100
完 成	令和 年 月 日	工事番号	九水企改令6第6号
課 長	副課長	班 長	設 計 製 図
九十九里地域水道企業団			

# 土工標準図(1) S=FREE

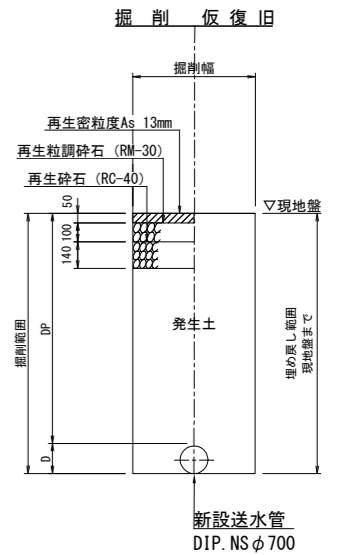
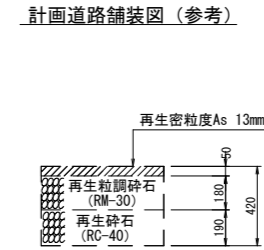
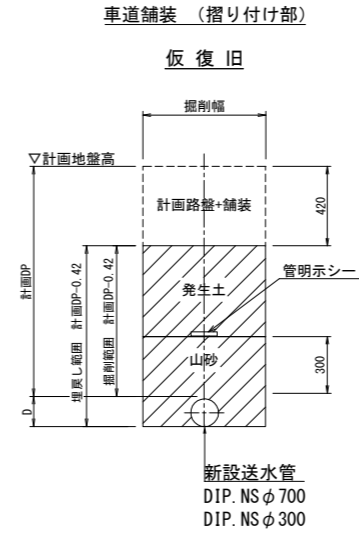
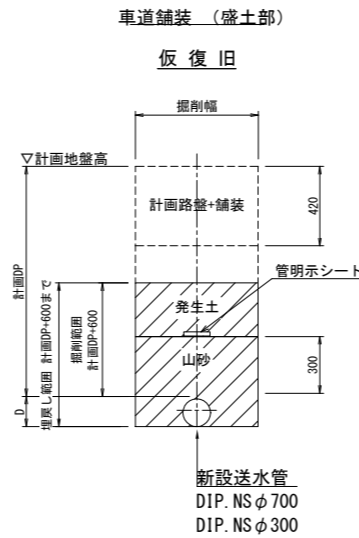
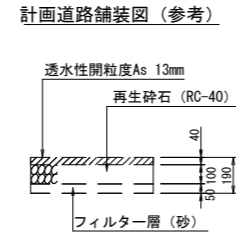
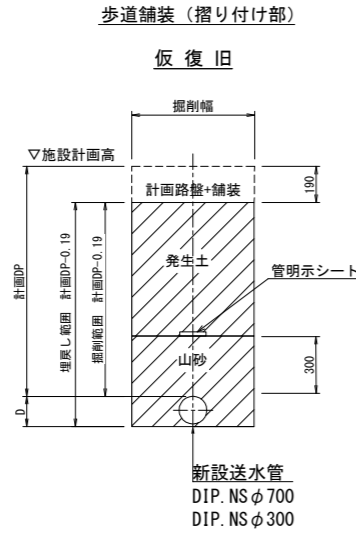
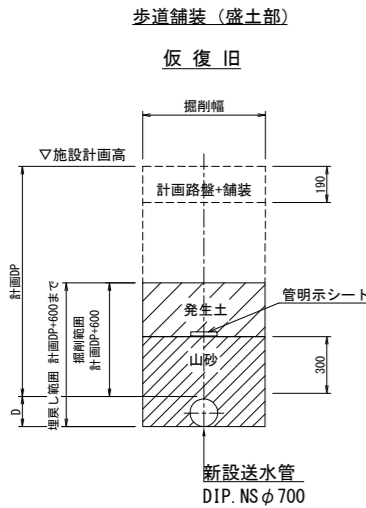
## 送水管新設工事



掘削幅	口径	D	掘削幅 山留なし	掘削幅 山留あり
	φ 700	733	1450	1550
	φ 300	323	850	-



### 町道歩道舗装復旧図



### 道路状況

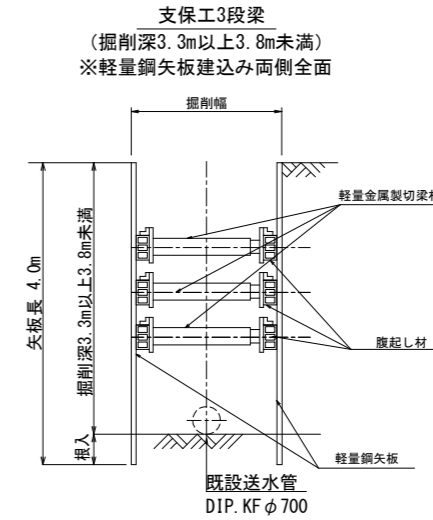
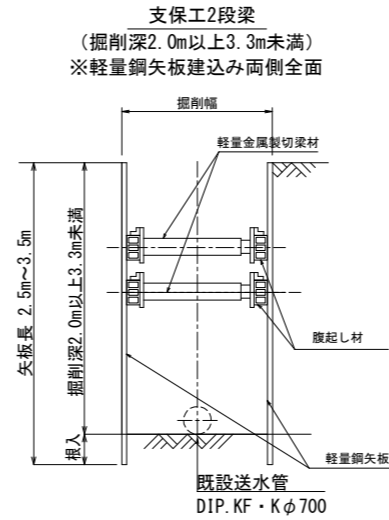
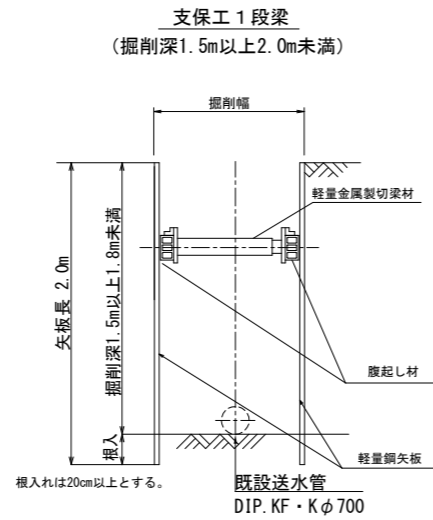
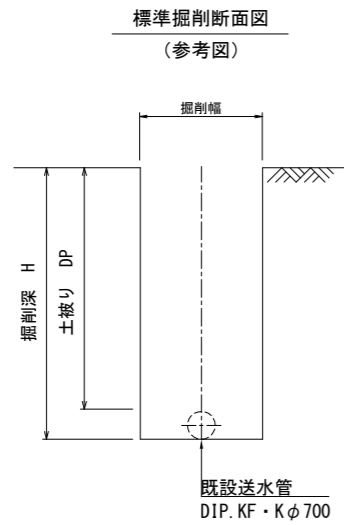
- ・盛土部 → 盛土した状況 (未舗装) 【計画DP+0.60からの掘削】・【管上+0.60 (埋設シート設置含む) までの埋戻し】
- ・掘り付け部 → 盛土高が低い箇所であり、本工事の際は、計画路床高の状況 (未舗装) 【計画路床高からの掘削】・【計画路床高までの埋戻し】
- ・現道部 → 本工事の際は、舗装をしてある状況 【舗装撤去から工事実施】・【仮舗装はせずに、現地盤高まで埋戻し】
- ・現道部 (現況復旧) → 試掘工事時に該当 【舗装撤去から工事実施】・【仮舗装まで実施】

### 町道車道舗装復旧図

工 事 名 称	長生郡市広域市町村圏組合最終処分場築造に伴う 真名配水場系φ700送水管移設工事		
図 面 名 称	土工標準図(1)		
図 面 数	19 葉中 18	縮 尺	FREE
完 成	令和 年 月 日	工事番号	九水企改令6第6号
課 長	副課長	班 長	設 計 製 図
九十九里地域水道企業団			

# 土工標準図(2) S=FREE

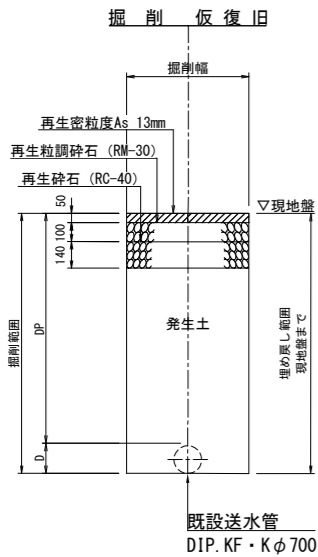
試掘工，不断水工，離脱防止金具設置工，既設送水管撤去工時



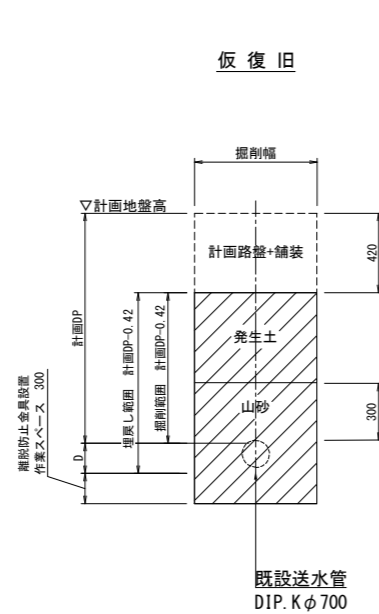
掘削幅	口径	D	掘削幅 山留なし	掘削幅 山留あり
	φ700	733	1450	1550

## 町道車道舗装復旧図

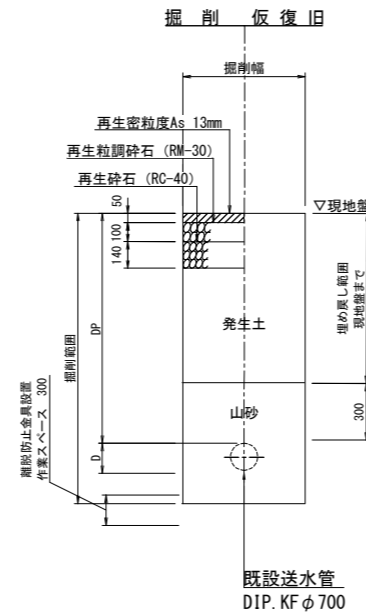
試掘工  
車道舗装 (現道部・現況復旧)



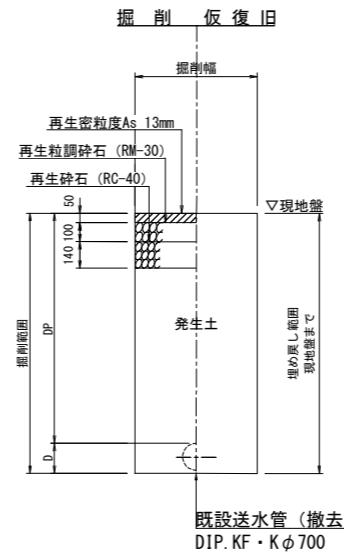
離脱防止金具設置工  
車道舗装 (摺り付け部)



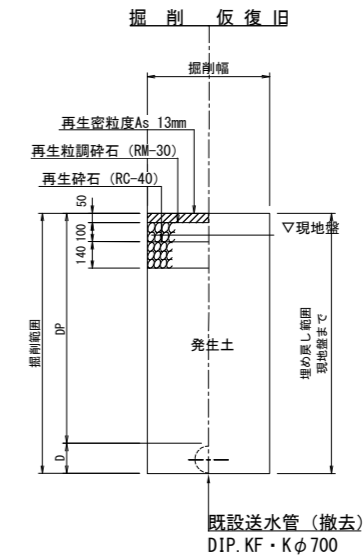
離脱防止金具設置工  
車道舗装 (現道部)



既設管撤去工事  
車道舗 (盛土部)



車道舗装 (現道部)



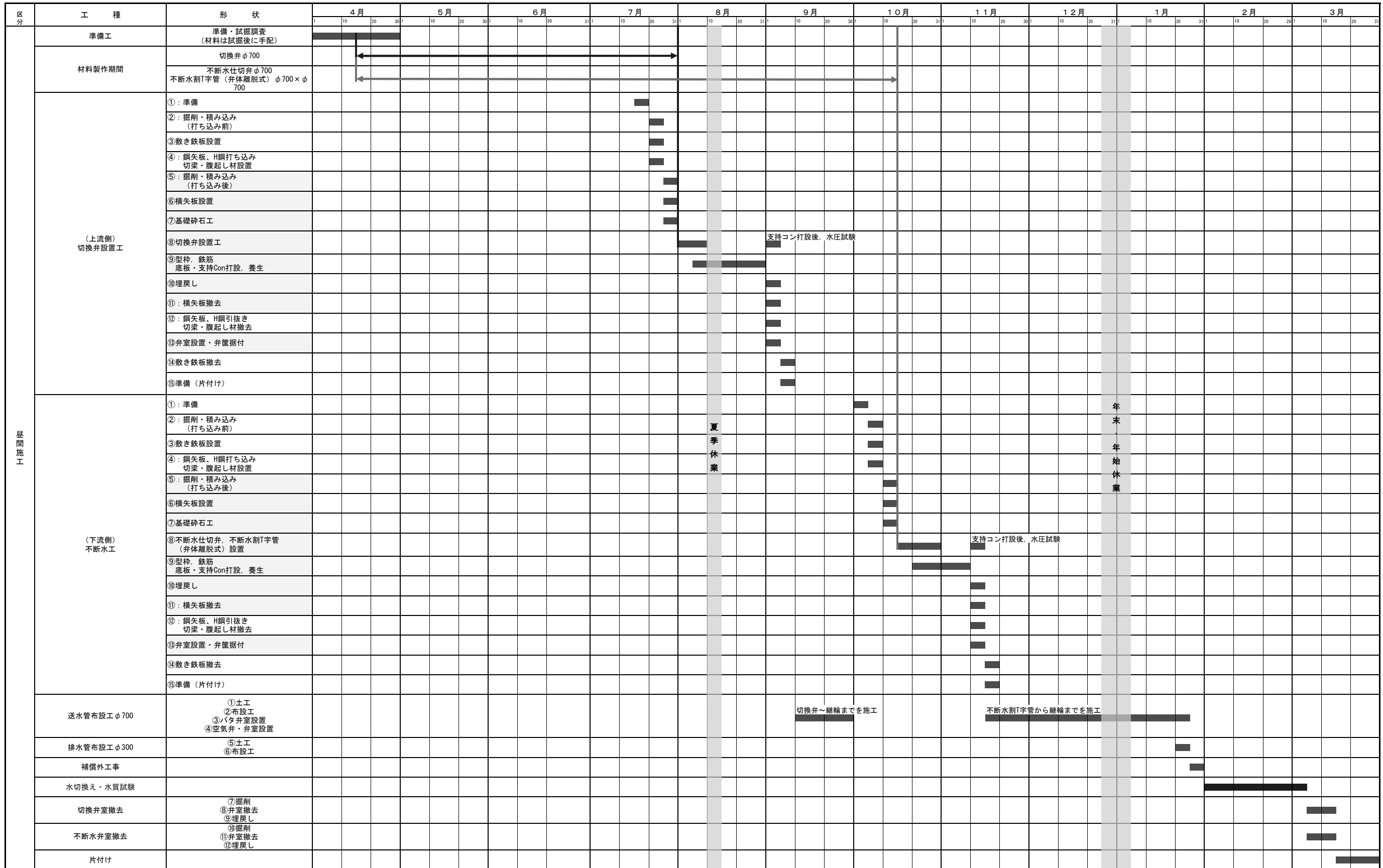
### 道路状況

- ・盛土部 → 盛土した状況 (未舗装)  
【計画DP+0.60からの掘削】・【管上+0.60 (埋設シート設置含む) までの埋め戻し】
- ・摺り付け部 → 盛土高が低い箇所であり，本工事の際は，計画路床高の状況 (未舗装)  
【計画路床高からの掘削】・【計画路床高までの埋戻し】
- ・現道部 → 本工事の際は，舗装をしてある状況  
【舗装撤去から工事実施】・【仮舗装はせずに，現地盤高まで埋戻し】
- ・現道部 (現況復旧) → 試掘工事時に該当  
【舗装撤去から工事実施】・【仮舗装まで実施】

工 事 名 称	長生郡市広域市町村圏組合最終処分場築造に伴う 真名配水場系φ700送水管移設工事		
図 名 称	土工標準図(2)		
図 枚 数	19 葉中 19	縮 尺	FREE
完 成	令和 年 月 日	工事番号	九水企改令6第6号
課 長	副課長	班 長	設 計 製 図
九十九里地域水道企業団			

全体工程表(参考)

工事件名：長生郡市広域市町村圏組合最終処分場築造に伴う真名配水場系φ700耗送水管移設工事  
1年目



現場閉所日：土日祝日及び年末年始・夏季休業

**全体工程表(参考)**

工事件名：長生郡市広域市町村圏組合最終処分場築造に伴う真名配水場系φ700送水管移設工事

2年目

区分	工種	形状	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月							
			1	10	20	30	1	10	20	30	1	10	20	31	1	10	20	31	1	10	20	31	1	10	20	30	1	10	20	31	1	10	20	30	1	10	20	31	1	10	20	29	1
昼間施工	準備工	準備	■																																								
	既設管撤去工φ700				■																																						
	片付け											■																															
	報告書作成														■																												

現場閉所日：土日祝日及び年末年始・夏季休業